

平成 28 年度 科学研究費補助金
基盤研究 (C) (課題番号 16K01898)

子どもの危機克服に備えた生活臨床に関する臨床教育学的研究
研究報告書
—小学校 (児童) 編—

令和 4(2022) 年 3 月
研究代表者 小谷 正登 (関西学院大学)

「調査研究の目的」

自然・社会環境の激変にともなって家庭・生活環境が大きく変化する中、幼児の認知能力の低下、小学生の体力・気力や学習意欲の低下、中高生については、いじめ・不登校などの教育課題の一因として、睡眠習慣などの生活習慣の乱れによる心身の不調が指摘されている。さらに、幼少期からの睡眠習慣の乱れが、将来にわたって、がん・認知症・生活習慣病・うつ病の発症など、心身の健康上のリスクを高めることも報告されている。以上から、子どもの教育課題、心身の不調、生涯にわたる心身の健康状態の背景に家庭環境の変化による「生活病理」があると考えられる。「生活病理」について、白石（2006）¹⁾ は家族病理を背景として発生している子どもや親の睡眠・食生活・運動・対人関係などの生活基盤をなす要素の異変や病的現象が出現していること、またその内容であると定義している。そして、従来の家族病理に対する研究アプローチとは異なる方法として、現実の「生活」に焦点をあて、この異変や現象の解明と克服に取り組む必要があるとしている。そして、「生活臨床」とは本来、統合失調症の再発防止および長期的な治療プログラムを新たな見地をもって実践しようとした活動（臺,1978）²⁾ であったが、現在、虐待・DVなどの家庭に関する事件や子どもの問題行動が多発する中、その背景に「生活病理」があるとの視点のもと、この生活病理や教育課題への対応としての生活の立て直しを示すものとして「生活臨床」という概念が提唱された（白石,2006）¹⁾。これらの知見のもと、先行研究として、2007年度から2009年度までの3か年にわたって兵庫県西宮市に居住する乳幼児・小学生・中学生を対象に生活実態調査（研究代表者：武庫川女子大学教授・白石大介）が行われた。その後、次の三件の研究（研究代表者：小谷正登）、「生活病理に抗するための生活臨床に関する実証的研究」（2010～2012年度・基盤研究（C）22530890）、「子どもの睡眠を中心とした生活臨床に関する実証的研究」（2013～2016年度・基盤研究（C）25350952）、「子どもの危機克服に備えた生活臨床に関する臨床教育学的研究」（2016～2018年度・基盤研究（C）16K01898）を行い、学校教育における睡眠を中心とした「生活臨床」の意義と可能性を検討してきた。

本報告書は、A県B市立小学校調査（2016年度実施）と中学校調査（2017年度実施）の結果の中で、特に小学生とその保護者対象の生活実態調査の結果をもとに、今回は小学生本人の生活の諸側面を分析することで、睡眠・食事などの従来の側面に加えネット利用状況なども含めた「生活臨床（生活の立て直し）」の重要性を検討するものである。

1) 白石大介「生活病理・生活臨床に関する基礎的研究」、臨床教育学研究、13,pp1-12,2006。

2) 臺 弘『分裂病の生活臨床』、創造出版、1978。

「謝辞とお詫び」

本調査研究にご協力頂きましたA県B市立小学校の児童、保護者、教職員の皆様、B市教育委員会の諸先生方に、心より御礼を申し上げます。なお、コロナウイルス感染症拡大などの影響もあり、調査結果の報告が大幅に遅れましたこと、お詫び申し上げます。

2016 年度

B市の小学生対象実態（小学校調査）に関する調査・研究

<児童対象>

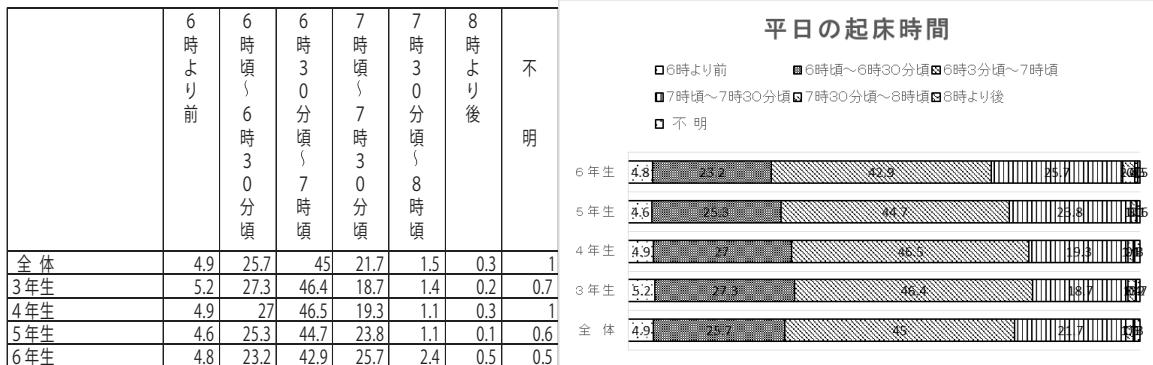
～学年別・男女別クロス集計結果～

【2016年度 B市立小学校 生活実態調査(児童対象)の結果(概要)】

1. 起床時刻(%)

・午前7時以降に起床する児童が23.5%(全体)

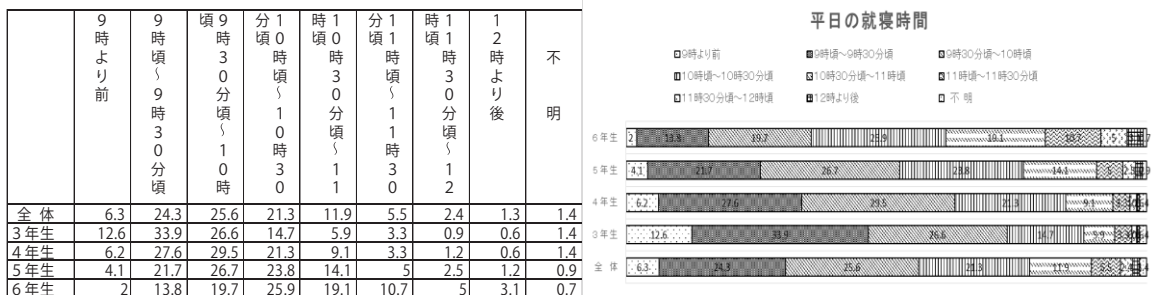
(3年生:20.3%・4年生:20.7%・5年生:25.0%・6年生:28.6%)



2. 就寝時刻(%)

・午後10時以降に就寝する児童が42.4%(全体)

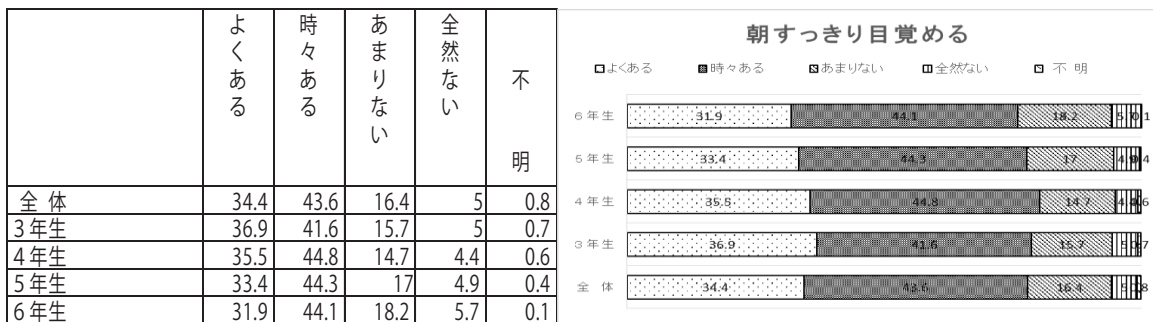
(3年生:25.4%・4年生:35.5%・5年生:46.6%・6年生:63.8%)



3. 起床時の状態:朝すっきり目がさめる(気分よく起きられる)

・「よくある」と答えた児童(睡眠高群)が34.4%(全体)

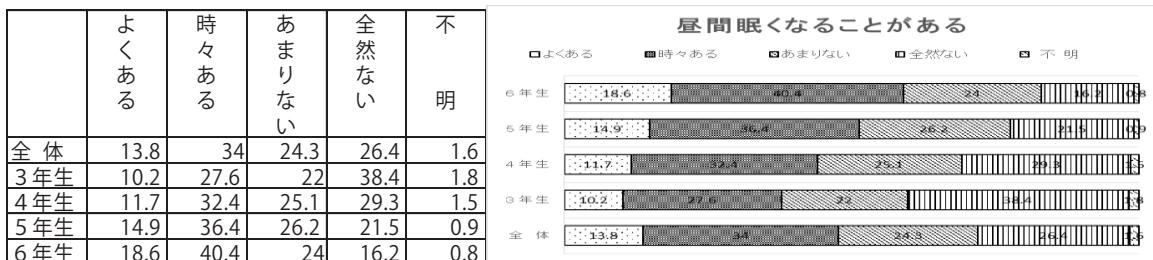
(3年生:36.9%・4年生:35.5%・5年生:33.4%・6年生:31.9%)



4. 昼間、眠くなることがある

・「よくある」と答えた児童が13.8%(全体)

(3年生:10.2%・4年生:11.7%・5年生:14.9%・6年生:18.6%)

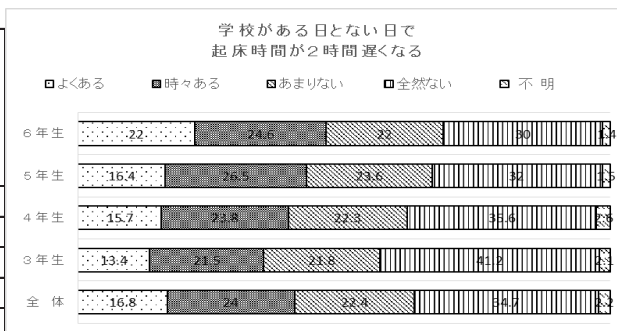


5. 学校がある日とない日で、起きる時刻が2時間より遅くなることある(穴埋めの睡眠)

・「よくある」と答えた児童が%16.8%(全体)

(3年生：13.4%・4年生：15.7%・5年生：16.4%・6年生：22.0%)

	よくある	時々ある	あまりない	全然ない	不明
全体	16.8	24	22.4	34.7	2.2
3年生	13.4	21.5	21.8	41.2	2.1
4年生	15.7	23.8	22.3	35.6	2.6
5年生	16.4	26.5	23.6	32	1.5
6年生	22	24.6	22	30	1.4

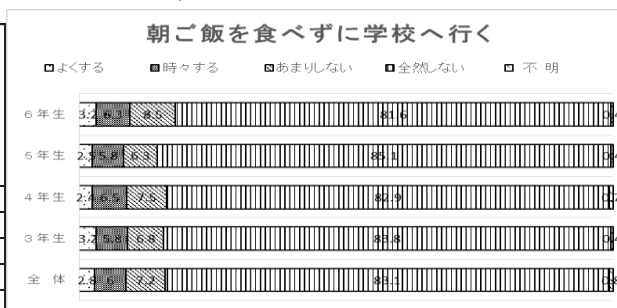


6. 朝ごはんを食べないで学校へ行く(欠食登校)

・「よくある」「時々ある」と答えた児童が 8.8%(全体)

(3年生：9.0%・4年生：8.9%・5年生：8.3%・6年生：9.5%)

	よくする	時々する	あまりしない	全然しない	不明
全体	2.8	6	7.2	83.1	0.8
3年生	3.2	5.8	6.8	83.8	0.4
4年生	2.4	6.5	7.5	82.9	0.7
5年生	2.5	5.8	6.3	85.1	0.4
6年生	3.2	6.3	8.5	81.6	0.4

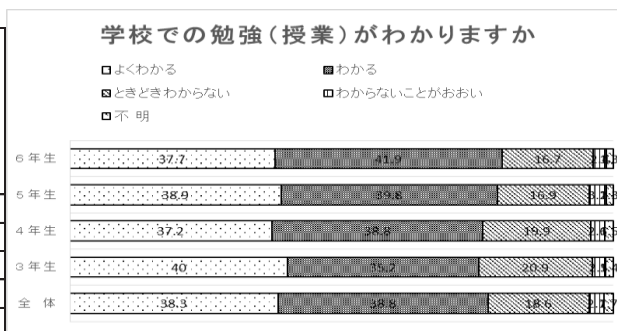


7. 学校での勉強(授業)がわかりますか

・「よくわかる」「わかる」と答えた児童が 77.1%(全体)

(3年生：75.2%・4年生：76.0%・5年生：78.7%・6年生：79.6%)

	よくわかる	わかる	なときどきわからないこと	がわからないこと	不明
全体	38.3	38.8	18.6	2.7	1.7
3年生	40	35.2	20.9	2.5	1.4
4年生	37.2	38.8	19.9	2.6	1.5
5年生	38.9	39.8	16.9	3.2	1.3
6年生	37.7	41.9	16.7	2.4	1.3

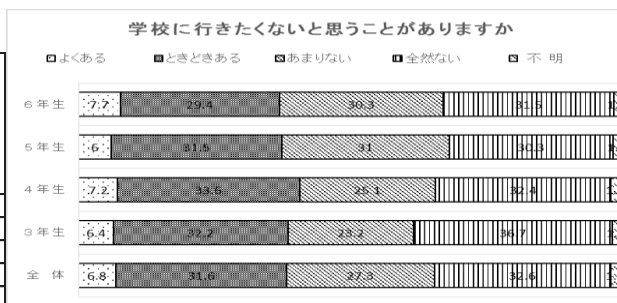


8. 学校に行きたくないと思うことがありますか

・「よくある」「時々ある」と答えた児童が 38.4%(全体)

(3年生：38.6%・4年生：40.8%・5年生：37.5%・6年生：37.1%)

	よくある	ときどきある	あまりない	全然ない	不明
全体	6.8	31.6	27.3	32.6	1.6
3年生	6.4	32.2	23.2	36.7	1.4
4年生	7.2	33.6	25.1	32.4	1.6
5年生	6	31.5	31	30.3	1.2
6年生	7.7	29.4	30.3	31.5	1.1



*はじめにあなたのことをおしえてください。

(1) 学年

	全 体	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	不 明
全 体	9274 100.0	2364 25.5	2324 25.1	2281 24.6	2265 24.4	40 0.4
3 年生	2364 100.0	2364 100.0	- -	- -	- -	- -
4 年生	2324 100.0	- -	2324 100.0	- -	- -	- -
5 年生	2281 100.0	- -	- -	2281 100.0	- -	- -
6 年生	2265 100.0	- -	- -	- -	2265 100.0	- -
不 明	40 100.0	- -	- -	- -	- -	40 100.0

全 体	特 別 支 援
9274 100.0	51 0.5
2364 100.0	8 0.3
2324 100.0	13 0.6
2281 100.0	11 0.5
2265 100.0	8 0.4
40 100.0	11 27.5

(2) 性別

全 体	9274 100.0	2364 25.5	2324 25.1	2281 24.6	2265 24.4	40 0.4
男の子	4617 100.0	1182 25.6	1198 25.9	1116 24.2	1111 24.1	10 0.2
女の子	4584 100.0	1175 25.6	1115 24.3	1153 25.2	1140 24.9	1 0.0
不 明	73 100.0	7 9.6	11 15.1	12 16.4	14 19.2	29 39.7

9274 100.0	51 0.5
4617 100.0	37 0.8
4584 100.0	12 0.3
73 100.0	2 2.7

(1) 学年については、自記式質問紙調査の性質を勘案し、3年生以上とした。各学年の人数はほぼ同数で（2281名～2364名）あり、回答総数は9274名であった。なお、調査時期は、2016年11月であった。

(2) 性別

全 体	男 の 子	女 の 子	不 明
9274 100.0	4617 49.8	4584 49.4	73 0.8
2364 100.0	1182 50.0	1175 49.7	7 0.3
2324 100.0	1198 51.5	1115 48.0	11 0.5
2281 100.0	1116 48.9	1153 50.5	12 0.5
2265 100.0	1111 49.1	1140 50.3	14 0.6
40 100.0	10 25.0	1 2.5	29 72.5

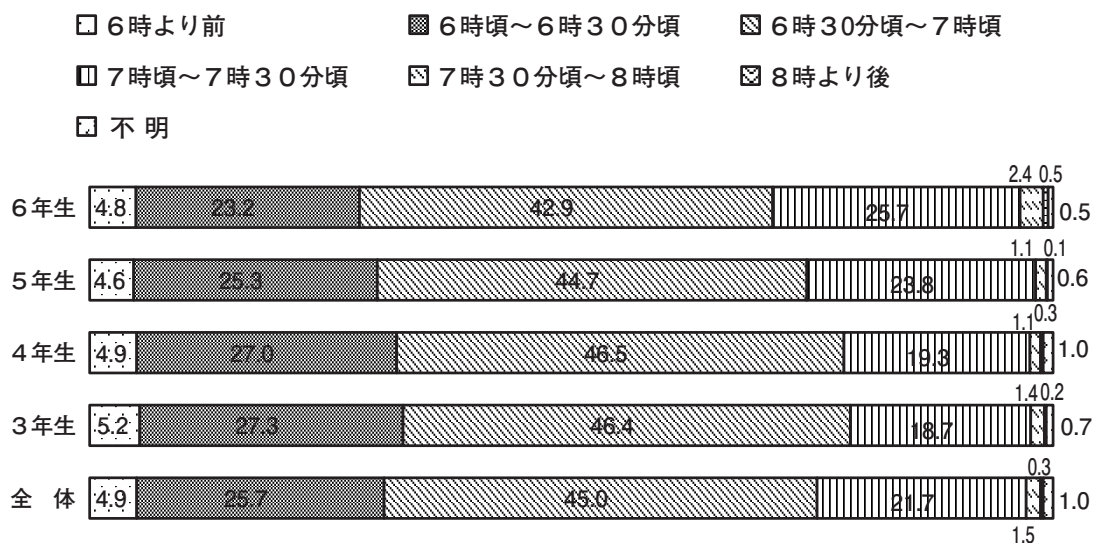
9274 100.0	4617 49.8	4584 49.4	73 0.8
4617 100.0	4617 100.0	- -	- -
4584 100.0	- -	4584 100.0	- -
73 100.0	- -	- -	73 100.0

※下段は%を示す。

(2) 性別についても、ほぼ同数であった（男子：4617名・女子：4584名）。なお、特別支援の対象は全体の0.5%、51名である。

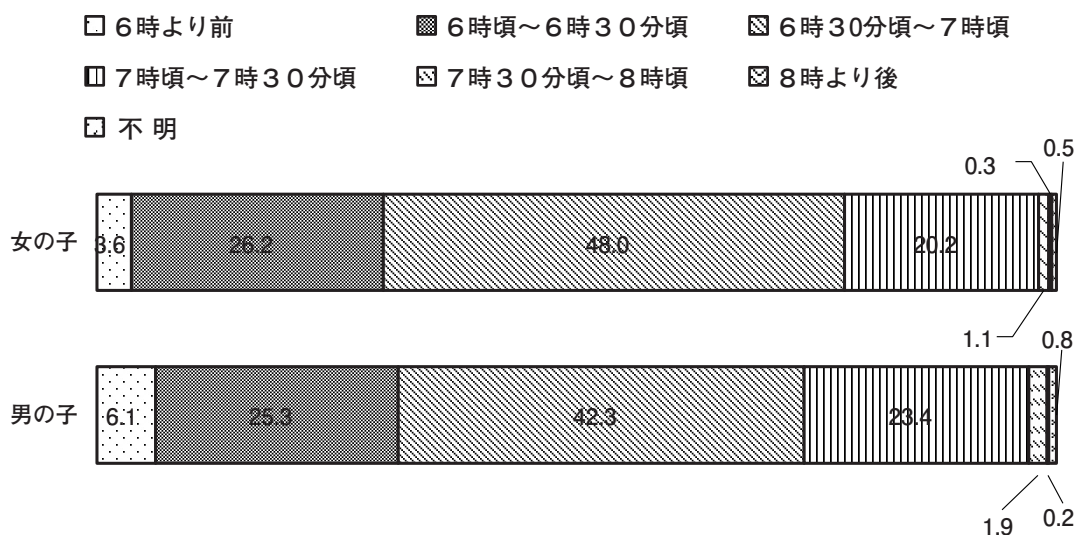
(3) 平日の起きる時刻

平日の起床時間



(3) 学年別の起床時刻では、「6時より前」の群においてどの学年も5%とほぼ同様であるが、「6時頃以降」の群で学年が上がるにつれてその割合が高くなる傾向が見られ、起床時刻の遅延化がうかがえる。

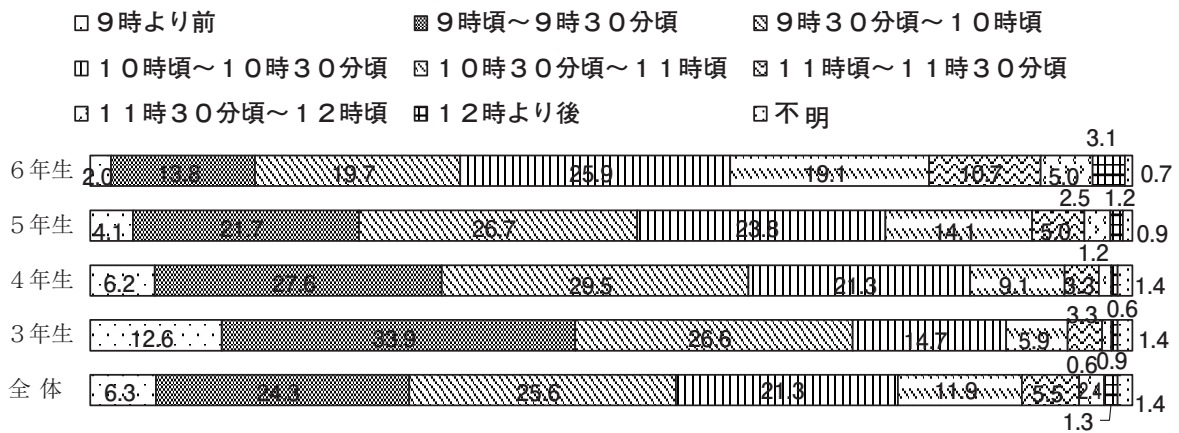
平日の起床時間



(3) 男女別の起床時刻では、「6時30分頃」までの群で女子は77.8%、男子は73.7%であり、わずかではあるが女子の起床時刻の方が早い傾向がうかがえる。

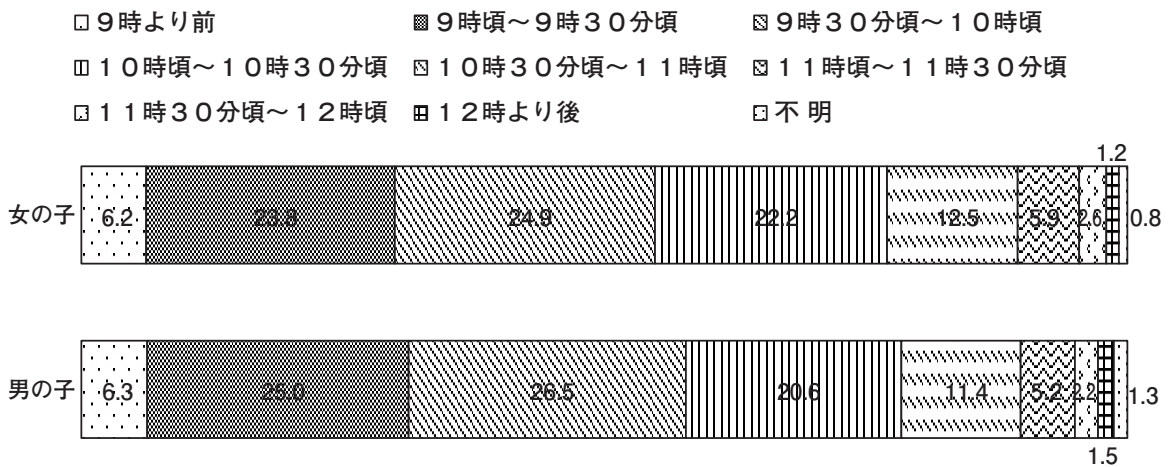
(4) 平日の夜の寝る時刻

平日の就寝時間



(4) 学年別 3年生では、「10時頃」までに46.5%と半数近くが就寝している。一方、6年生の63.8%が10時以降に寝ている。学年が上がるにつれて、就寝時間が遅くなっていく傾向が見られる。

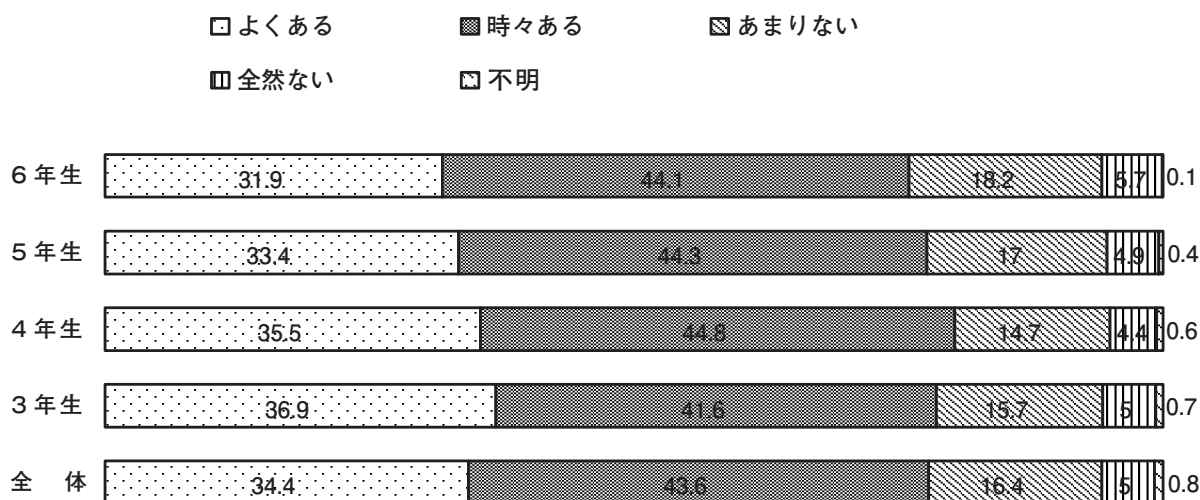
平日の就寝時間



(4) 男女別 男女別の就寝時刻では、「10時以降」の群で女子は44.4%、男子は40.9%であり、少し女子の就寝時刻の方が遅い傾向がうかがえる。

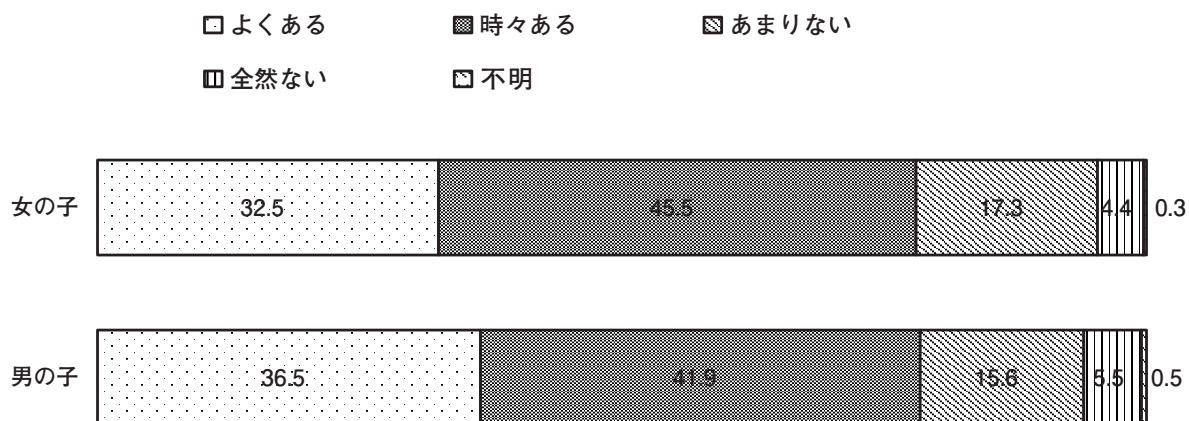
(5) 朝すっきり目がさめる (気分よく起きられる)

朝すっきり目覚める



(5) 学年別 「よくある」と回答する者は学年が上がるとともに微減している。一方、「あまりない」および「全然ない」と答えた児童の割合は4年生以降、学年が上がるにつれて微増する傾向が見られる。

朝すっきり目覚める

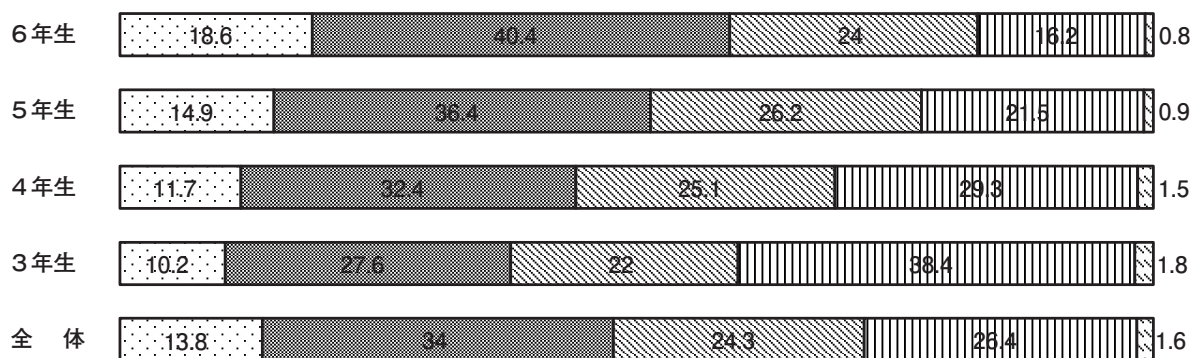


(4) 男女別 男女ともに8割近くが「よくある」もしくは「時々ある」と答えており、全体としては多くの児童が朝すっきりと目覚めているようだ。男女間においてあまり差は見られないが、男子の方がわずかながら回答のバラつきが大きい。

(6) 昼間、眠くなることがある

昼間眠くなることがある

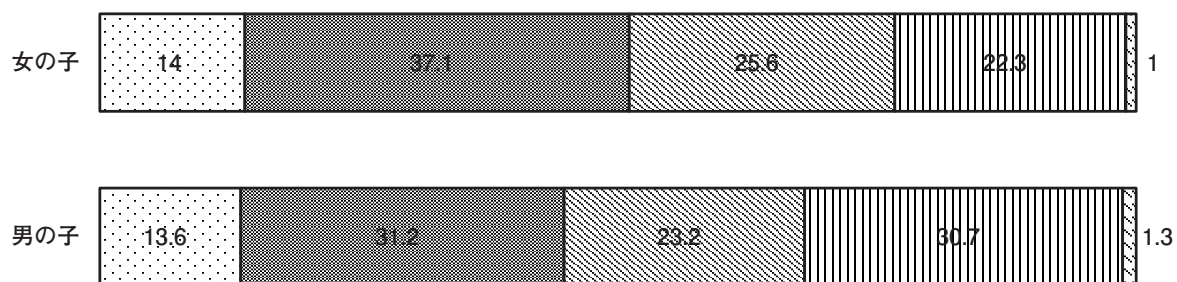
よくある 時々ある あまりない
 全然ない 不明



(6) 学年別 「よくある」と「時々ある」のどちらの回答も、学年が上がるにつれてその割合が増えており、5年生以降は両方の合計が半数以上となっている。一方、「全然ない」と答えた児童は、学年が上がるにつれてその割合が減っていく傾向が見られる。

昼間眠くなることがある

よくある 時々ある あまりない
 全然ない 不明

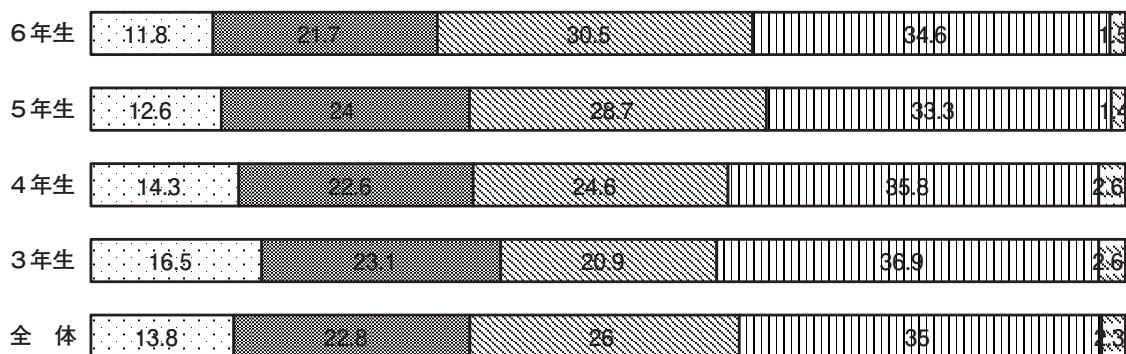


(6) 男女別 男女別では、女子の方が「昼間眠くなることがある」割合が高い傾向が見られ、「よくある」と「時々ある」の合計で51.1%となっており、男子(44.8%)よりも6.3%多くなっている。

(7) ふとんの中に入っても、なかなか眠れない

ふとんに入ってもなかなか眠れない

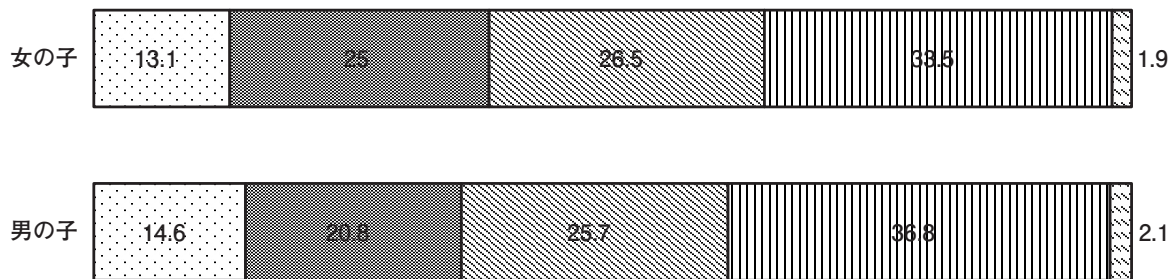
□よくある ■時々ある ▨あまりない
 □全然ない □不明



(7) 学年別 「よくある」と回答した者は学年が上がるとともに減少している。一方、「あまりない」と答えた児童の割合は、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。

ふとんに入ってもなかなか眠れない

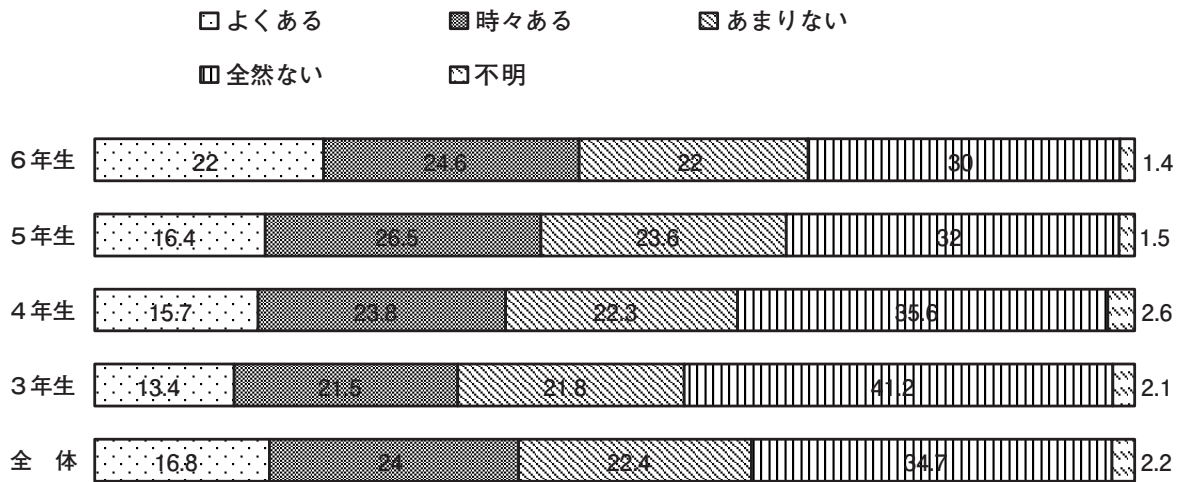
□よくある ■時々ある ▨あまりない
 □全然ない □不明



(7) 男女別 男女別では、女子の方が少し「ふとんに入ってもなかなか眠れない」割合が高い傾向が見られる。

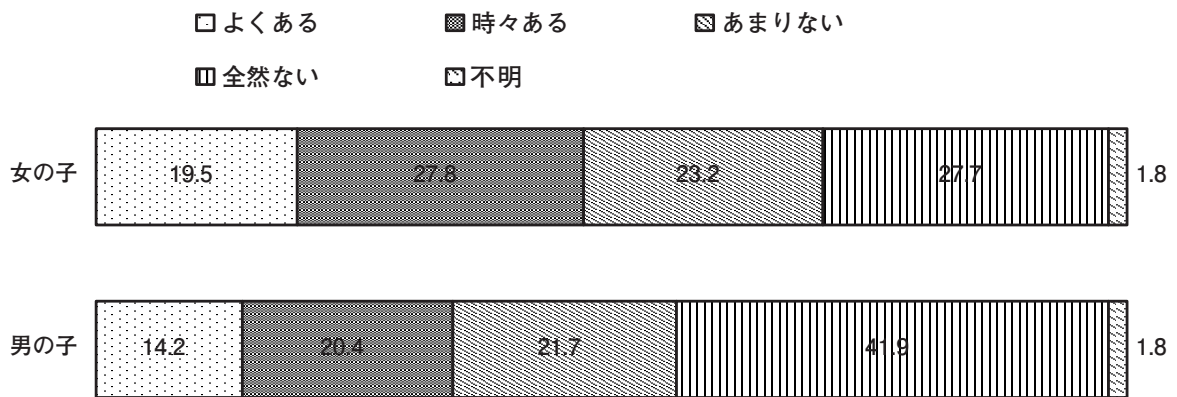
(8) 学校がある日とない日で、起きる時刻が2時間より遅くなることがある

学校がある日とない日で起床時間が2時間遅くなる



(8) 学年別 「よくある」と回答した者は学年が上がるとともに増加している。一方、「全然ない」と答えた児童の割合は学年が上がるにつれて減少し、対照的な傾向が見られる。

学校がある日とない日で起床時間が2時間遅くなる



(8) 男女別 男子は「全然ない」と答えている者が最も多く、4割を超えている。女子では「時々ある」が27.8%で最も多く、「よくある」と合わせると47.3%となり、男子の34.6%よりも12.7%多くなっている。女子の方が平日との差が大きくなっている傾向がうかがわれる。

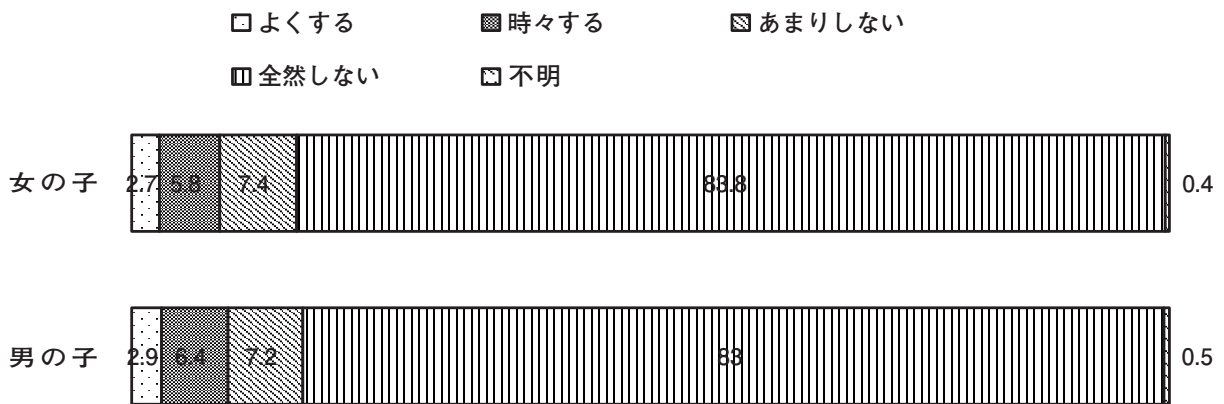
(9) 朝ごはんを食べないで学校へ行く

朝ご飯を食べずに学校へ行く



(9) 学年別 どの学年も8割以上の児童が毎日朝食を摂取していると答えているが、相対的に6年生が「朝ごはんを食べないで学校へ行く」割合が若干高くなっているようだ。

朝ご飯を食べずに学校へ行く



(9) 男女別 男女別では、男子の方が「朝ごはんを食べないで学校へ行く」割合が若干高くなっている傾向が見られる。

(9-1) 朝ごはんを食べない理由

(1) 学年

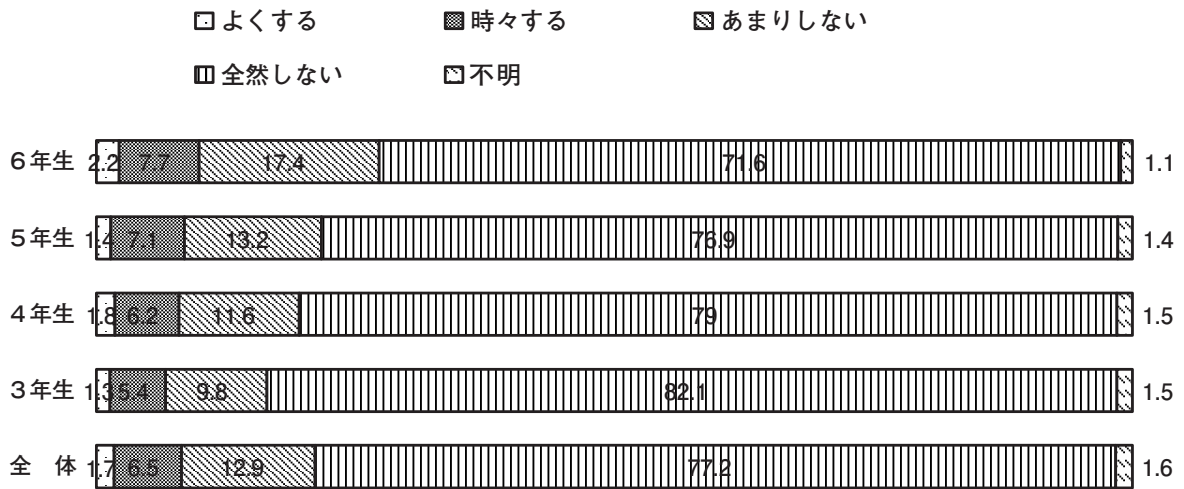
	食欲がない	太りたくない	時間がない	朝食が用意されていない	その他	朝食摂取群	不明
全体	3.2	0.2	3.5	0.5	0.5	90.4	1.8
3年生	3	0.3	3.6	0.4	0.4	90.6	1.7
4年生	3.1	0.2	3.6	0.2	0.6	90.4	1.9
5年生	2.9	0.2	3.2	0.5	0.6	91.3	1.2
6年生	3.6	0.2	3.7	0.8	0.3	90.2	1.2

(2) 性別

	食欲がない	太りたくない	時間がない	朝食が用意されていない	その他	朝食摂取群	不明
男の子	3.3	0.2	3.4	0.5	0.7	90.2	1.7
女の子	3.1	0.2	3.7	0.5	0.3	91.1	1.2

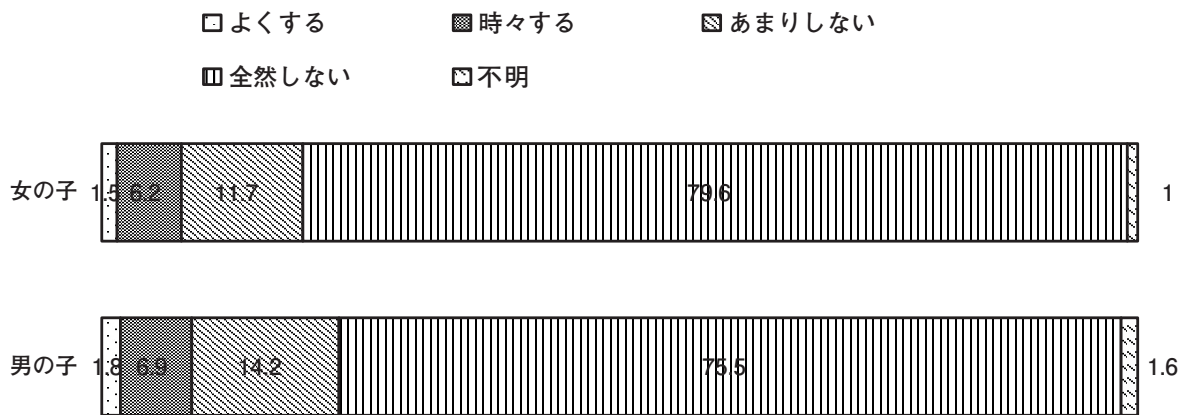
(10) 夕ごはんをひとりで食べる

夕ご飯をひとりで食べる



(10) 学年別 全体では「よくする」と「時々する」の合計は8.2%であり、9割以上の児童は日常的に誰かといっしょに夕ごはんを食べている。しかしながら、「夕ごはんをひとりで食べる」児童の割合は学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。

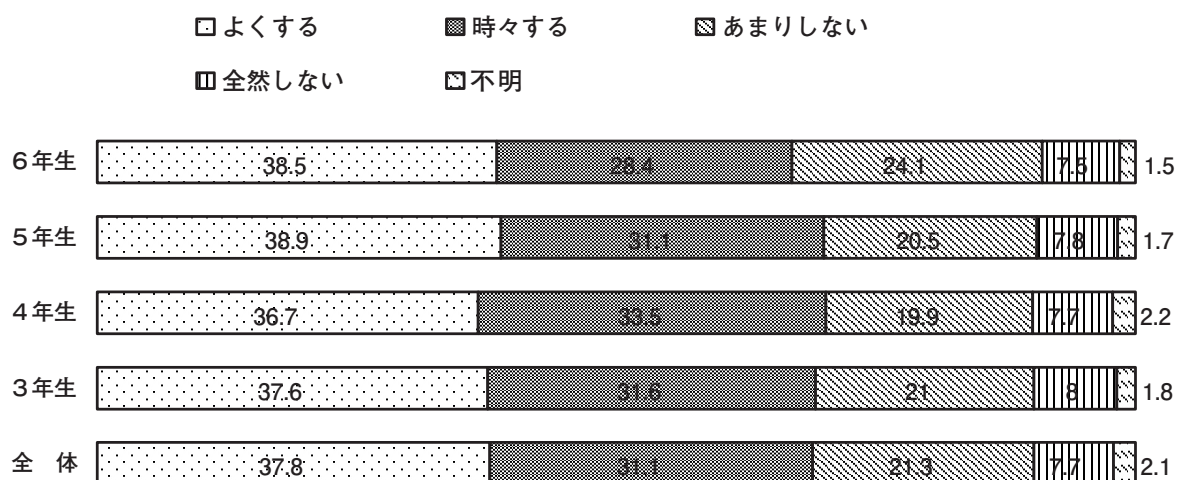
夕ご飯をひとりで食べる



(10) 男女別 男女別では、「夕ごはんをひとりで食べる」児童の割合は、男子の方が若干高くなっている傾向が見られる。

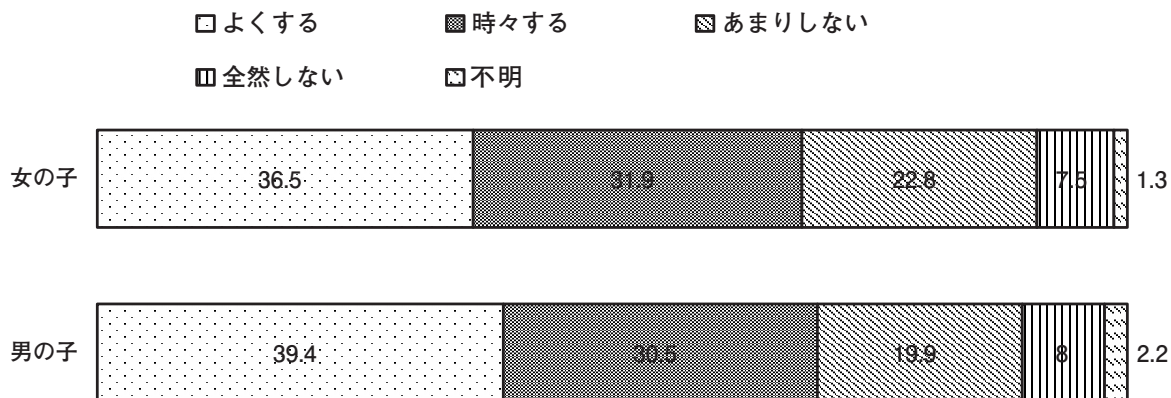
(11) 夕ごはんを家族全員そろってから食べる

夕ごはんを家族全員そろってから食べる



(11) 全体では「よくする」と「時々する」の合計は68.9%であり、7割近くの児童が「夕ごはんを家族全員そろってから食べる」傾向が見られる。ただ学年別では、6年生のみが両合計で66.9%となっており、「夕ごはんを家族全員そろってから食べる」割合が少し減っている。

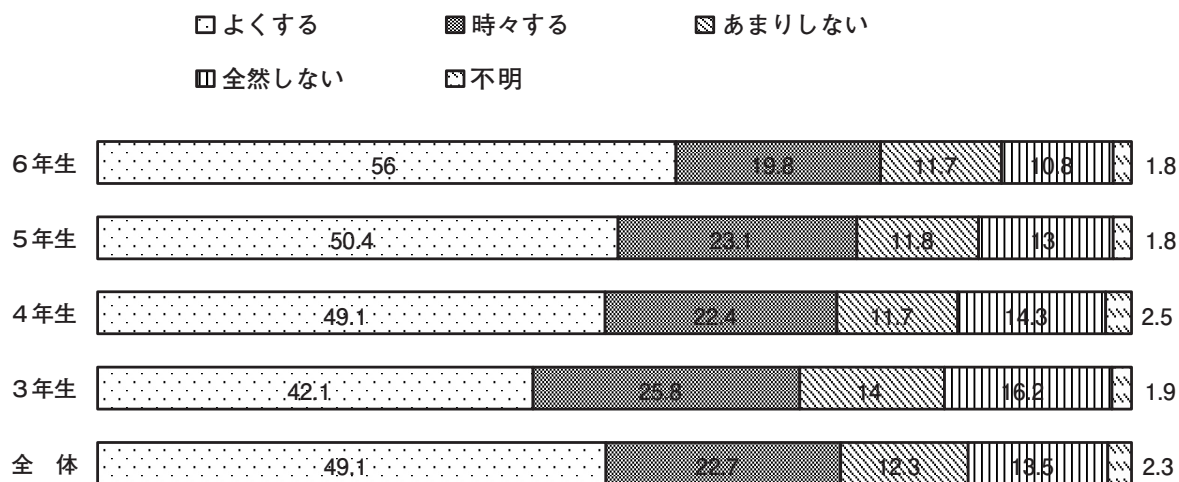
夕ごはんを家族全員そろってから食べる



(11) 男女別 男子の方が割合が少し高い。

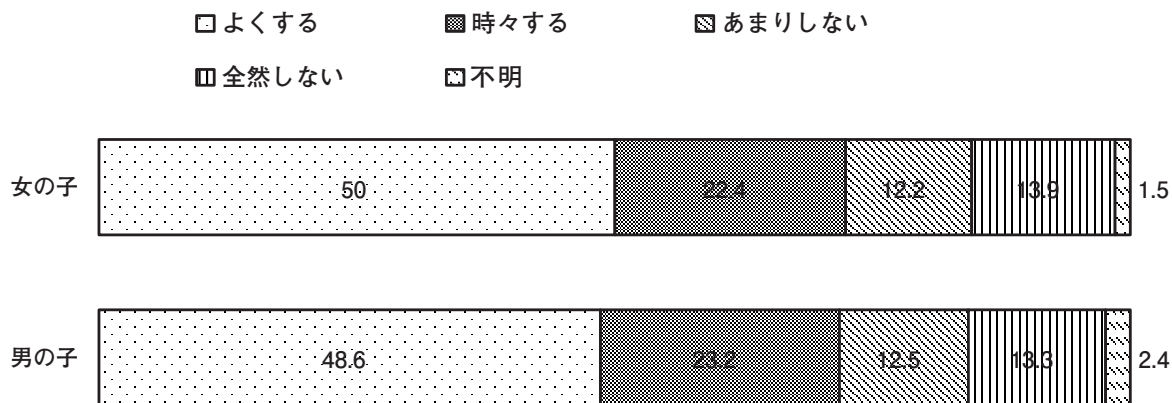
(12) テレビやビデオを見ながらごはんを食べる

テレビやビデオを見ながらご飯を食べる



(12) 学年別 全体では「よくする」と「時々する」の合計は71.8%であり、7割以上の児童が「テレビやビデオを見ながらごはんを食べる」傾向にある。また、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。

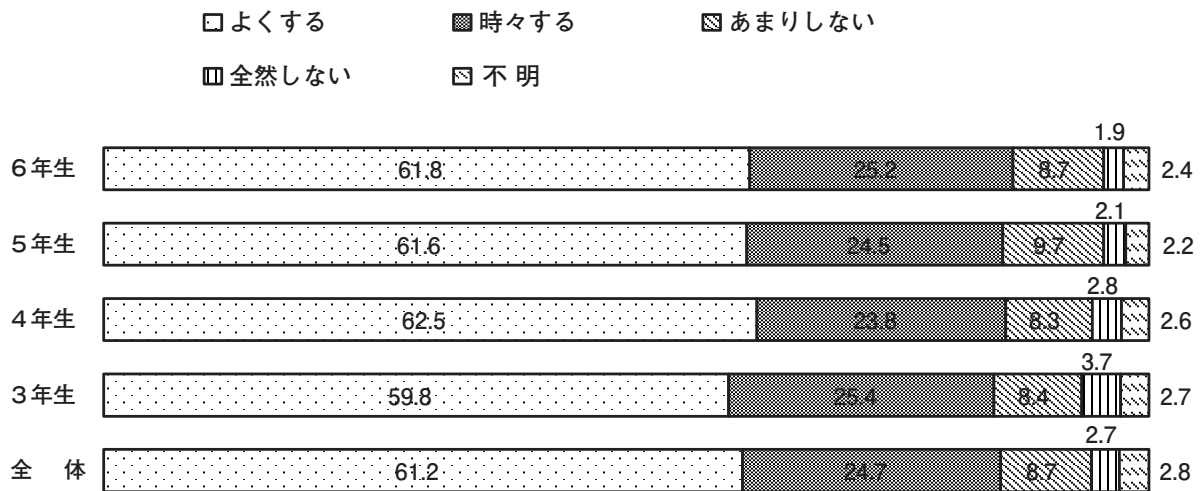
テレビやビデオを見ながらご飯を食べる



(12) 男女別 男女間での差はほとんどない。

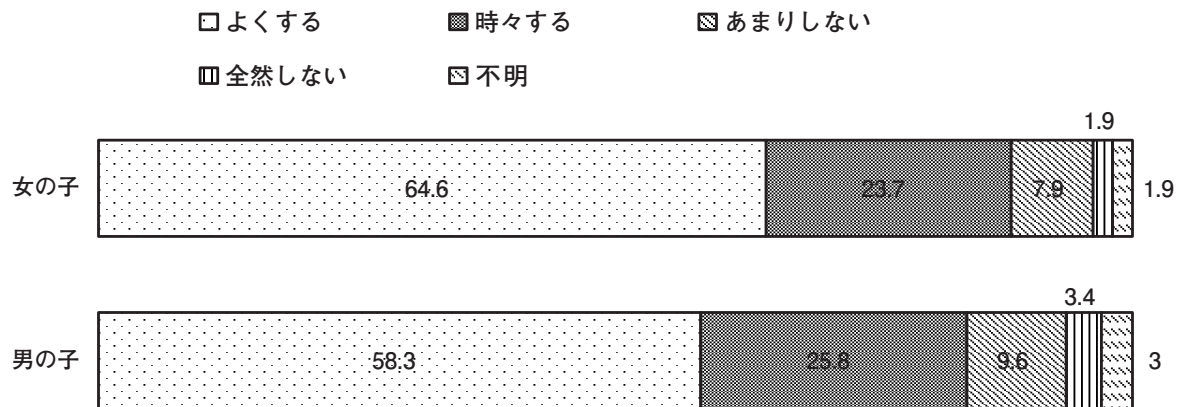
(13) 食事を楽しいと感じる

食事を楽しいと感じる



(13) 学年別では、どの学年も「よくする」と「時々する」の合計が8割を超えており、食事を楽しいと感じている児童が多くを占めている。一方、「全然しない」と答えた児童は全体では2.7%と少数であるが、学年が上がるにつれて減少傾向にある。

食事を楽しいと感じる

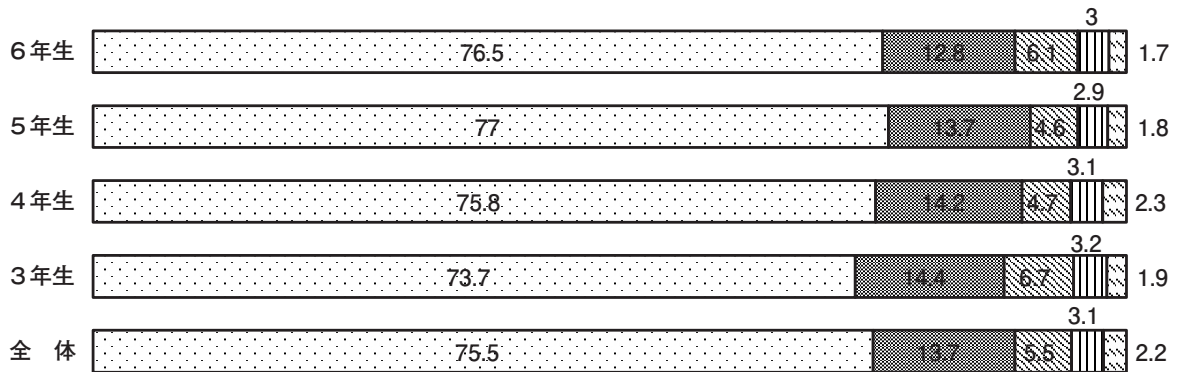


(13) 男女別では、女の子の方が「よくする」と答えた割合が6.3%高く、食事を楽しいと感じている者が多い傾向がうかがわれる。

(14) 食事の時の挨拶「いただきます」「ごちそうさま」を言う

食事の時の挨拶をする

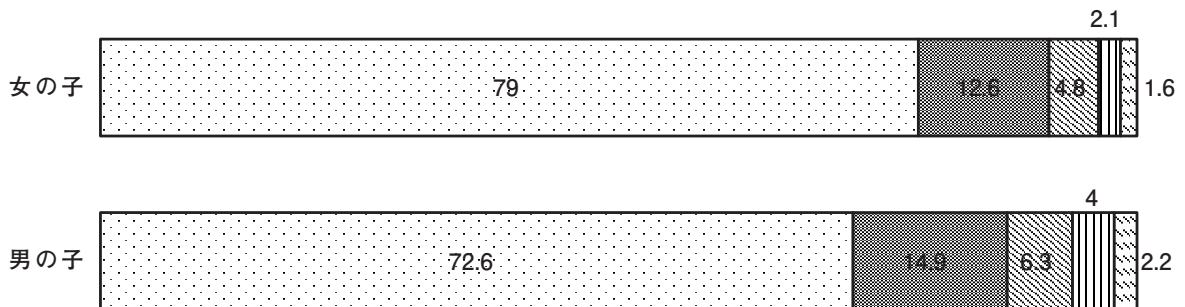
□よくする ■時々する ▨あまりしない
 □全然しない □不明



(14) 学年別の食事の時のあいさつでは、「よくする」「時々する」「あまりしない」「全然しない」の各回答とも学年による差がすくない。家庭における生活様式の違いによるものと考えられる。

食事の時の挨拶をする

□よくする ■時々する ▨あまりしない
 □全然しない □不明

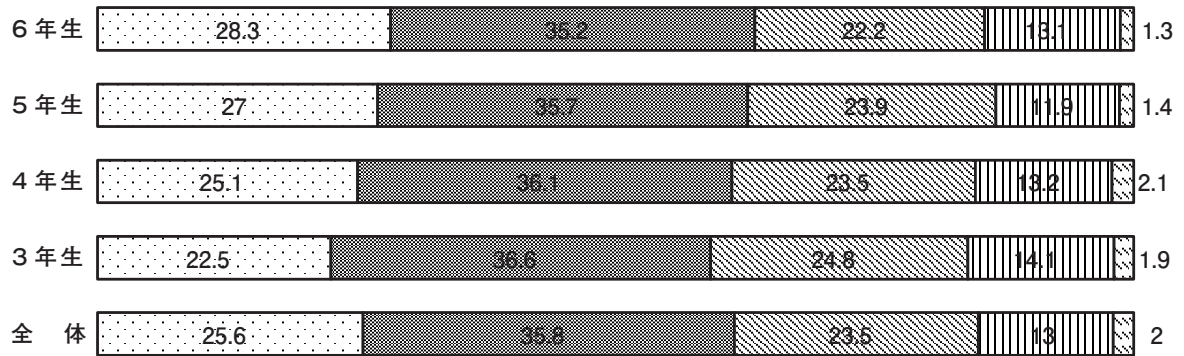


(14) 男女別の食事の時のあいさつでは、「よくする」「時々する」の合計で女子が91.6%、男子が87.5%となっており、女子のほうが、わずかに高い傾向がうかがえる。

(15) ジュースなど甘い飲み物をのむ

ジュースなど甘い飲み物をのむ

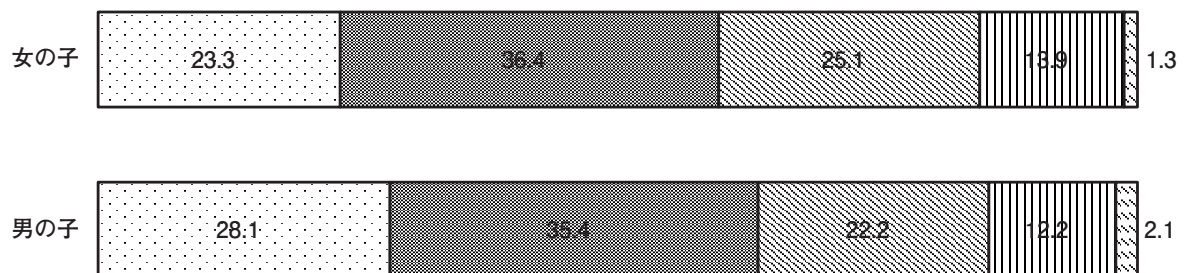
よくする 時々する あまりしない
 全然しない 不明



(15) 学年別のジュースなど甘い飲み物をのむでは、「よくする」の回答で学年の進行とともに増加している傾向がある。高学年では自分の判断で飲みものを選べるからと考えられる。

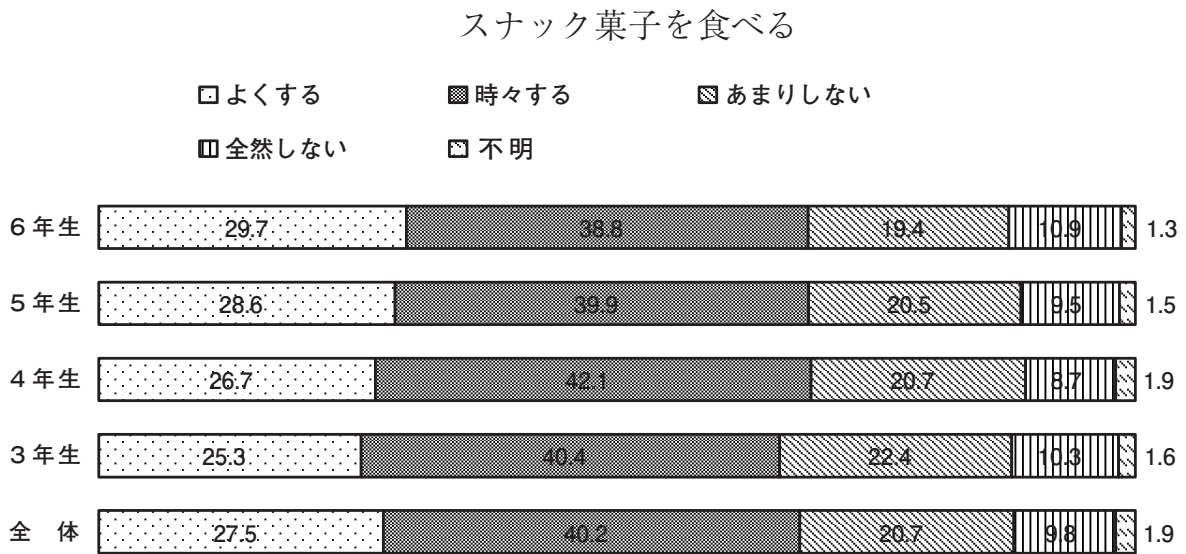
ジュースなど甘い飲み物をのむ

よくする 時々する あまりしない
 全然しない 不明

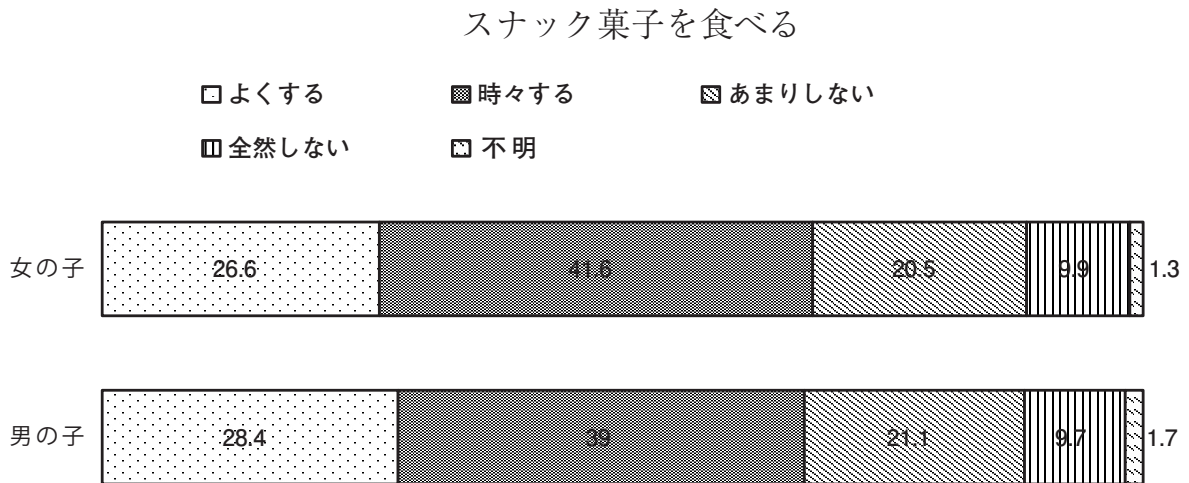


(15) 男女別のジュースなど甘い飲み物をのむでは、「よくする」「時々する」の合計の回答で男子が63.5%、女子が59.7%となっており、男子のほうが、わずかに高い傾向がうかがえる。

(16) ポテトチップスなどのスナック菓子を食べる



(16) 学年別のスナック菓子を食べるでは、「よくする」の割合が学年進行にともなわずかではあるが、増加している。しかし、「よくする」「ときどきする」の合計では、学年による差はほとんどない。

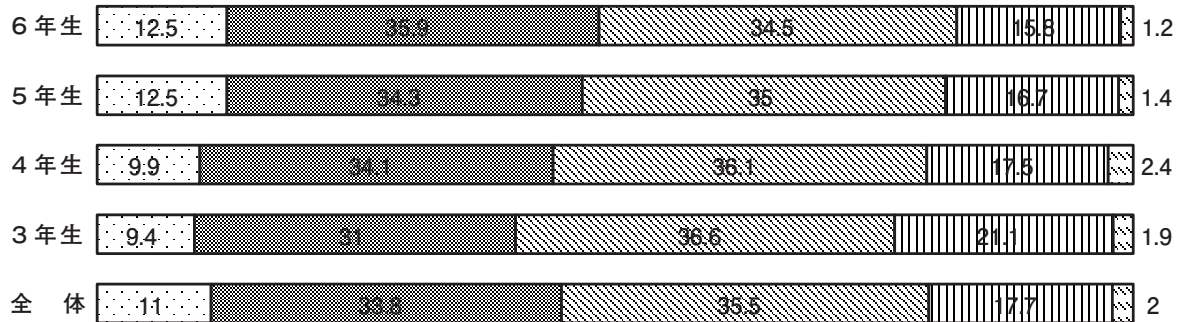


(16) 男女別のスナック菓子を食べるでは、「よくする」「時々する」「あまりしない」「全然しない」の各回答ともほとんど差がない。

(17) インスタントのラーメンやカップめんを食べる

インスタントラーメンやカップ麺を食べる

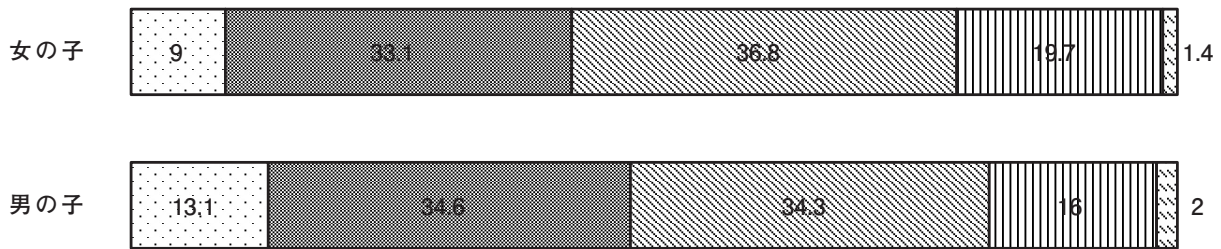
よくする 時々する あまりしない
 全然しない 不明



(17) 学年別のインスタントラーメンやカップ麺を食べるでは、「よくする」「時々する」の割合が学年進行にともなって増加している。一方、「あまりしない」「全然しない」の割合は高学年になるに従い減少している。

インスタントラーメンやカップ麺を食べる

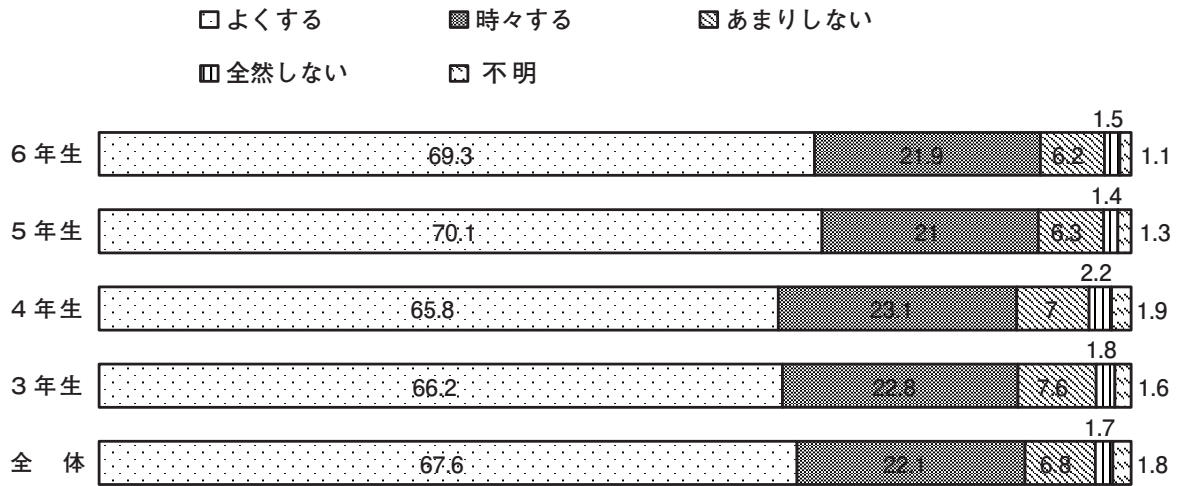
よくする 時々する あまりしない
 全然しない 不明



(17) 男女別のインスタントラーメンやカップ麺を食べるでは、「よくする」「時々する」の合計が男子が47.7%、女子が42.1%となっており、男子の方が、インスタントラーメンやカップ麺をよく食べる傾向にある。

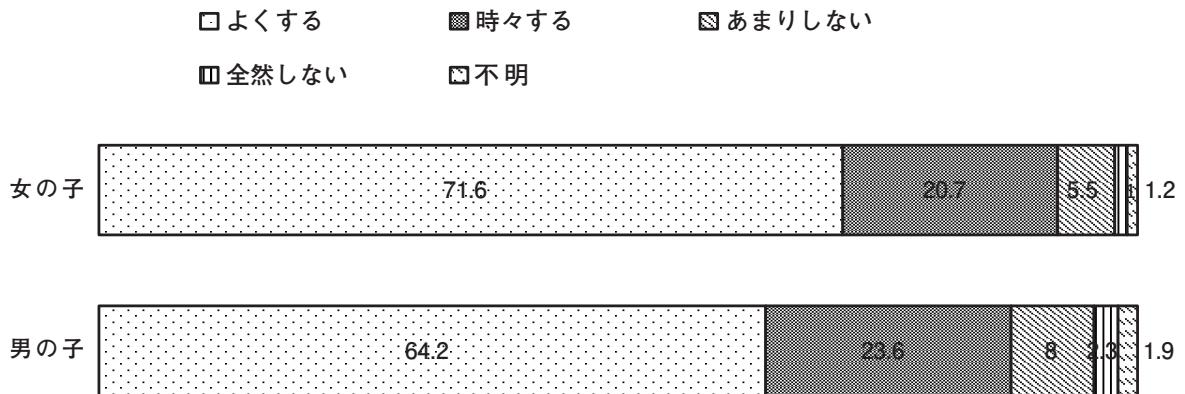
(18) 野菜を食べる

野菜を食べる



(18) 学年別の野菜を食べるでは、「よくする」「時々する」の割合で3、4年の中学年に比べて、高学年の方が高い割合となっている。

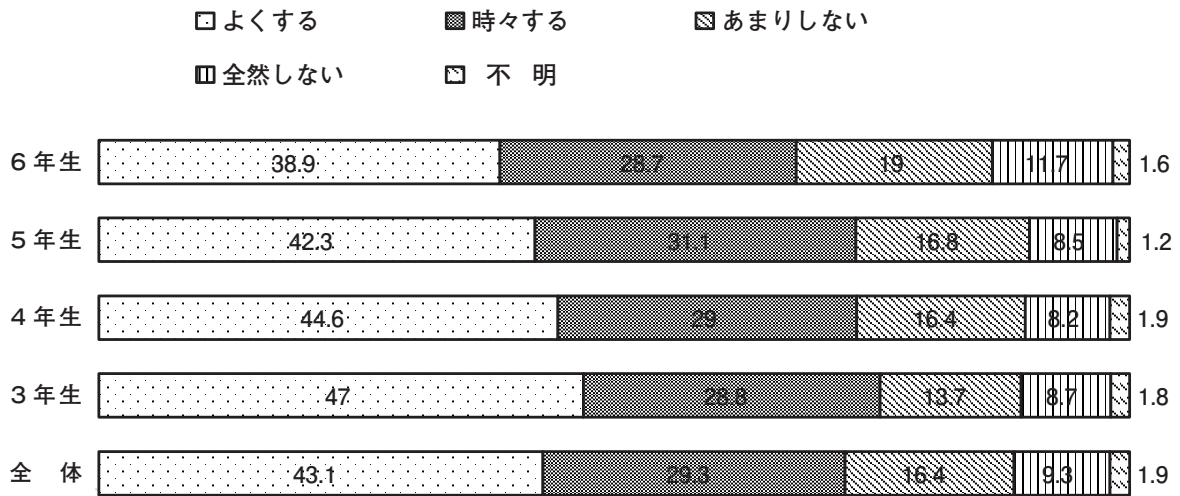
野菜を食べる



(18) 男女別の野菜を食べるでは、「よくする」「時々する」の合計が男子が87.8%、女子が92.3%となっており、女子の方が、野菜をよく食べる傾向にある。

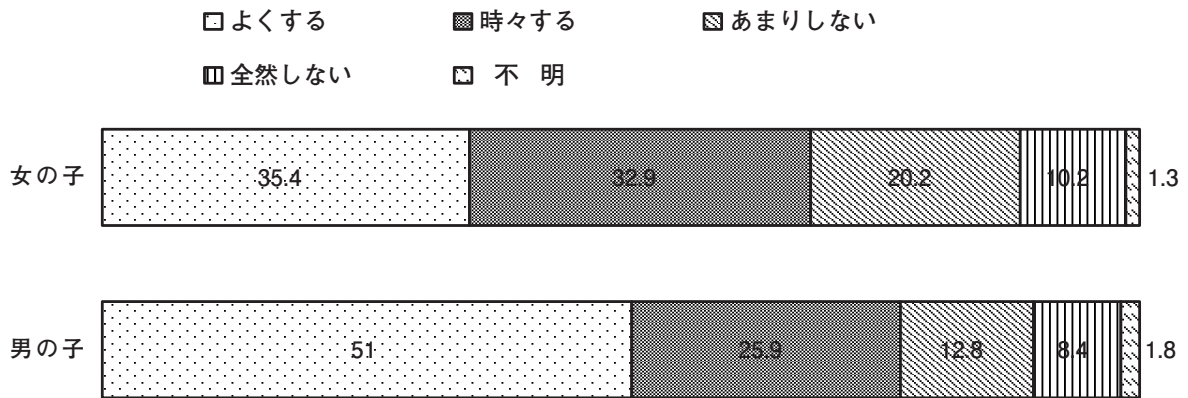
(19) 児童クラブも含めて、運動場や公園など外で遊ぶ

運動場や公園など外で遊ぶ



(19) 学年別の運動場や公園など外で遊ぶでは、「よくする」の割合が学年進行にともなって減少している。3年生と6年生では8.1%の差がある。遊びの内容の変化や遊ぶ時間の違いが要因と考えられる。

運動場や公園など外で遊ぶ



(19) 男女別の運動場や公園など外で遊ぶでは、「よくする」「時々する」の合計が男子76.9%、女子68.3%と男子の方が高い割合となっている。遊びの内容の違いと考えられる。

(20) 児童クラブも含めて、家や部屋の中で遊ぶ

家や部屋の中で遊ぶ

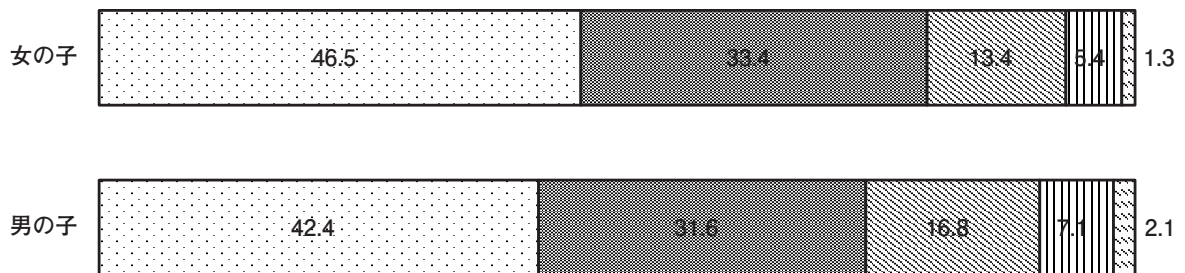
□よくする ■時々する ▨あまりしない
 □全然しない □不明



(20) 学年別の家や部屋の中で遊ぶでは、「よくする」の割合が学年進行にともなって減少しているが、設問、(19)の外で遊ぶよりは減少幅は小さい。

家や部屋の中で遊ぶ

□よくする ■時々する ▨あまりしない
 □全然しない □不明

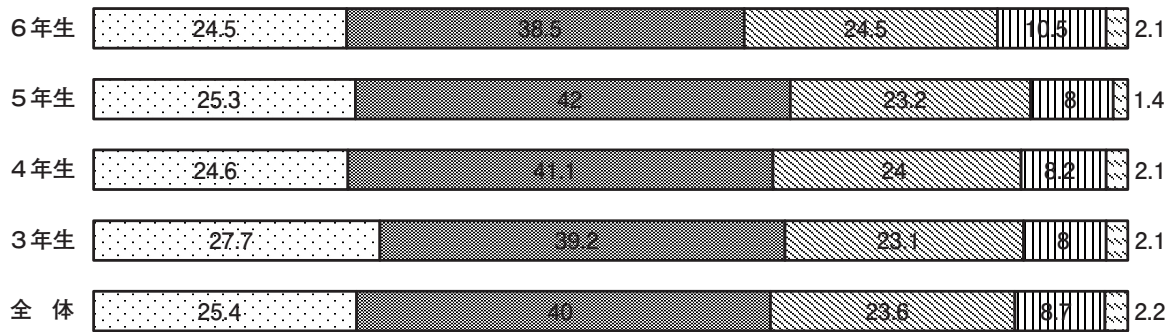


(20) 男女別の家や部屋の中で遊ぶでは、「よくする」「時々する」の合計が男子74%、女子79.9%となり、女子の方が高い割合となっている。設問(19)の外で遊ぶとは男子、女子の逆転が見られ、遊びの内容の違いと考えられる。

(21) 家の手伝いをする

家の手伝いをする

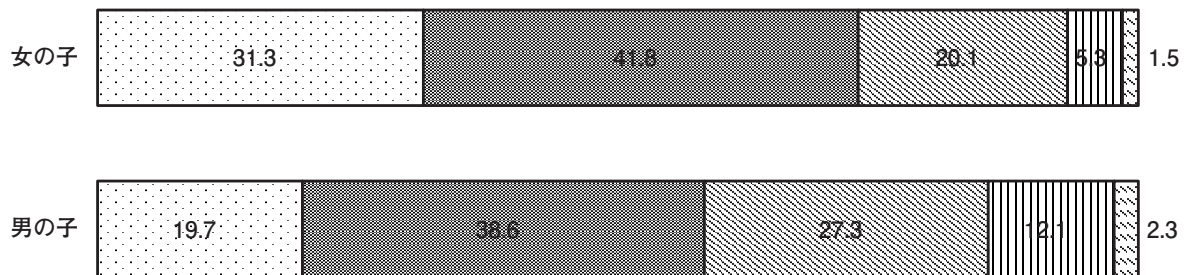
□よくする ■時々する ▨あまりしない
 □全然しない □不明



(21) 学年別の家の手伝いをするでは、「よくする」「時々する」の割合で3～5年生まではほとんど差がないが、6年生は減少している。

家の手伝いをする

□よくする ■時々する ▨あまりしない
 □全然しない □不明

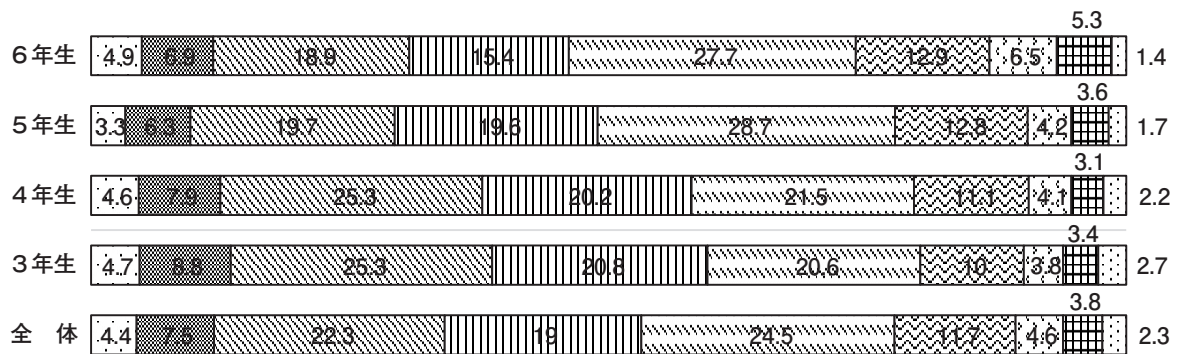


(21) 男女別の家の手伝いをするでは、「よくする」「時々する」の合計が男子が58.3%、女子が73.1%となっており、女子の方が、よく家の手伝いをしている傾向にある。

(22) 平日の一日に家で勉強する時間

平日の一日に家で勉強する時間

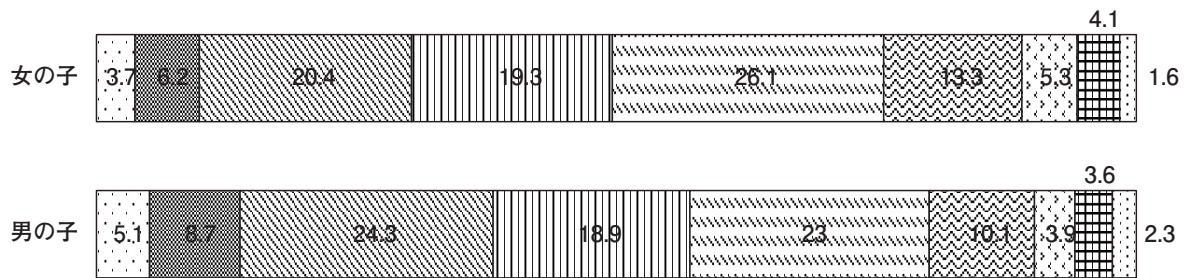
□ほとんどしない ■ 15分 ▨ 30分 ▩ 45分 ▪ 1時間
 ▫ 1時間30分 □ 2時間 ▧ 2時間より多い □ 不明



(22) 学年別の平日の一日に家で勉強する時間では、「1時間30分」「2時間」「2時間より多い」の回答が学年のあがるごとに増加しており、学年進行に伴って勉強する時間が増えていることがうかがえる。一方、「ほとんどしない」の割合が6年生で一番高くなっている。

平日の一日に家で勉強する時間

□ほとんどしない ■ 15分 ▨ 30分 ▩ 45分 ▪ 1時間
 ▫ 1時間30分 □ 2時間 ▧ 2時間より多い □ 不明

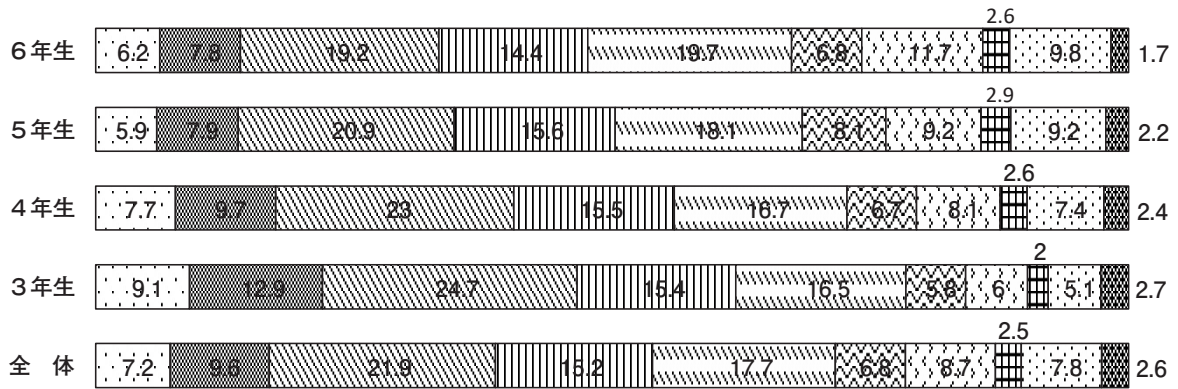


(22) 男女別の平日の一日に家で勉強する時間では、「45分」「1時間」「1時間30分」「2時間」「2時間より多い」の回答が女子の方が高く、女子の方が勉強する時間が長いことがうかがえる。

(23) 一日にテレビやビデオ（DVD）を見る時間

一日にテレビやビデオ（DVD）を見る時間

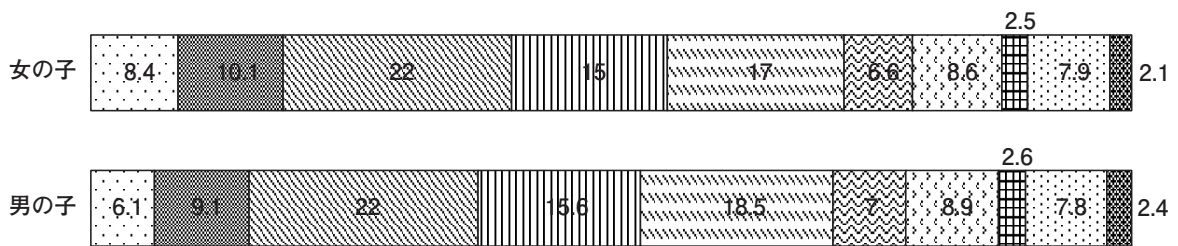
□ほとんどみない ■ 30分まで ▨ 1時間 □ 1時間30分 □ 2時間
 ▨ 2時間30分 □ 3時間 ▨ 3時間30分 □ 4時間より多い ■ 不明



(23) 学年別の一日にテレビやビデオ(DVD)を見る時間では、「3時間」や「4時間より多い」といった回答で学年のあがるごとに増加しており、学年進行に伴ってテレビやビデオを視聴する時間が増えていることがうかがえる。全体で「3時間30分」と「4時間より多い」の合計の回答が10.3%となっており、これは1割の児童が一日3時間30分以上テレビやビデオを見ていることとなる。

一日にテレビやビデオ（DVD）を見る時間

□ほとんどみない ■ 30分まで ▨ 1時間 □ 1時間30分 □ 2時間
 ▨ 2時間30分 □ 3時間 ▨ 3時間30分 □ 4時間より多い ■ 不明

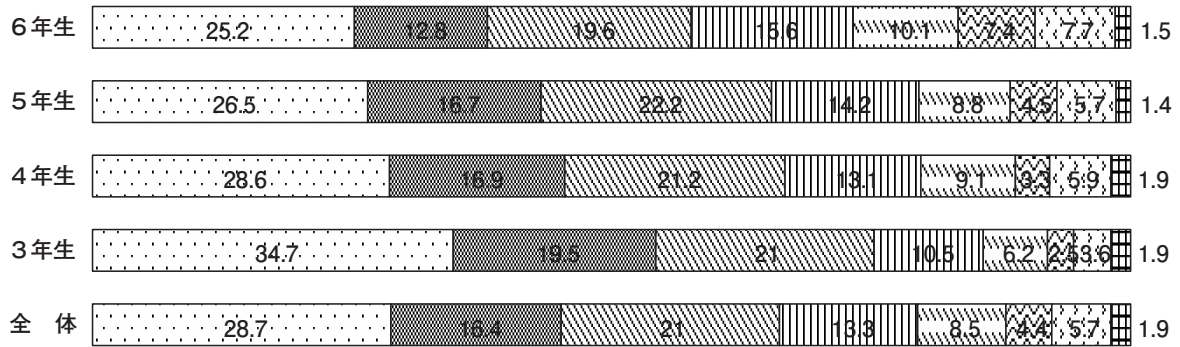


(23) 男女別の一日にテレビやビデオ(DVD)を見る時間では、各回答とも大きな差はなく、性差はほとんどないと考えられる。

(24) 一日に携帯ゲームやテレビゲームをする時間

一日に携帯ゲームやテレビゲームをする時間

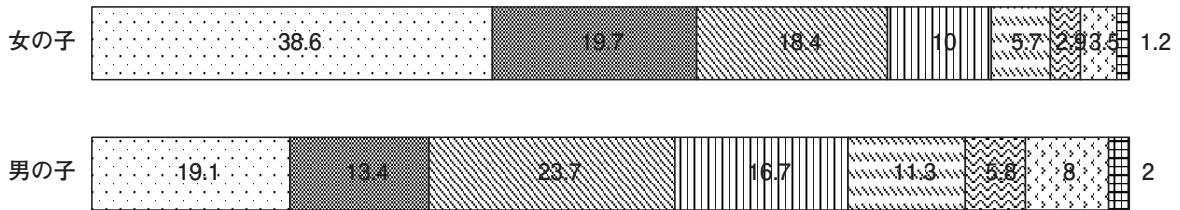
□ほとんどしない □30分まで □30分～1時間まで □1時間～1時間30分まで
 □1時間30分～2時間まで □2時間～3時間まで □3時間より多い □不明



(24) 学年別の一日に携帯ゲームやテレビゲームをする時間では、時間が多くなる「1時間～1時間30分まで」「1時間30分～2時間まで」「2時間～3時間まで」「3時間より多い」の回答で6年生が一番高い。一方「ほとんどしない」「30分まで」の回答で学年のあがるごとに減少しており、学年進行に伴って時間が増えていることがうかがえる。

一日に携帯ゲームやテレビゲームをする時間

□ほとんどしない □30分まで □30分～1時間まで □1時間～1時間30分まで
 □1時間30分～2時間まで □2時間～3時間まで □3時間より多い □不明

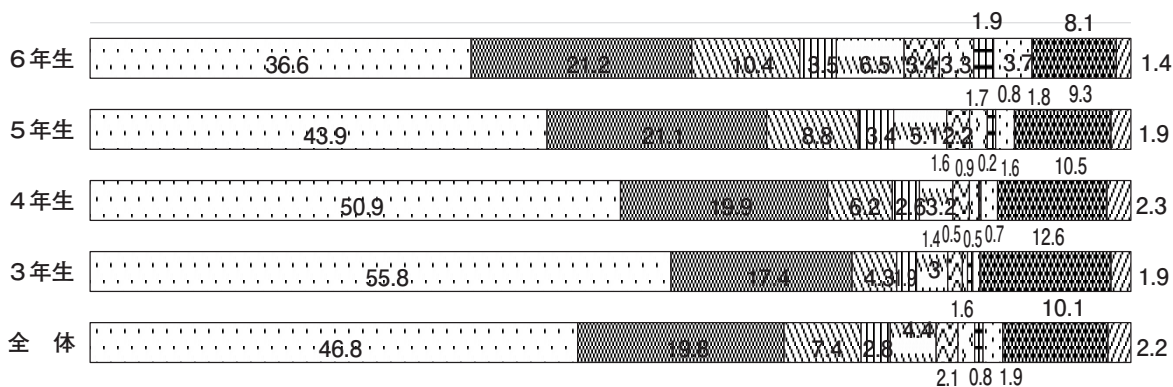


(24) 男女別の一日に携帯ゲームやテレビゲームをする時間では、ほとんどの回答項目で男子の方が高い回答を示しており、「ほとんどしない」では男子19.1%に対して女子は38.6%となっている。このことから、携帯ゲームやテレビゲームをする時間は男子の方が、女子より多いことがわかる。

(25) 一日に携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間

一日に携帯電話やスマートフォンでメールやインターネットをする時間

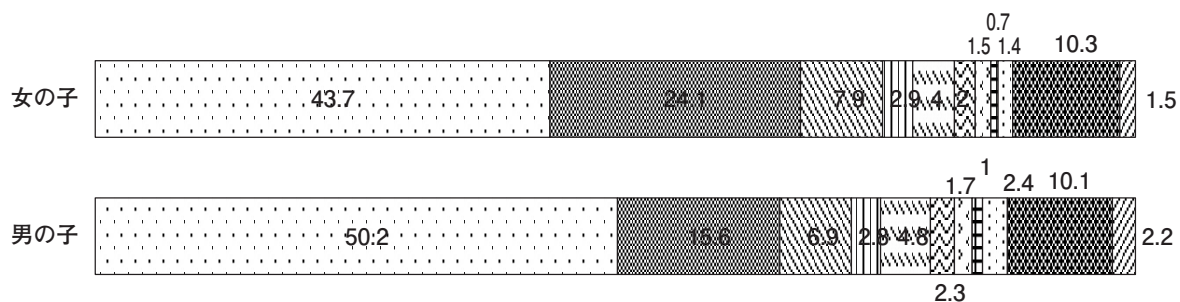
- もっていない ▨ 15分 ▩ 30分 ▪ 45分
- 1時間 ▤ 1時間30分 ▦ 2時間 ▧ 2時間30分
- 3時間より多い ▫ メールもインターネットもしない ▬ 不明



(25) 全体では、携帯などを持たないが47%の回答、それに費やす時間も15分が20%前後、30分が10%不足で、メールやインターネットをしないという回答は約10%である。3年生から6年生の学年別の比較では、6年生になるにつれて携帯等持つ児童、費やす時間も増えており、3時間より多いという回答は、3年生で0.7%、4年生1.6%、5年生で1.8%から6年生で3.7%に増えている。男女比では、持たないが男女ともに半数で、費やす時間は15分が男子より女子が多く、後の費やす時間は同じくらいの%で推移している。しかし、3時間以上の回答も全体で0.3%である。学年が上がるにつれ、携帯などを持つことやそれに費やす時間も増えている。

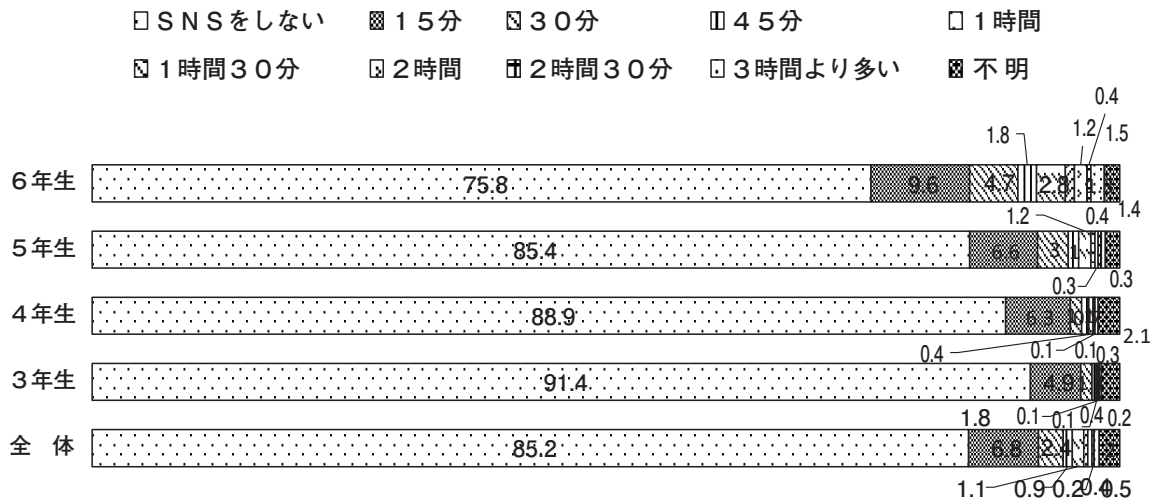
一日に携帯電話やスマートフォンでメールやインターネットをする時間

- もっていない ▨ 15分 ▩ 30分 ▪ 45分
- 1時間 ▤ 1時間30分 ▦ 2時間 ▧ 2時間30分
- 3時間より多い ▫ メールもインターネットもしない ▬ 不明



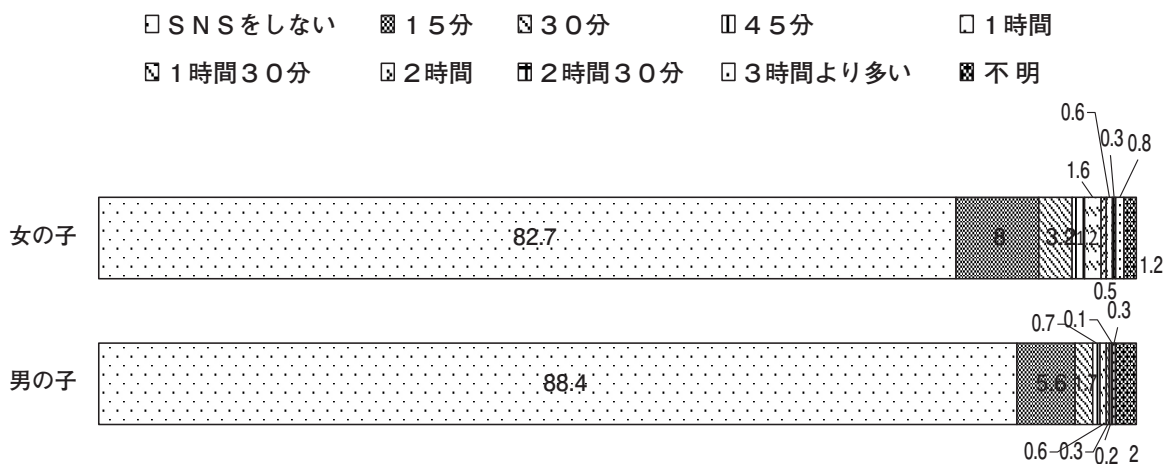
(26) 携帯電話やスマートフォンを使ってSNSをする時間

携帯電話やスマートフォンを使ってSNSをする時間



(26) 全体では、携帯電話やスマートフォンを使ってSNSをしないという回答は約85%で、学年が上がるにつれ3年生91%から、4年生88.9%、5年生が85.4%、6年生75%の回答である。男女比では、SNSをしない男子が多く88.4%、女子82.7%であるが、使用時間はわずかに女子が多い。3時間以上費やすと回答は全体で0.5%であるが、こうした子どもたちの生活リズムが崩れないように注意していく必要がある。

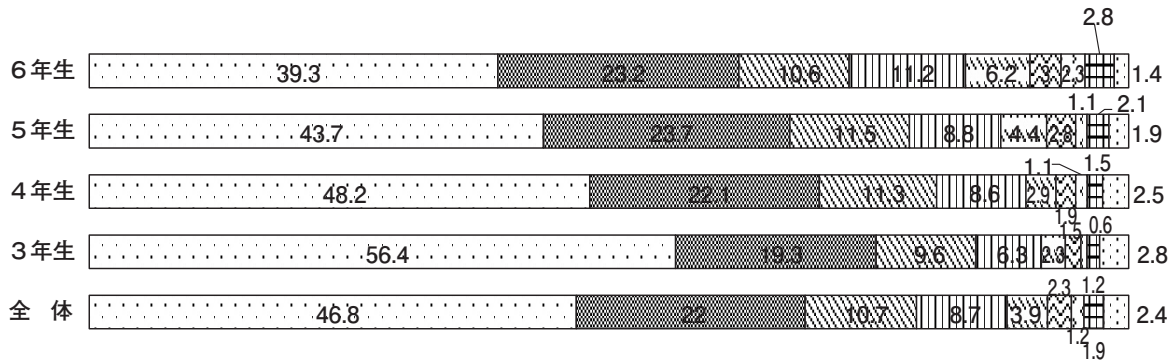
携帯電話やスマートフォンを使ってSNSをする時間



(27) 一日にパソコンを使う時間

一日にパソコンを使う時間

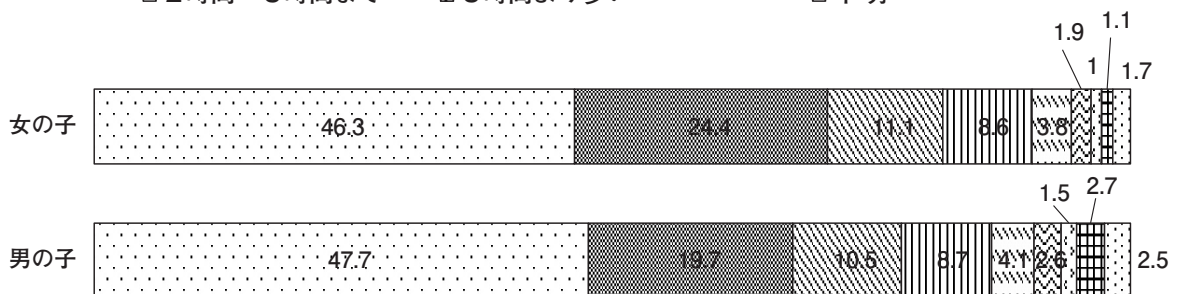
- しない
- ほとんどしない
- ▨ 30分まで
- ▧ 30分～1時間まで
- ▩ 1時間～1時間30分まで
- 1時間30分～2時間まで
- 2時間～3時間まで
- ▬ 3時間より多い
- 不明



(27) 全体で、パソコンをしないが46.8%、ほとんどしないが22%で、合計70%弱の回答である。こちらも学年が上がるにつれ費やす時間が徐々に増えている。男女比では、男子がわずかに多く時間を費やしている。パソコンの使用時間は今後増えることはあっても減ることは考えられないため、計画的に使用時間を決めていく必要があるといえる。

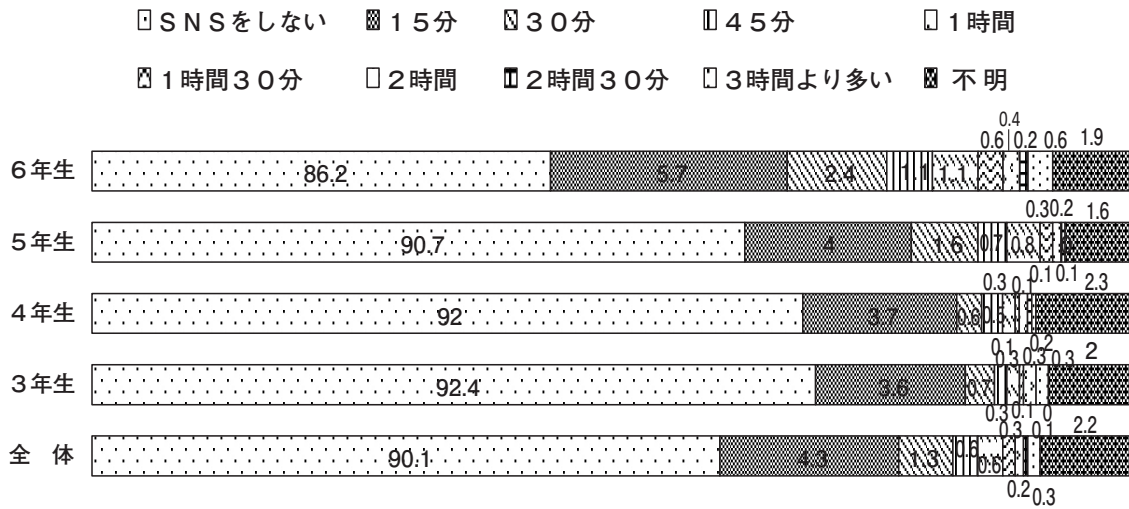
一日にパソコンを使う時間

- しない
- ほとんどしない
- ▨ 30分まで
- ▧ 30分～1時間まで
- ▩ 1時間～1時間30分まで
- 1時間30分～2時間まで
- 2時間～3時間まで
- ▬ 3時間より多い
- 不明



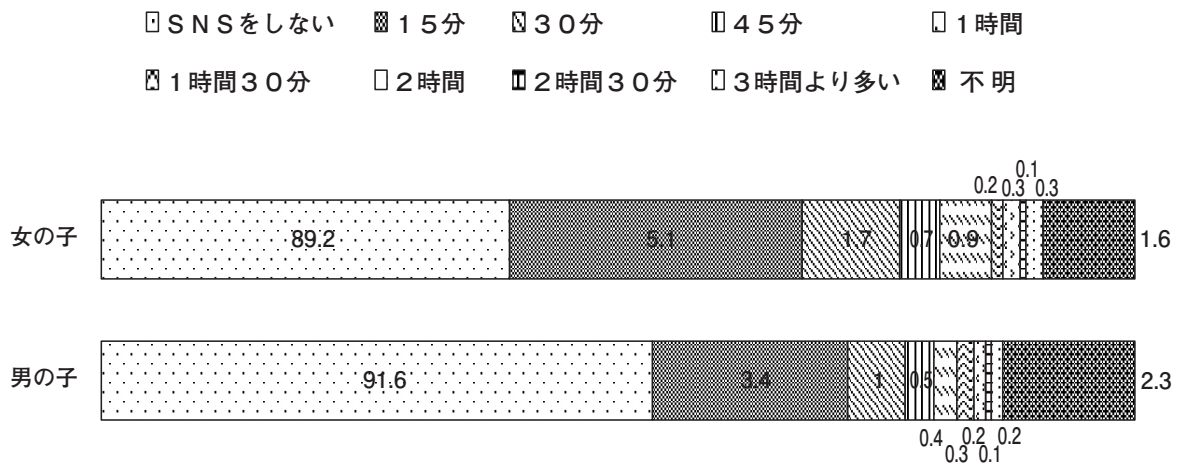
(28) パソコンを使ってSNSをする時間

パソコンを使ってSNSをする時間



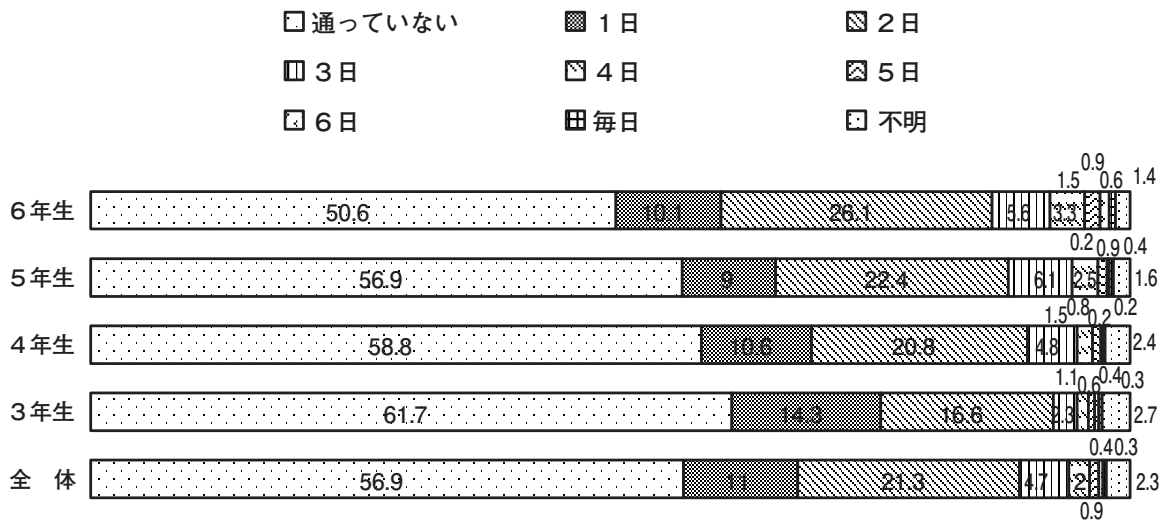
(28) 全体の90.1%はしない、15分は6年生が5.7%でそのほかは4%前後である。3時間以上の回答も5年生は0%、3年生0.3%、4年生0.1%、多い6年生も0.6%と少ない時間の回答である。SNSに関しては、できるだけ現状が維持されることが望ましいといえる。また、男子の方がSNSをしない割合が高い。

パソコンを使ってSNSをする時間



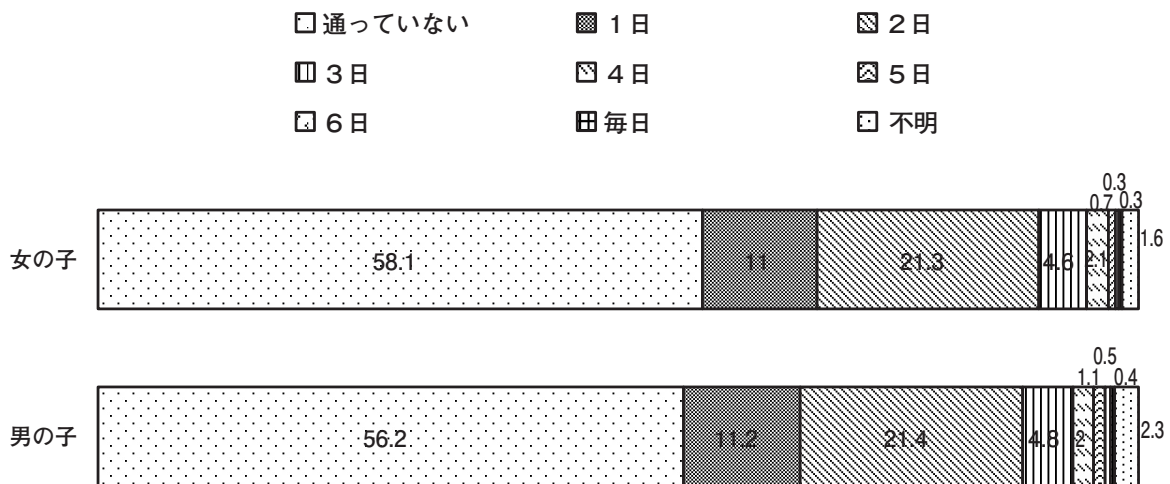
(29) 一週間の間に学習塾へ通う日数

一週間の間に学習塾へ通う日数



(29) 全体で、通っていないは56.9%、多いのが週2日で21.3%、1日が11%、3日が4.7%、4日2%、5日0.9%、6日0.4%、毎日0.3%である。学年別では6年生になるにつれて塾通いも増えており、男女別ではわずかに女子が多くなっている。

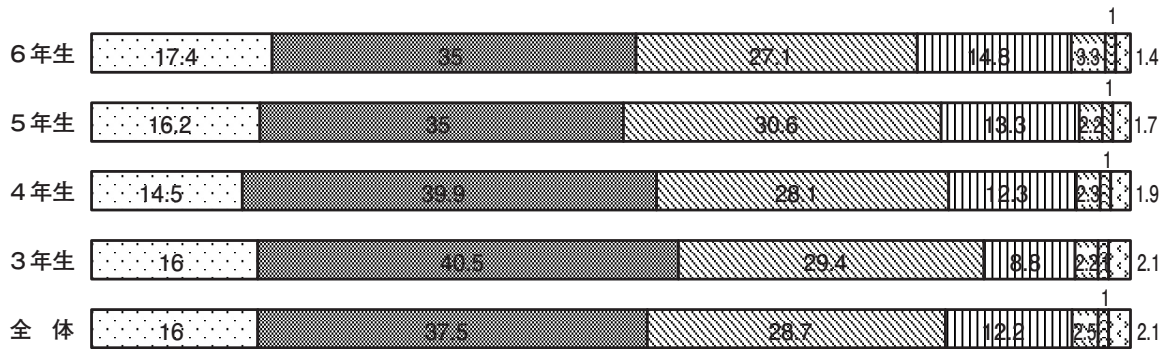
一週間の間に学習塾へ通う日数



(30) 一週間の間に習い事や学校以外のクラブに通う日数

一週間の間に習い事や学校以外のクラブに通う日数

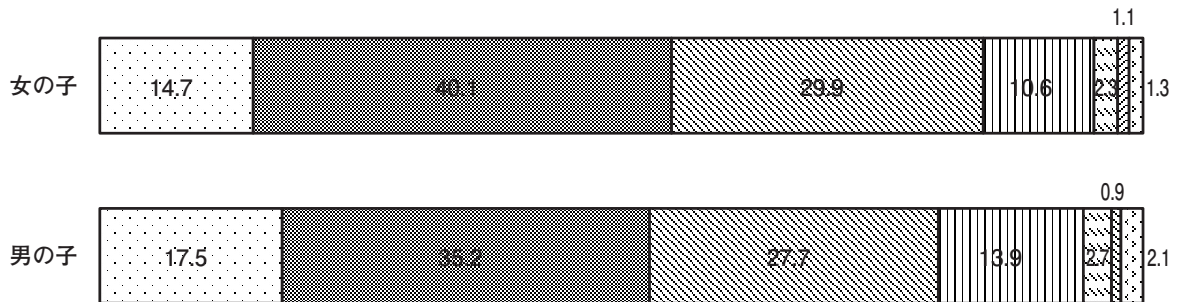
□通っていない ■ 1日～2日 ▨ 3日～4日 ▩ 5日～6日
 ▤ 毎日 ▦ その他 □ 不明



(30) 通っていないという回答は、全体が16%、6年生が17.4%で学年が上がるにつれやや増えている。多いのが1～2日で37.5%、3～4日が28.7%、5～6日が12.2%、毎日が2.5%と減っている。男女別ではわずかに女子が多いが、5～6日では男子がわずかに逆転している。

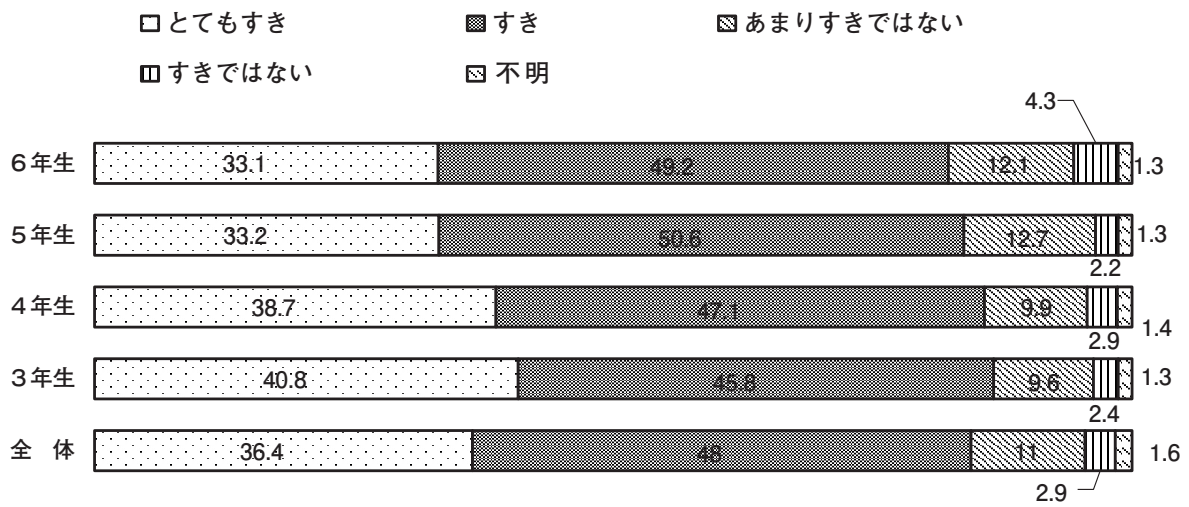
一週間の間に習い事や学校以外のクラブに通う日数

□通っていない ■ 1日～2日 ▨ 3日～4日 ▩ 5日～6日
 ▤ 毎日 ▦ その他 □ 不明



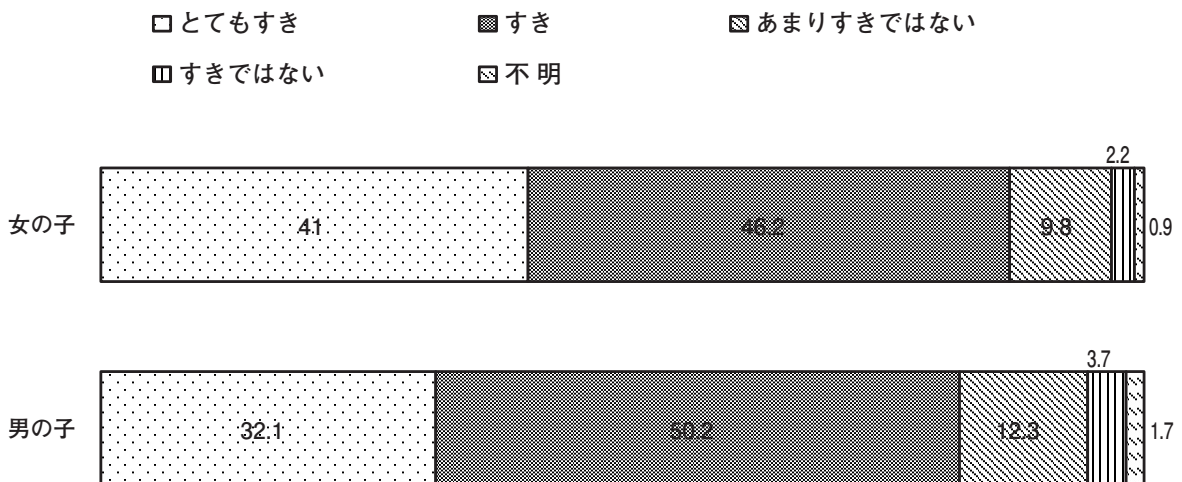
(31) 学校が好きですか

学校が好きですか



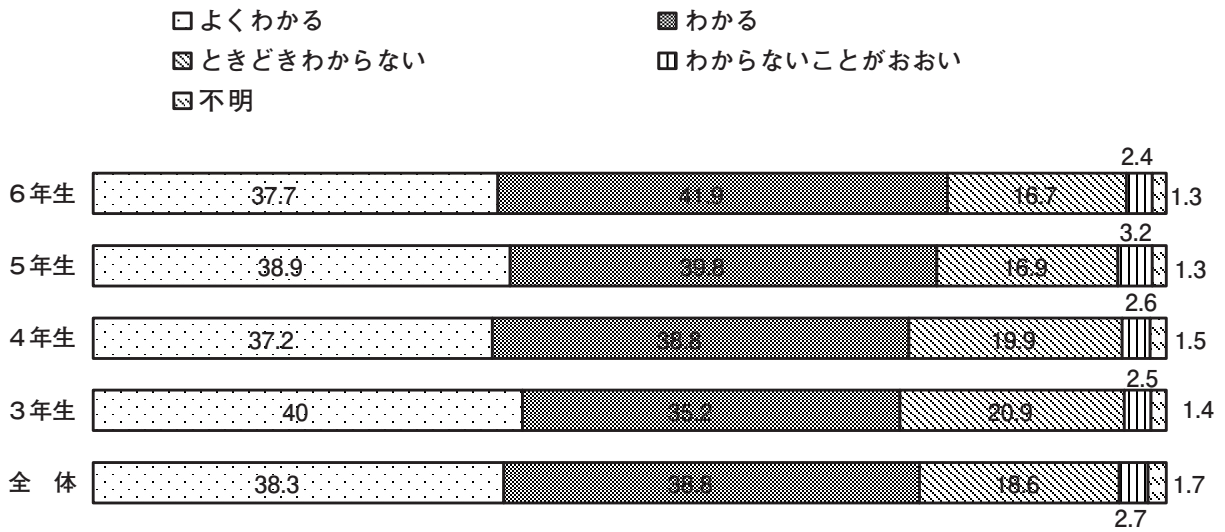
(31) 全体でとても好きが36.4%、好きが48%、あまり好きではないが11%、好きではないが2.9%で、84.4%が好きと答えている。学年別では、3年生がとても好きが40.8%で、学年が上がるごとに学校が好きの割合が減少している。男女比ではとても好きの回答は女子が多く41%、男子は32.1%の回答で女子の方が肯定的回答が多い。

学校が好きですか



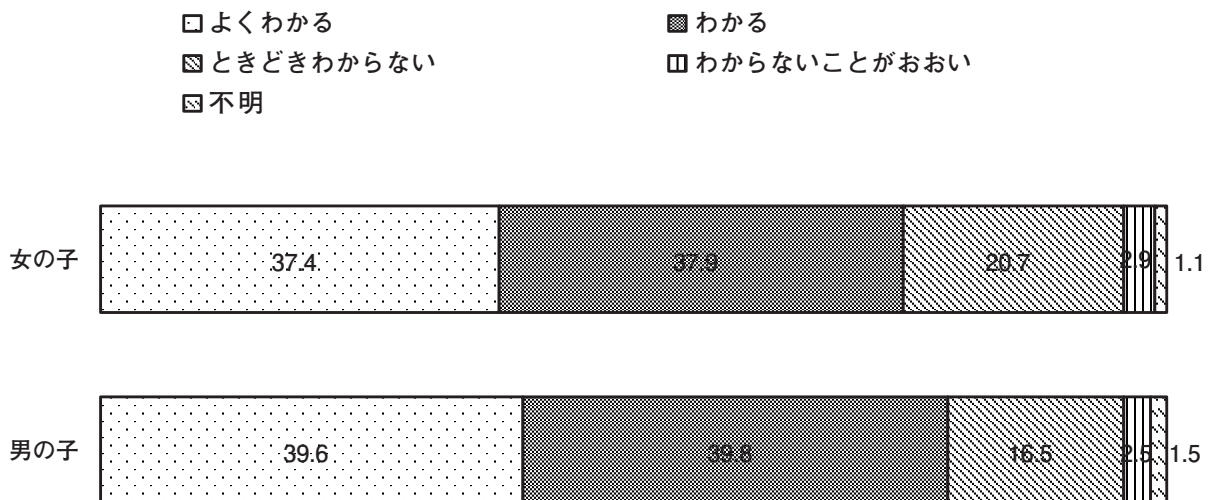
(32) 学校での勉強（授業）がわかりますか

学校での勉強（授業）がわかりますか



(32) 全体で、よくわかるが38.3%、わかるが38.8%で80%近くがわかると回答している。時々わからないが18.6%、わからないことがおおいが2.7%で合計21.3%の回答である。学年別でよくわかる、わからないことが多いの回答では3年生が20.9%で一番多く、6年生で16.7%と少なく、いずれも学年が上がるにつれわかるといった規則性のある回答にはなっていない。男女別では、男子の方が女子よりわかると回答している者が多い。

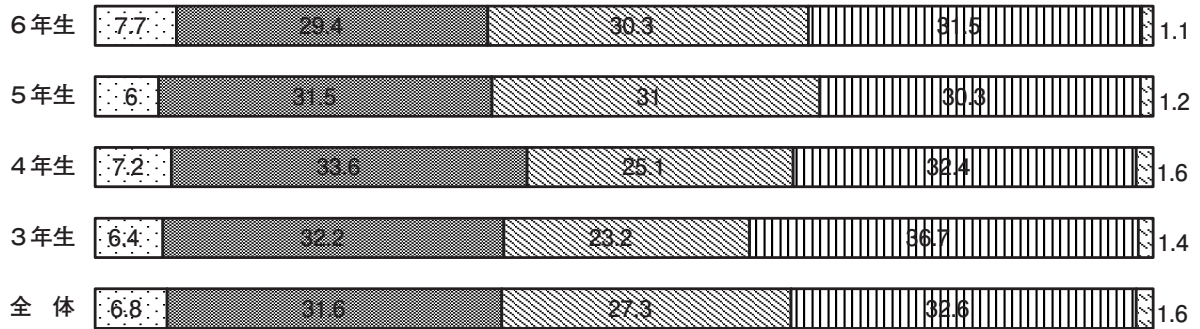
学校での勉強（授業）がわかりますか



(33) 学校に行きたくないと思うことがありますか

学校に行きたくないと思うことがありますか

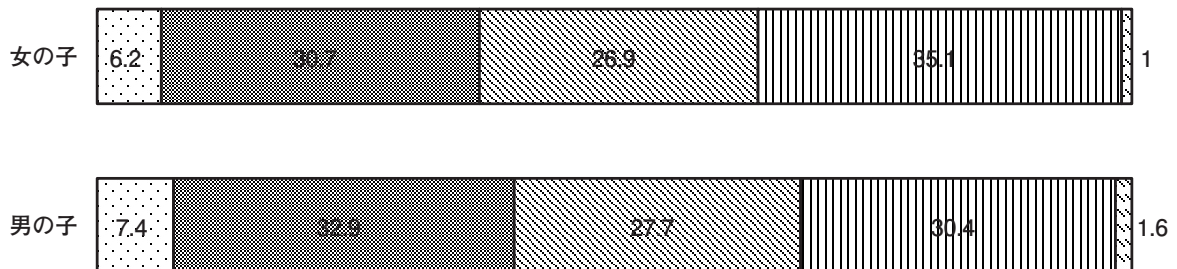
□ よくある ■ ときどきある ▨ あまりない
 ▩ 全然ない □ 不明



(33) 全体で行きたくないと思うことがよくあるが、6.8%、時々あるが31.6%の合計38.4%になる。あまりないが27.3%、全然ないが32.6%で59.9%は肯定的な回答である。男女別では、男子の方が不登校的感情を持つ者が少し多い（女子：36.9%、男子：40.3%）。

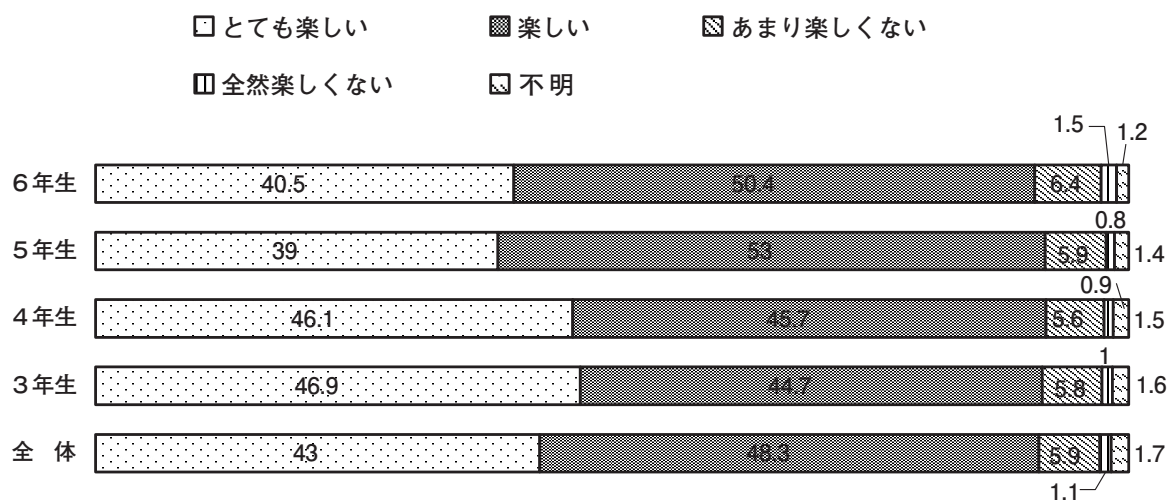
学校に行きたくないと思うことがありますか

□ よくある ■ ときどきある ▨ あまりない
 ▩ 全然ない □ 不明



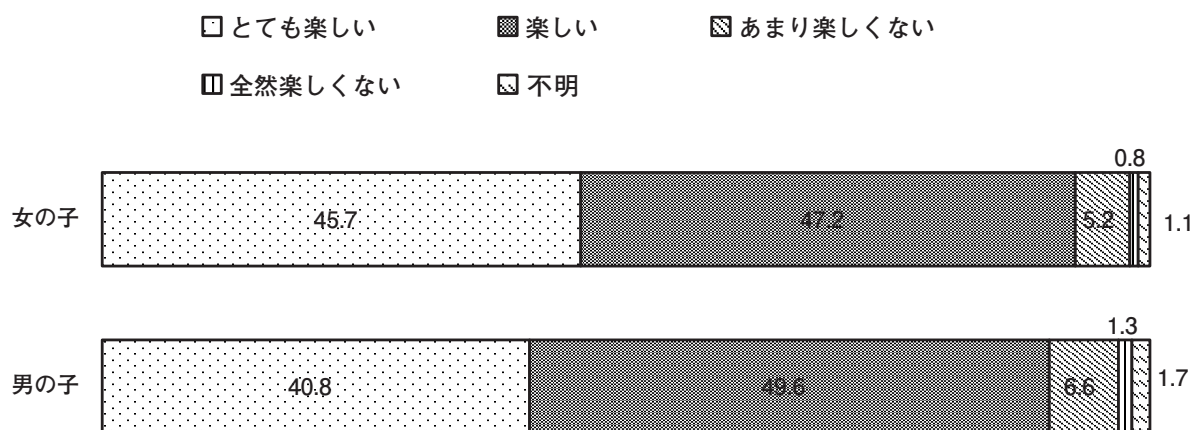
(34) 毎日が楽しいですか

毎日が楽しいですか

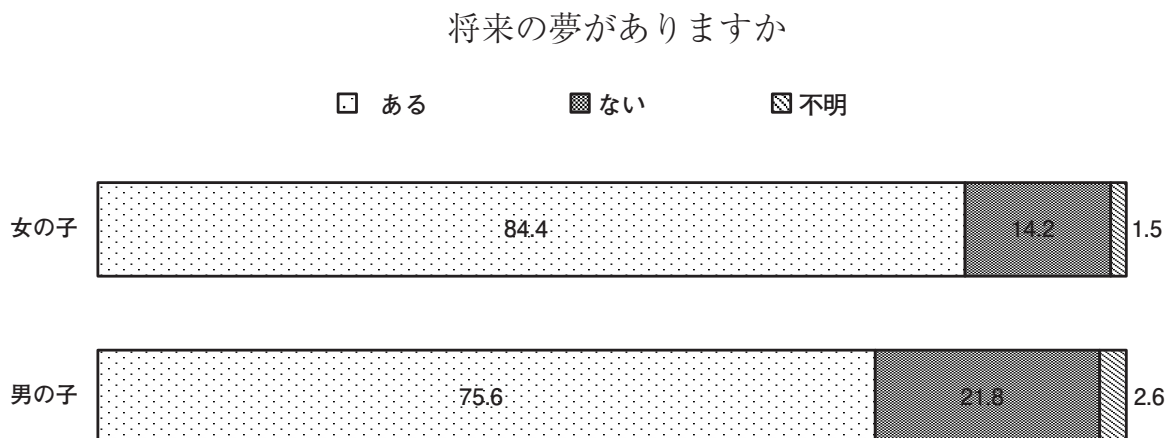
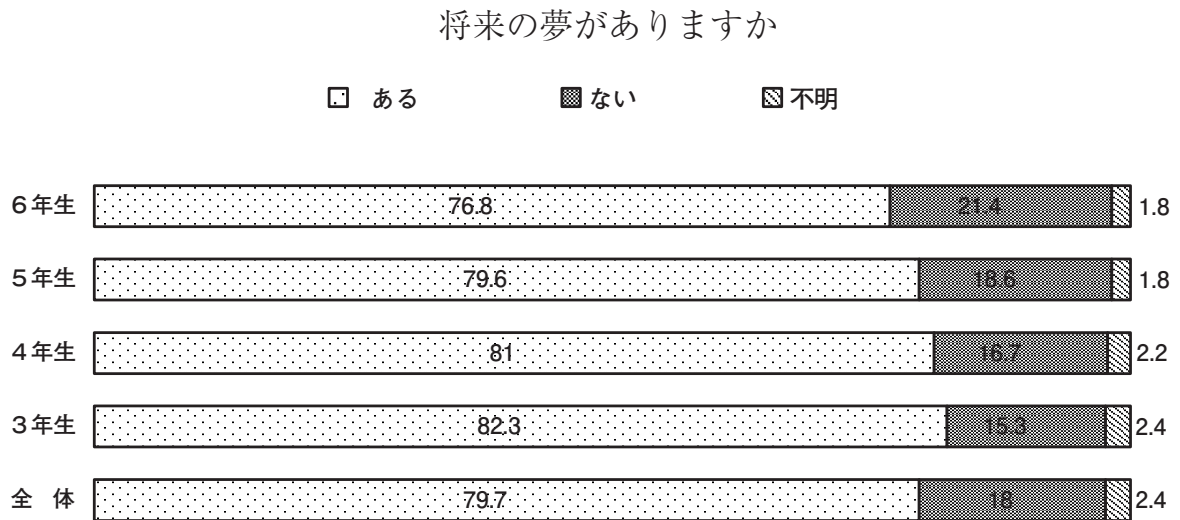


(34) 全体で、とても楽しいが43%、楽しいが48.3%で91.3%が楽しいと回答しており、あまり楽しくないが5.9%、楽しくないが1.1%で合計7%である。学年間でも大きなずれもなく、男女別では、とても楽しいと回答しているのがわずかに女子に多く、あまり楽しくない、楽しくないと回答しているのは男子が7.9%、女子が6%と回答している。

毎日が楽しいですか



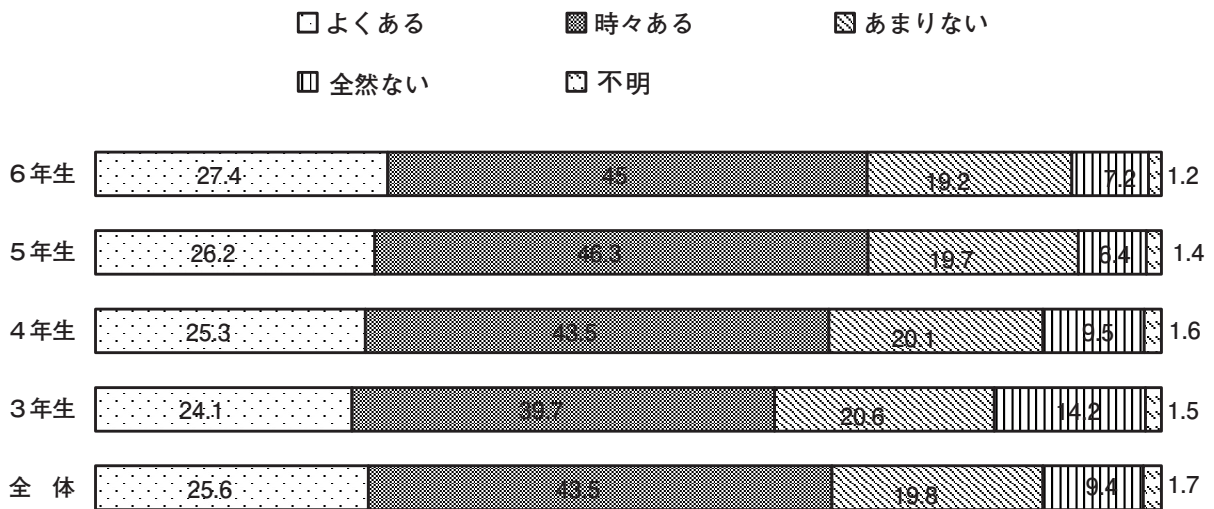
(35) 将来の夢がありますか



(35) 全体で、夢があると回答しているのは79.7%。夢はないが18%、不明が2.4%の回答で、男女別では女子が84.4%、男子75.6%、夢はないは男子で21.8%、女子14.2%の回答で、女子の方が夢があると回答している者が多い。

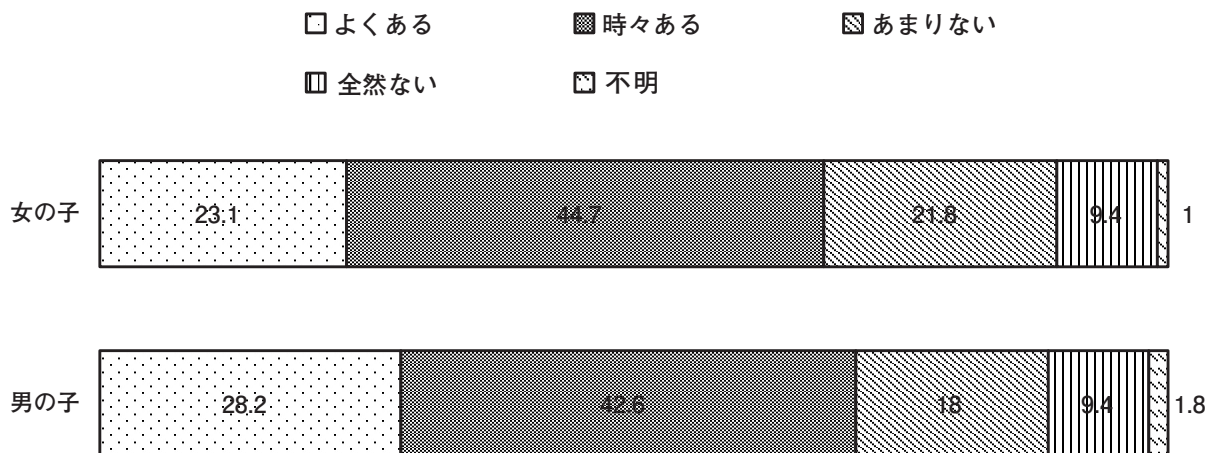
(36) 疲れていると感じること

疲れていると感じること



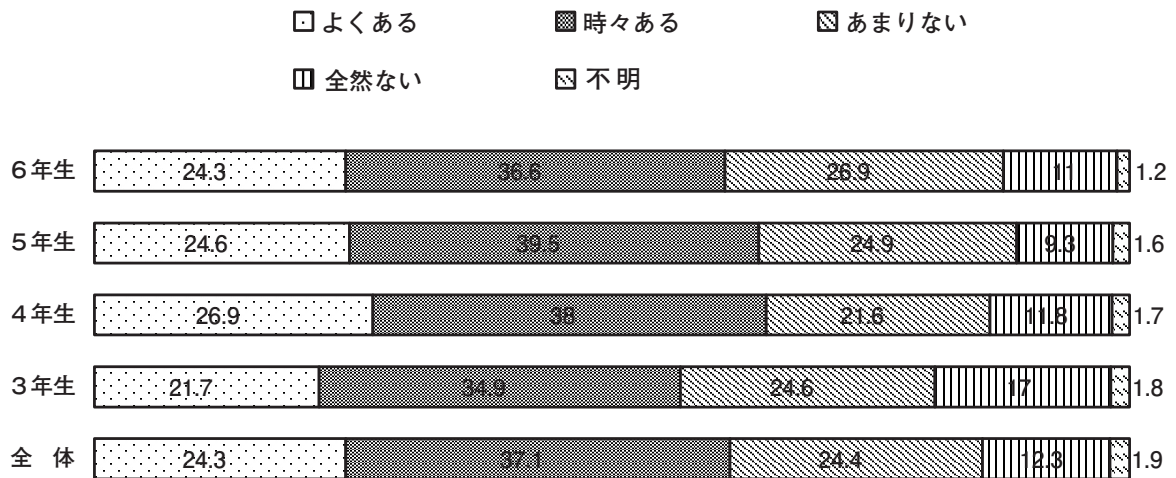
(36) 学年別で「疲れていると感じること」については、学年が上がるほど「よくある」と「時々ある」の割合が高くなる傾向がみられ、男の子と女の子ではやや男の子の方が疲れていると感じる者が多い結果となっている。全体的には、69.1%の児童が疲れていると感じていることがわかった。

疲れていると感じること



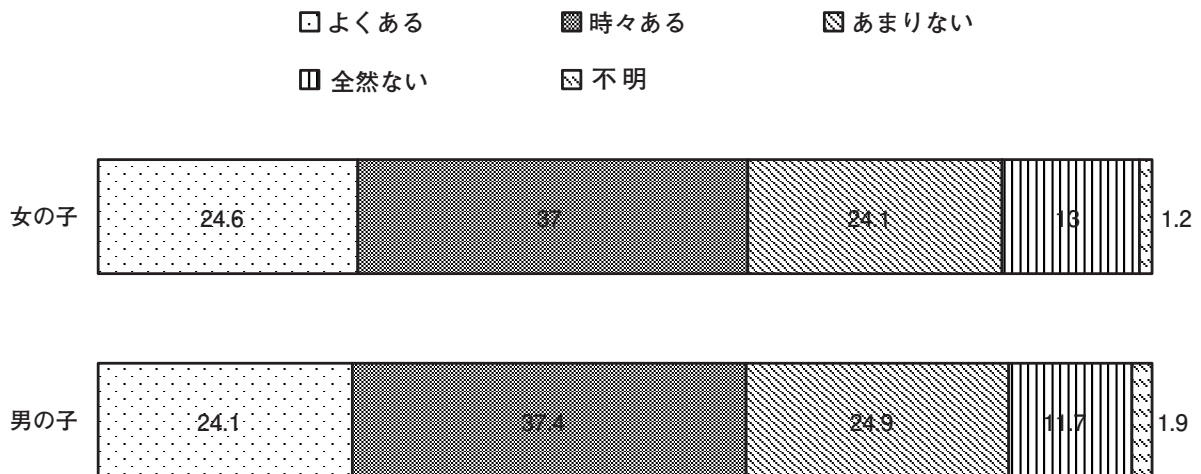
(37) イライラすること

イライラすること

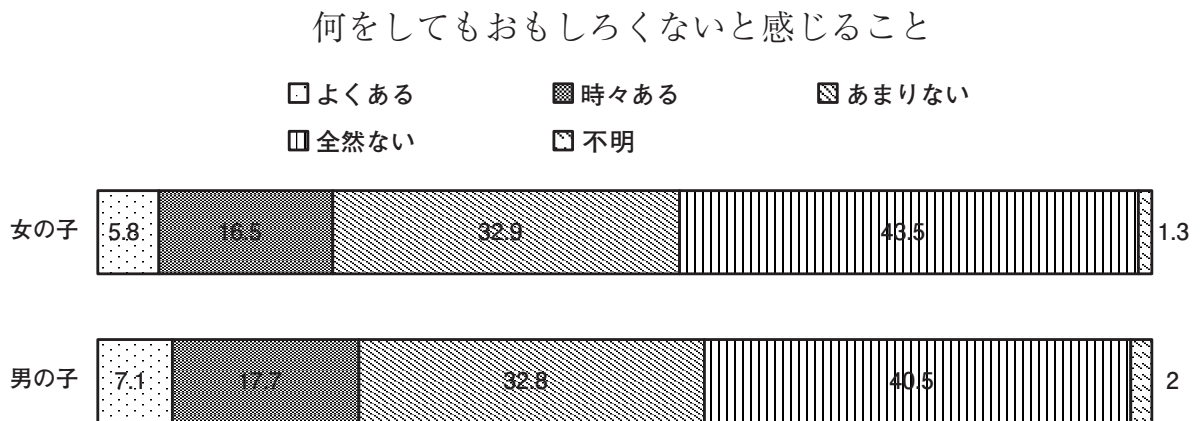
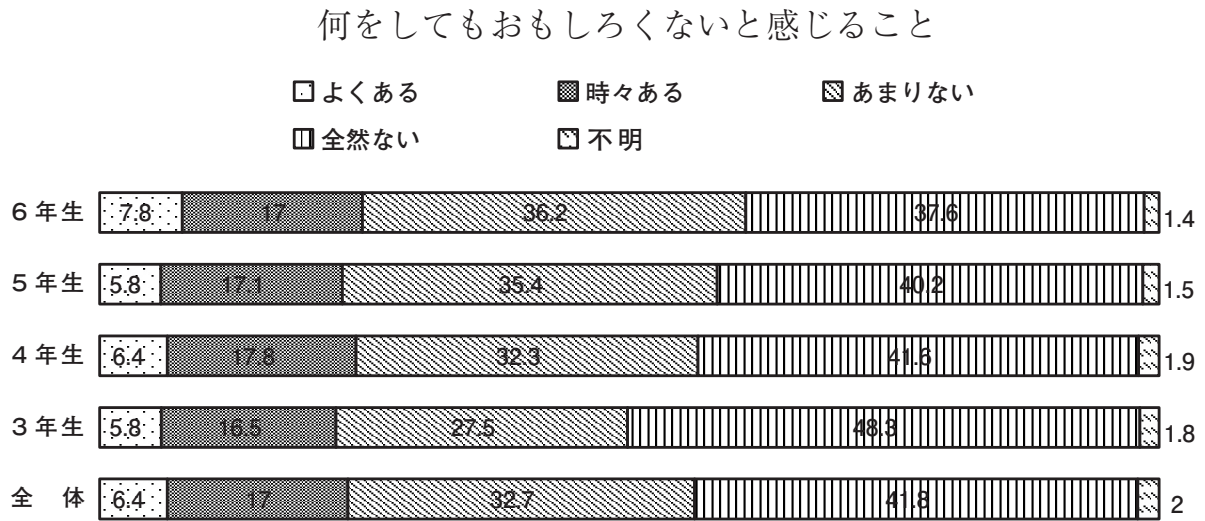


(37) 「イライラすること」については、61.4%の児童がイライラすることがあると答えている。学年別では、3年生が最も少なく56.6%であり、4年生から6年生においては4年生が一番多い64.9%で、学年が上がるにつれ少しずつ減少し、6年生では60.9%となっている。男の子と女の子の差はほとんど見られなかった。

イライラすること



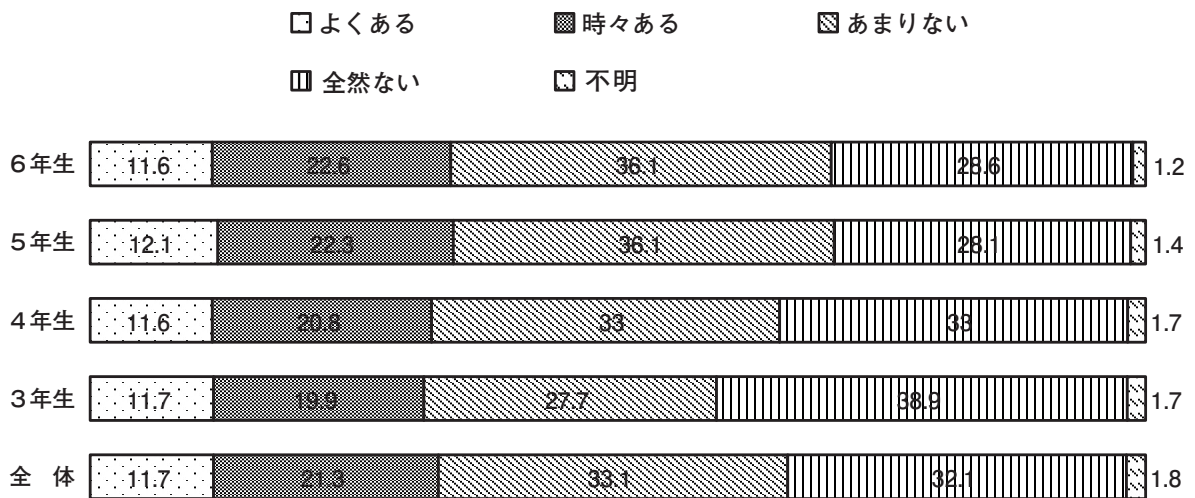
(38) 何をしてもおもしろくないと感じること



(38) 全体の23.4%が「何をしてもおもしろくないと感じること」があると答えている。学年別では学年が上がるほど、その割合は高くなっており、6年生では24.8%となっている。男の子と女の子では、男の子が24.8%、女の子が22.3%とやや男の子の方が多い結果となっている。

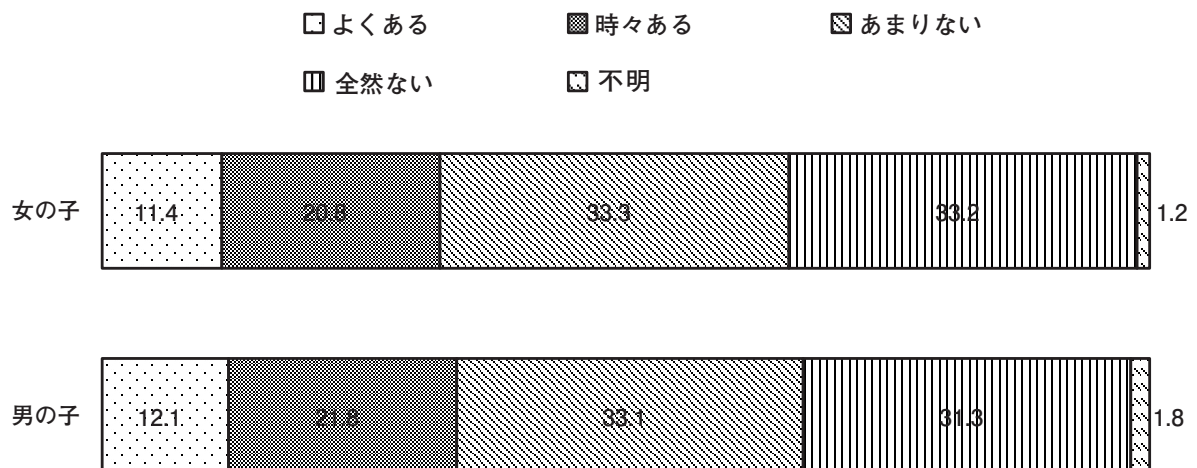
(39) ちょっとしたこと、腹がたつこと

ちょっとしたこと、腹が立つこと



(39) 全体の33%が「ちょっとしたこと、腹が立つこと」があるとしている。学年が上がるほど幾分その傾向が強くなっており、5年生34.4%、6年生34.2%とそれぞれ34%を超えている。男女別では、男の子が33.9%、女の子が32.3%でやや男の子の方が高い傾向となっている。

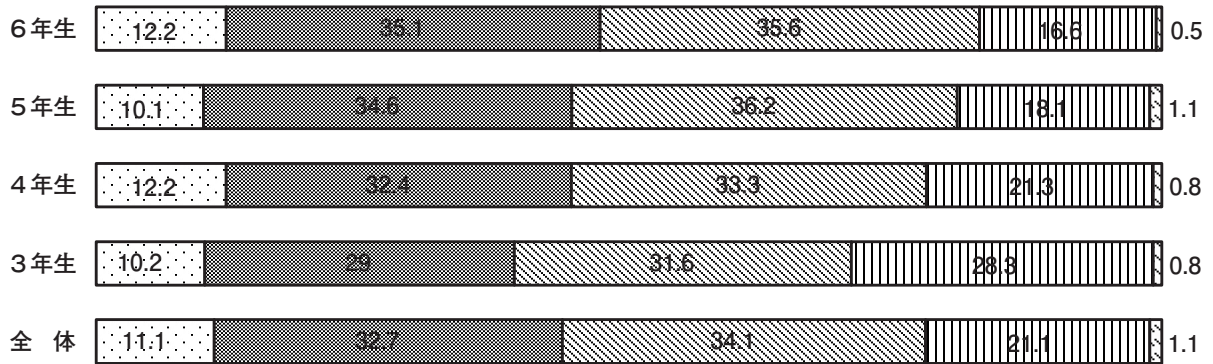
ちょっとしたこと、腹が立つこと



(40) あきっぽく、途中でやめたくなること

あきっぽく、途中でやめたくなること

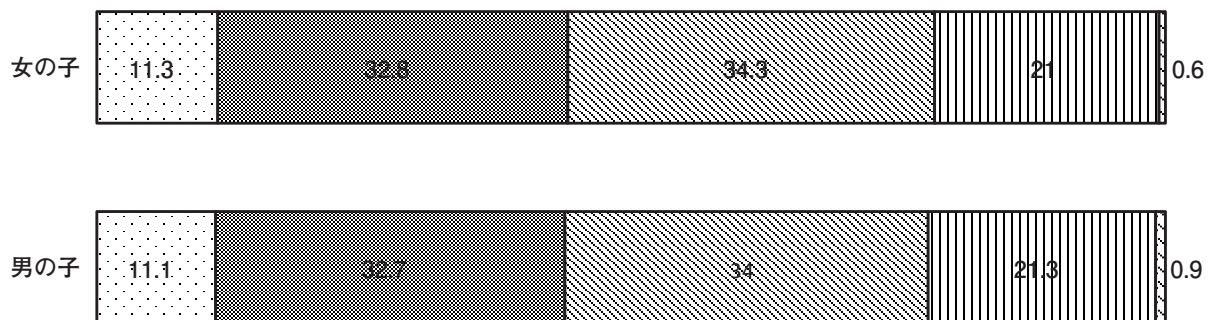
よくある 時々ある あまりない
 全然ない 不明



(40) 全体では、43.8%が「あきっぽく、途中でやめたくなること」があると答えている。学年別では高学年になるほどその割合は高くなっており、6年生では47.3%となっている。男女別では、男の子43.8%、女の子44.1%とやや女の子の方が高い傾向を示している。

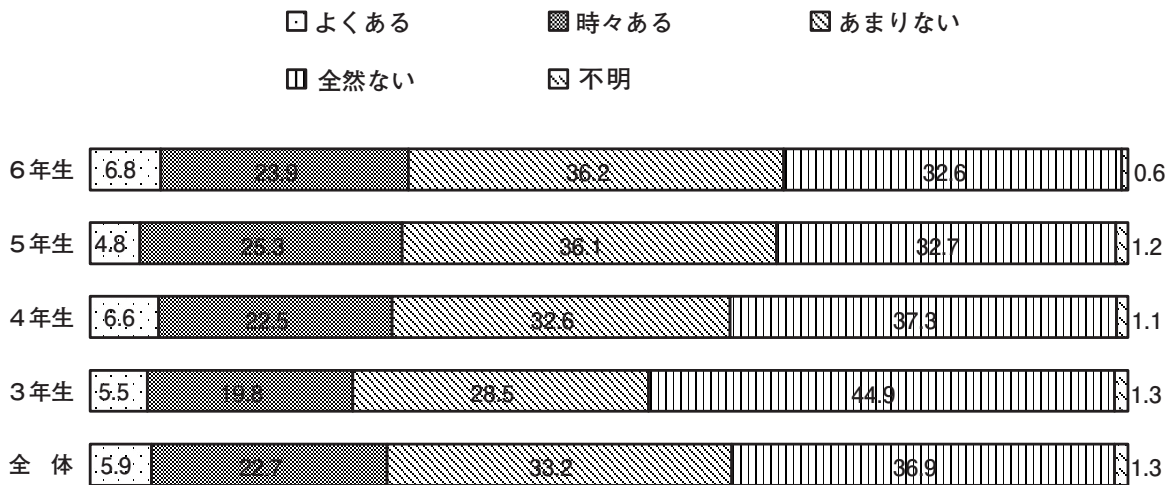
あきっぽく、途中でやめたくなること

よくある 時々ある あまりない
 全然ない 不明



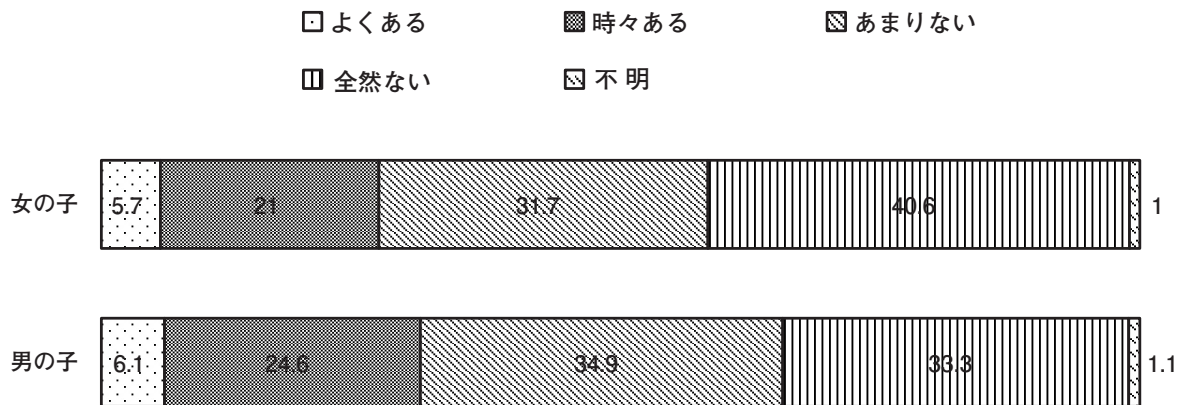
(41) 人をたたいたり、乱暴なことをしてしまうこと

人をたたいたり、乱暴なことをしてしまうこと



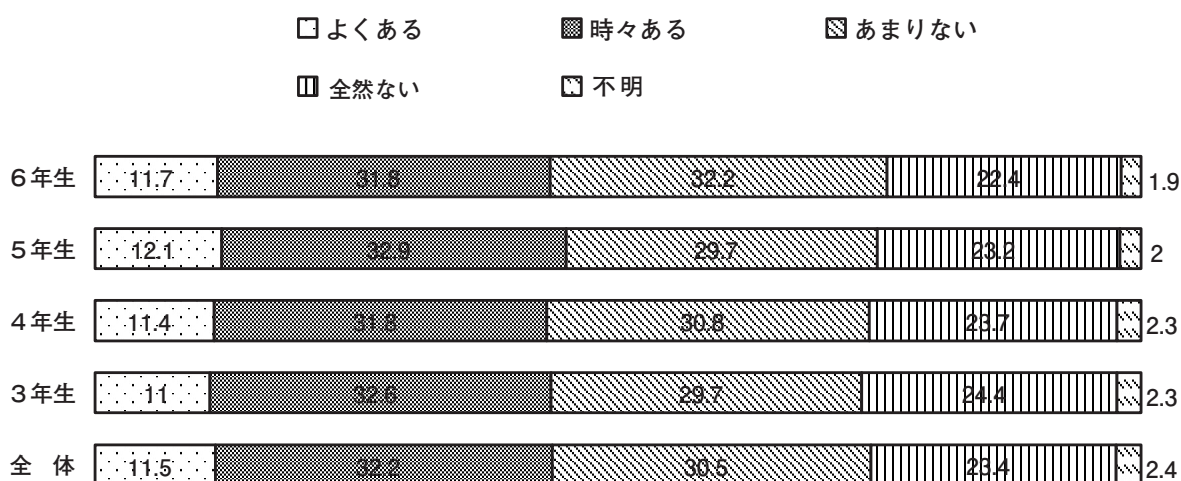
(41) 全体的には28.6%の子どもが「人をたたいたり、乱暴なことをしてしまうこと」があると答えている。学年別で見ると学年が上がるほどその割合が高くなっており、6年生では30.7%になっている。男女別で見ると、男の子が30.7%、女の子が26.7%であり、男の子の方が高くなっている。

人をたたいたり、乱暴なことをしてしまうこと



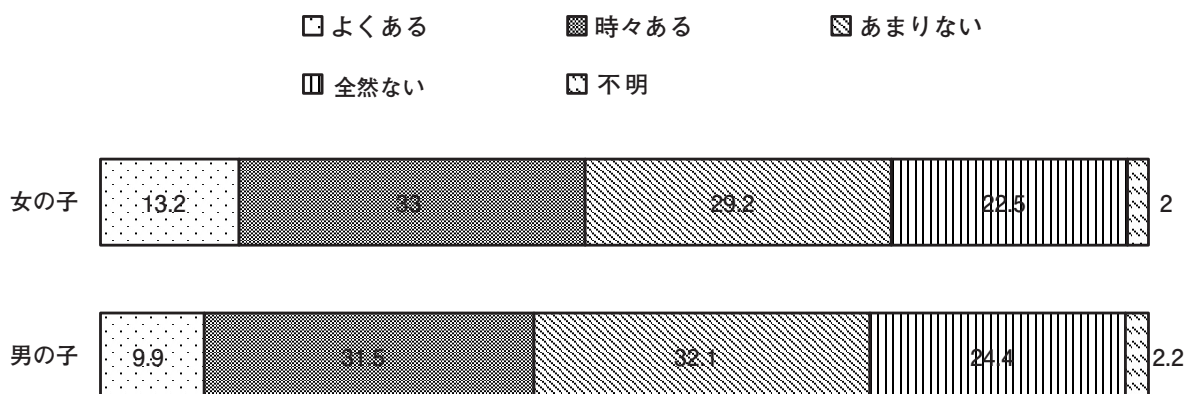
(42) お腹や頭がいたくなったり、気分が悪くなったりすること

お腹や頭がいたくなったり気分がわるくなったりすること



(42) 全体的には 43.7%であり、学年別でも 43.2%～45%の間であまり大きな差は見られない。しかし、男女別で見ると、男の子 41.4%、女の子 46.2%と女の子の方が高くなっている。

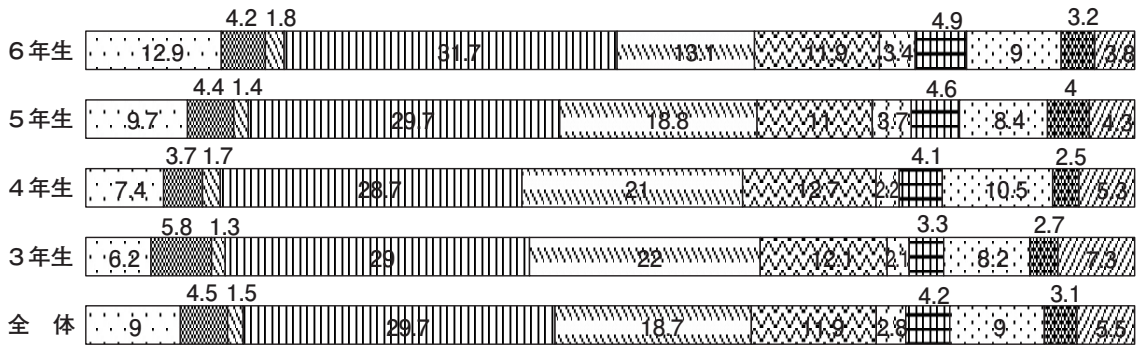
お腹や頭がいたくなったり気分がわるくなったりすること



(43) 今一番ほしい時間

今、一番ほしい時間

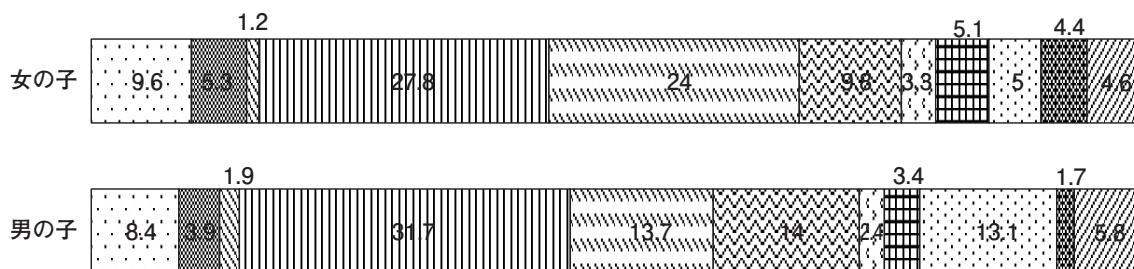
- ねる
- ☒ 勉強をする
- ☒ 食べる
- 遊ぶ
- 家族と過ごす
- ☒ 運動をする
- ☒ なにもしないで「ぼんやり」する
- ☒ テレビ・ビデオをみる
- 携帯ゲームなどで遊ぶ
- ☒ その他
- ☒ 不明



(43) 子どもたちが「今、一番ほしい時間」は「遊ぶ」時間で、全体の29.7%であった。学年別に見てもそれぞれ「遊ぶ」時間が最も多く、6年生では31.7%と全学年の中で「遊ぶ」時間について一番多い割合を示している。また、「ねる」時間については全体的に9%であったが、学年別に見ると学年が上がるほど「ねる」時間がほしいとする割合が高く、6年生では12.9%となっていた。「家族と過ごす」時間と答えている割合も「遊ぶ」に次いで高く、どの学年においても20%前後の割合を示していた。男女別では、男の子に「遊ぶ」が最も多く31.7%であり、女の子においては27.8%であり、「家族と過ごす」については男の子が13.7%に対して、女の子は24%と高くなっていた。「携帯ゲームなどで遊ぶ」については、全体の9%であり、女の子5%に対して、男の子は13.1%とやや高い傾向が見られた。

今、一番ほしい時間

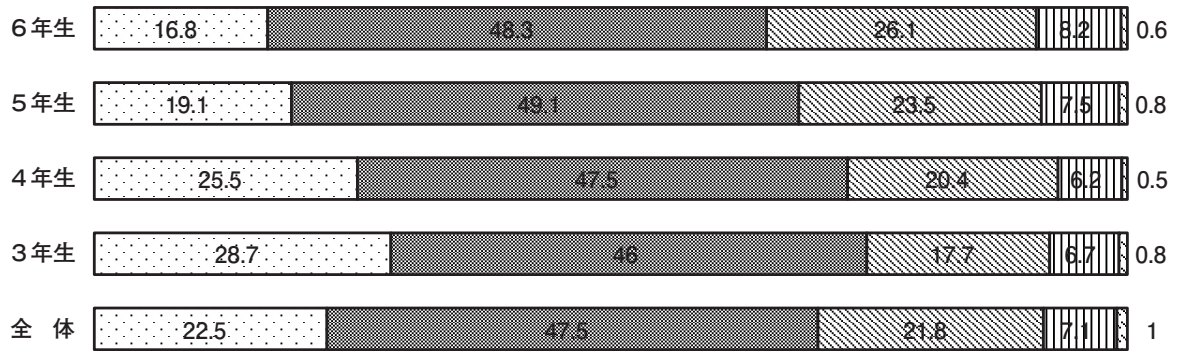
- ねる
- ☒ 勉強をする
- ☒ 食べる
- 遊ぶ
- 家族と過ごす
- ☒ 運動をする
- ☒ なにもしないで「ぼんやり」する
- ☒ テレビ・ビデオをみる
- 携帯ゲームなどで遊ぶ
- ☒ その他
- ☒ 不明



(44) 今の自分を気に入っていますか

今の自分を気に入っていますか

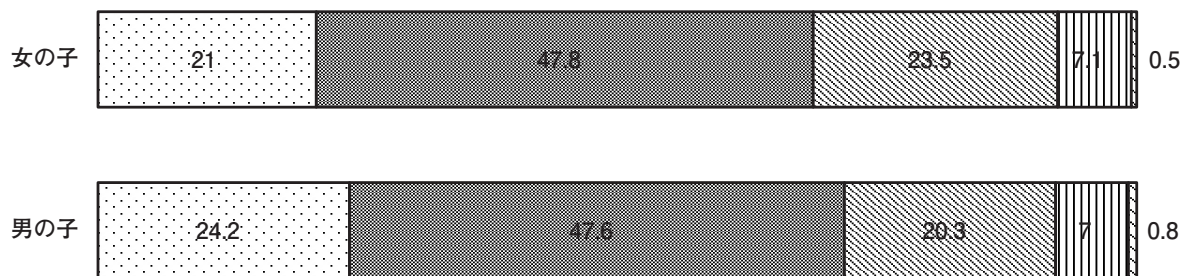
とても思う 思う 思わない
 全然思わない 不明



(44) 「今の自分を気に入っていますか」については全体の70%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別に見ると、学年が上がるに従ってその割合は低下の傾向を示し、6年生では65.1%となっている。男女別では、男の子71.8%、女の子68.8%でやや男の子の方が高い結果となっている。

今の自分を気に入っていますか

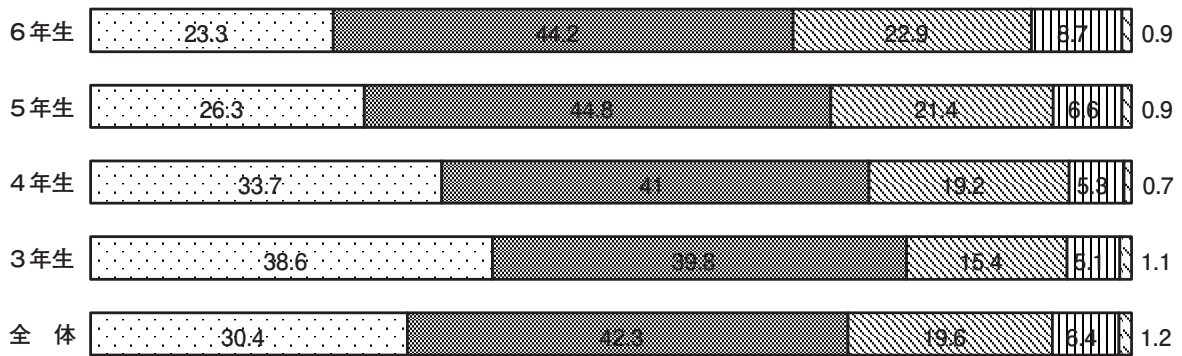
とても思う 思う 思わない
 全然思わない 不明



(45) 自分は得意なところを持った人間だと思いますか

自分は得意なところを持った人間だと思いますか？

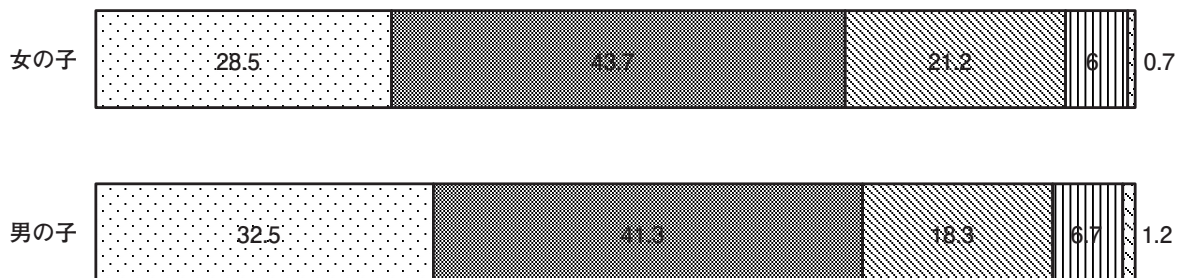
とても思う 思う 思わない
 全然思わない 不明



(45) 「自分は得意なところを持った人間だと思いますか？」については全体の72.7%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別では、学年が上がるほどその割合は低下してくる傾向が見られ、6年生では64.5%であった。男女別では男の子73.8%、女の子72.2%とやや男の子の方が高い傾向を示している。

自分は得意なところを持った人間だと思いますか？

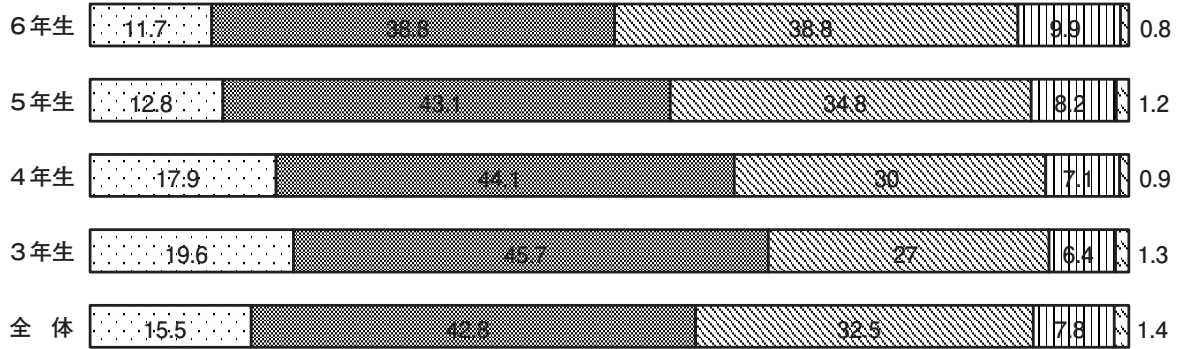
とても思う 思う 思わない
 全然思わない 不明



(46) 自分には良いところがたくさんあると思いますか

自分には良いところがたくさんあると思いますか

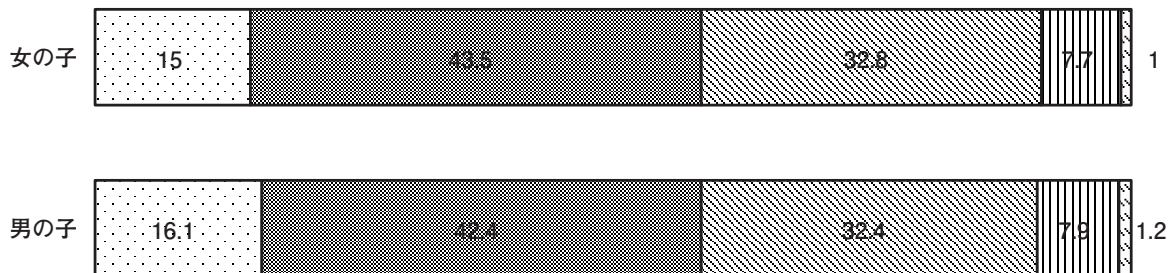
□ とても思う ■ 思う ▨ 思わない
 □ 全然思わない ▩ 不明



(46) 「自分には良いところがたくさんあると思いますか」については全体の 58.3%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別では、学年が上がるほどその割合は低下する傾向が見られ、6年生では 50.5%であった。男女別では、共に 58.5%であり、差は見られなかった。

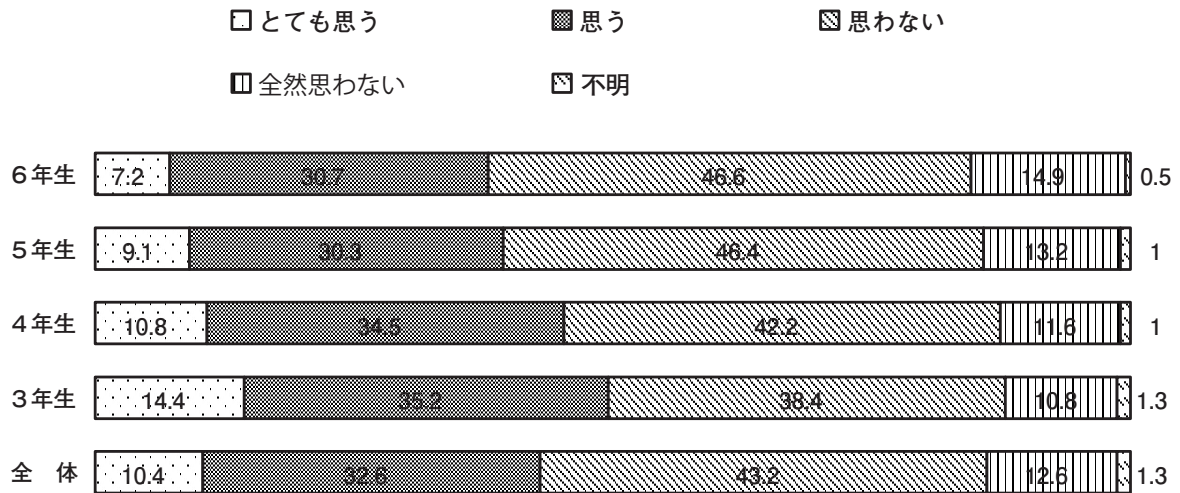
自分には良いところがたくさんあると思いますか

□ とても思う ■ 思う ▨ 思わない
 □ 全然思わない ▩ 不明



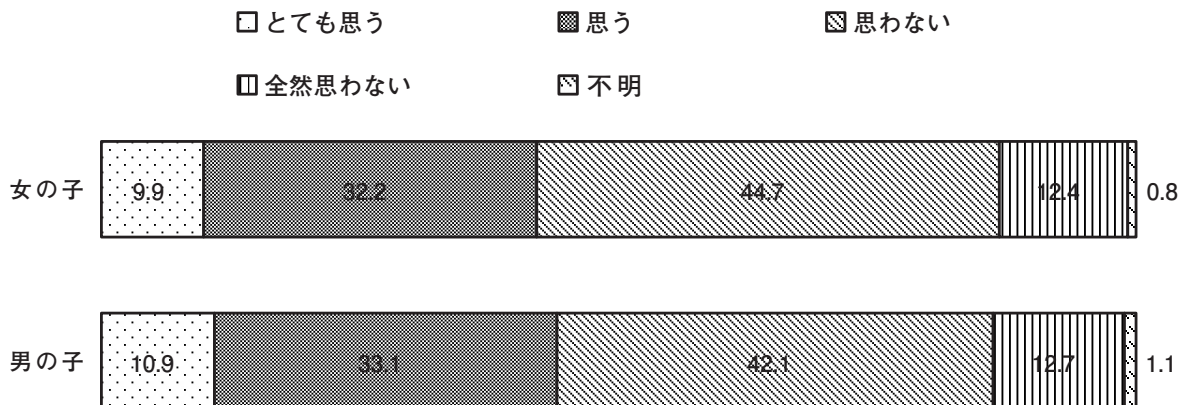
(47) 他の人と同じように何でもうまくできるほうだと思いますか

他の人と同じように何でもうまくできるほうだと思いますか



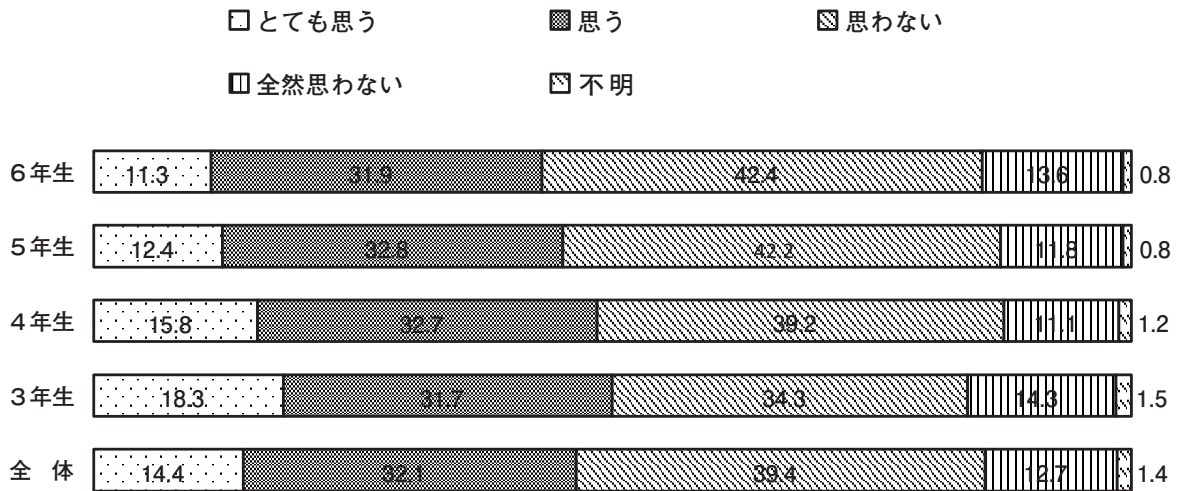
(47) 「他の人と同じように何でもうまくできるほうだと思いますか」については全体の43%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別に見ると、学年が上がるに従ってその割合は低下の傾向を示し、6年生では37.9%となっている。男女別では、男子44.0%、女子42.1%でわずかであるが男子の方が高い結果となっている。

他の人と同じように何でもうまくできるほうだと思いますか



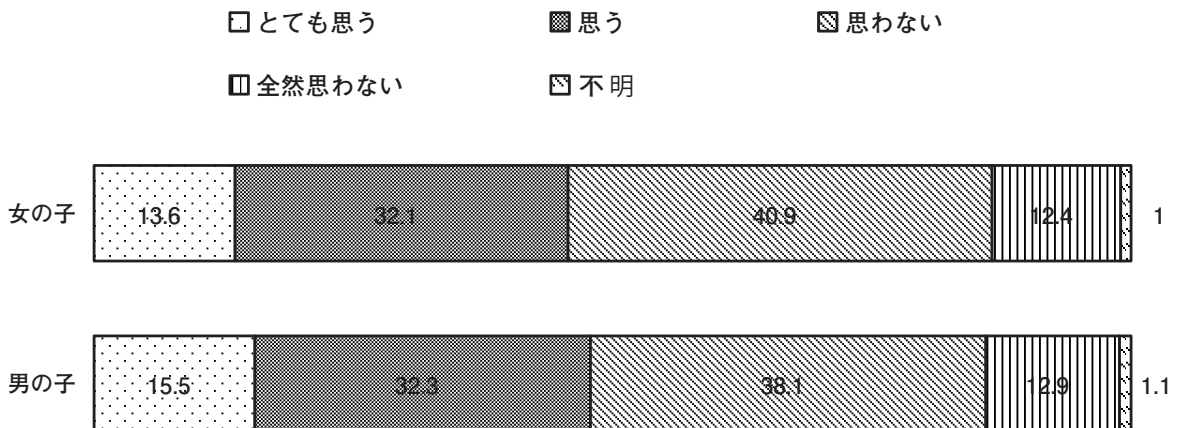
(48) 自分には自慢できるところがたくさんあると思いますか

自分には自慢できるところがたくさんあると思いますか



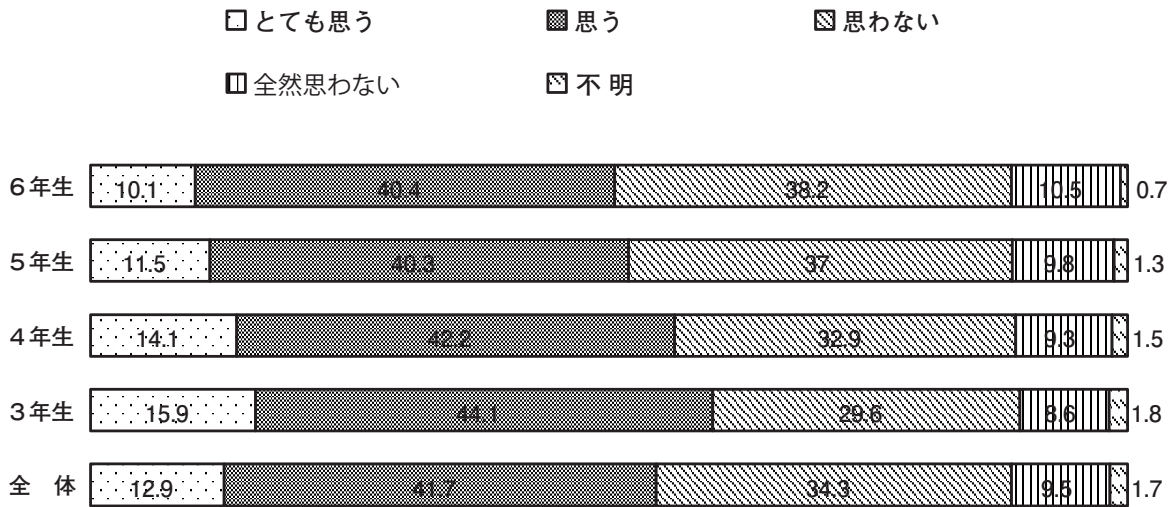
(48) 「自分には自慢できるところがたくさんあると思いますか」については全体の46.5%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別では、学年が上がるほどその割合は低下してくる傾向が見られ、6年生では43.2%であった。男女別では男の子47.8%、女の子45.7%とやや男の子の方が高い傾向を示している。

自分には自慢できるところがたくさんあると思いますか



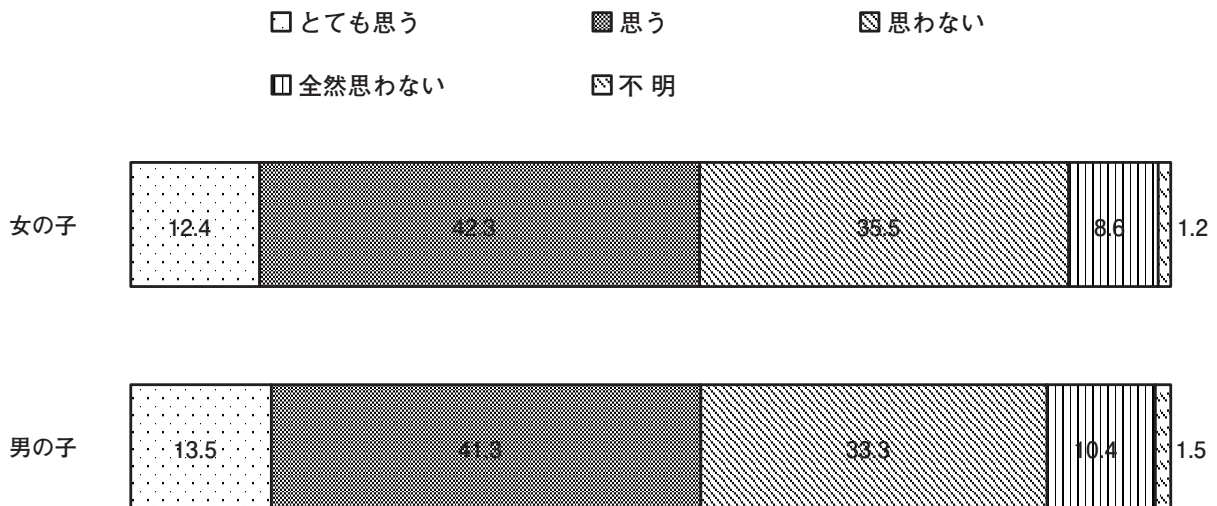
(49) 自分は役に立つ人間だと思いますか

自分は役に立つ人間だとおもいますか



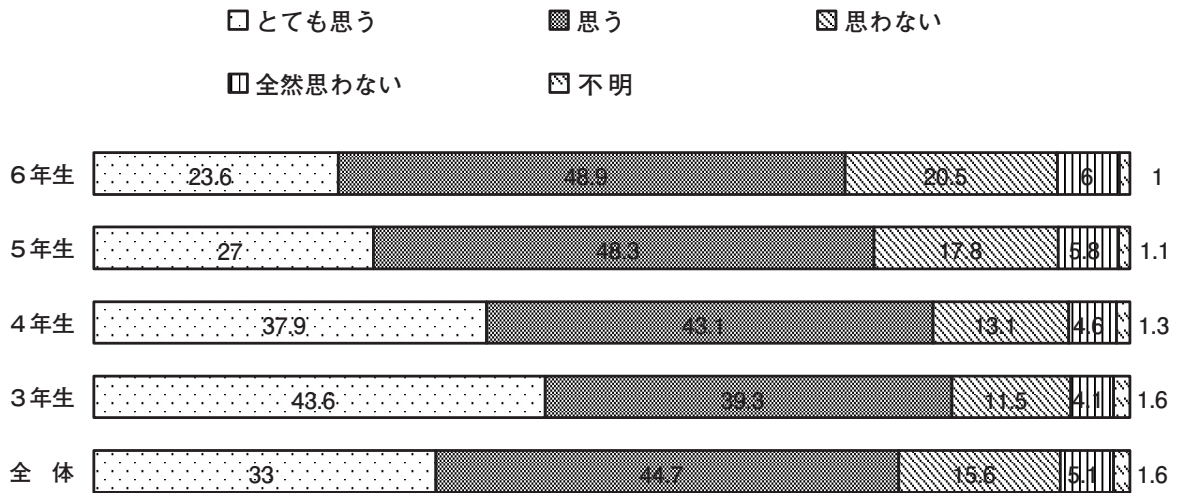
(49) 「自分は役に立つ人間だと思いますか」については全体の54.6%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別では、学年が上がるほどその割合は低下してくる傾向が見られ、6年生では50.5%であった。男の子は54.8%、女の子では54.7%であり差は見られなかった。

自分は役に立つ人間だとおもいますか



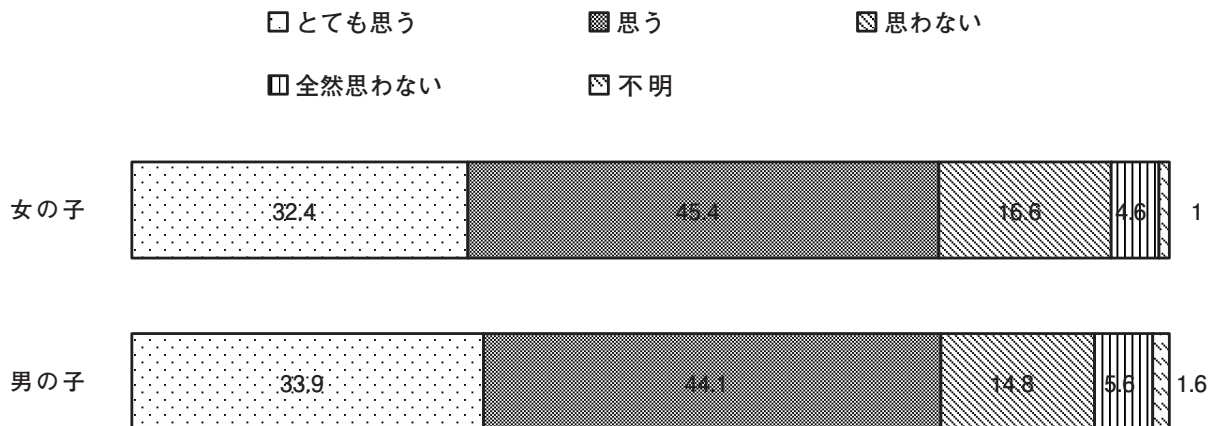
(50) 他の人と同じように、自分も大切な人であると思いますか

他の人と同じように自分も大切な人であると思いますか



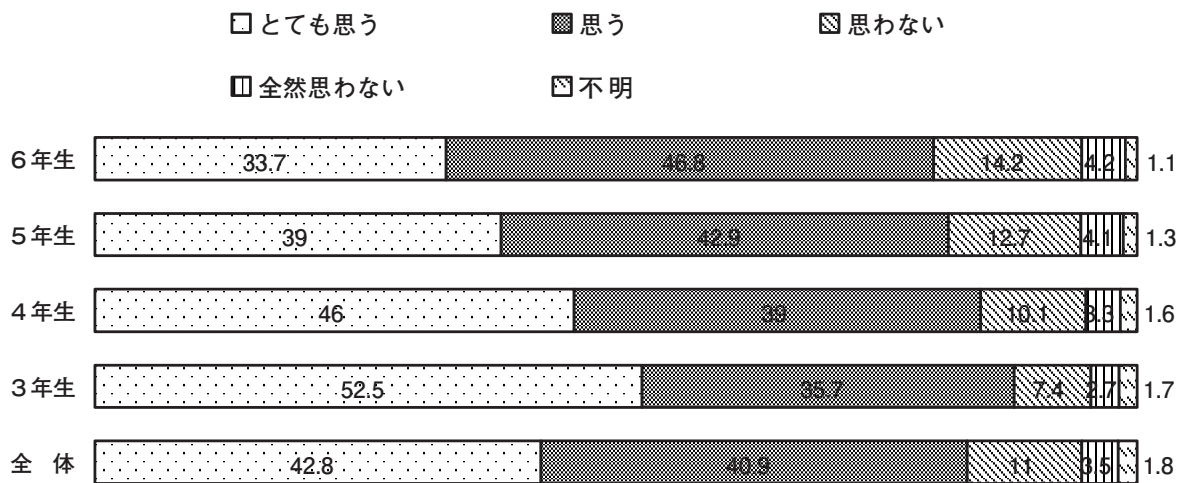
(50) 「他の人と同じように、自分も大切な人であると思いますか」については全体の77.7%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別に見ると、学年が上がるに従ってその割合は低下の傾向を示し、6年生では72.5%となっている。男女別では、男子78.0%、女子77.9%で差はなかった。

他の人と同じように自分も大切な人であると思いますか



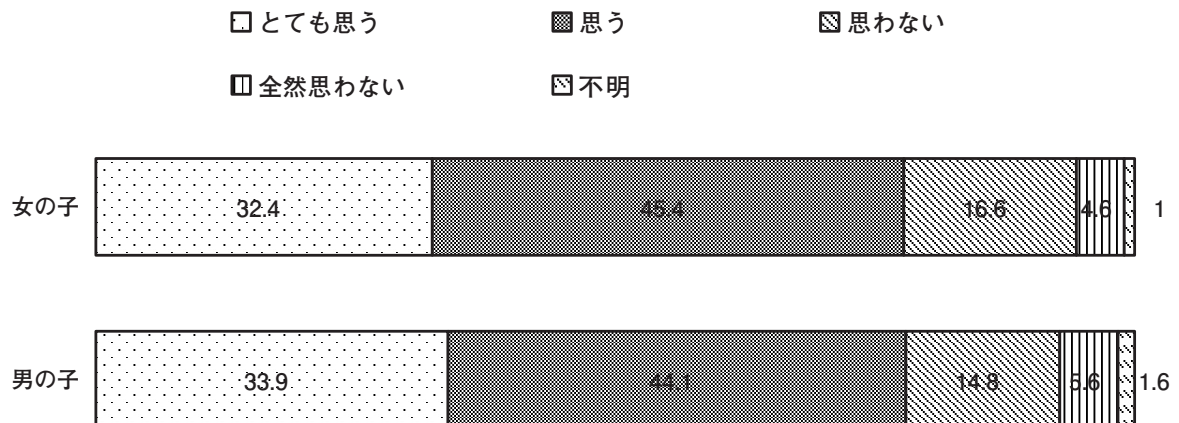
(51) 自分をもっと大事にできるようになりたいと思いますか

自分をもっと大事にできるようになりたいと思いますか



(51) 「自分をもっと大事にできるようになりたいと思いますか」については全体の83.7%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別では、学年が上がるほどその割合は低下してくる傾向が見られ、6年生では80.5%であった。男女別では男の子82.8%、女の子85.1%とやや女の子の方が高い傾向を示している。

自分をもっと大事にできるようになりたいと思いますか



(52) いつも失敗するのではないかと不安に思いますか

いつも失敗するのではないかと不安に思いますか

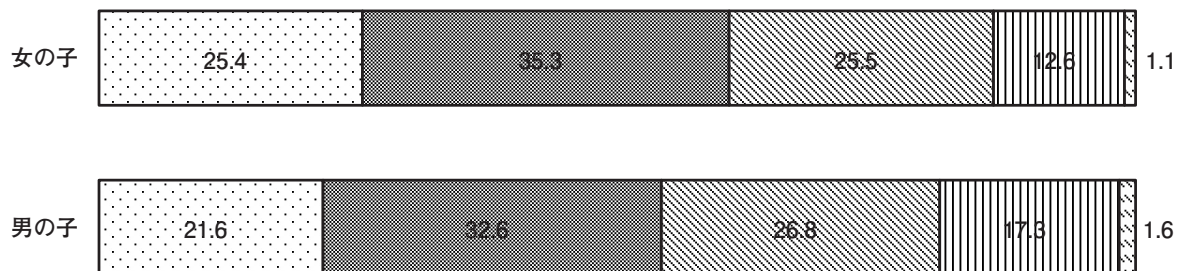
□ とても思う ■ 思う ▨ 思わない
 □ 全然思わない ▩ 不明



(52) 「いつも失敗するのではないかと不安に思いますか」については全体の57.3%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別では、4年生が最も高く58.9%であった。男女別では、男の子は54.2%、女の子では60.7%であり女の子の方が高かった。

いつも失敗するのではないかと不安に思いますか

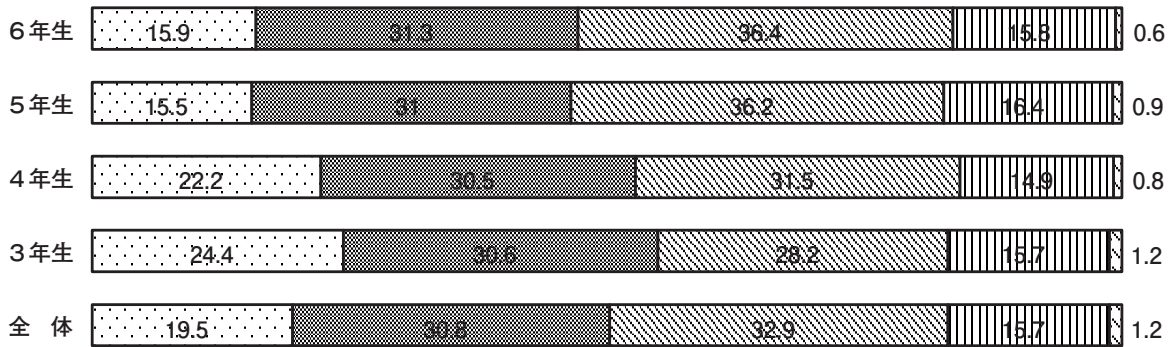
□ とても思う ■ 思う ▨ 思わない
 □ 全然思わない ▩ 不明



(53) 自分を「今のままでよい」と感じていますか

自分を「今のままでよい」と感じていますか

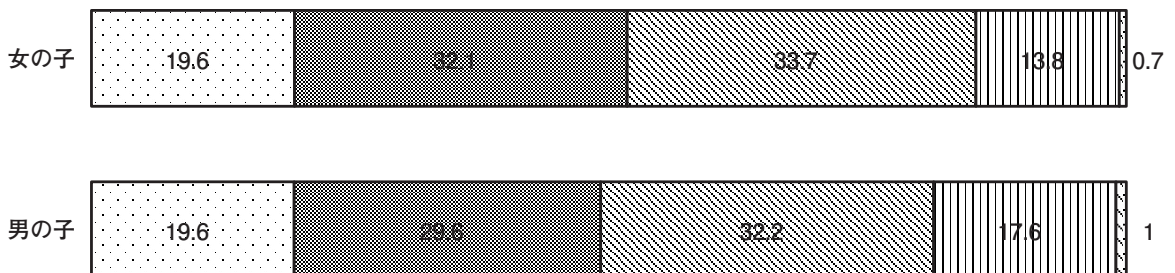
□ とても思う ■ 思う ▨ 思わない
 □ 全然思わない ▩ 不明



(53) 「自分を「今のままでよい」と感じていますか」については全体の50.3%が「とても思う」「思う」と答えている。学年別では、学年が上がるほどその割合は低下する傾向が見られ、5年生(46.5%)、6年生(47.2%)とほぼ同じであった。男女別では男の子49.2%、女の子51.7%とやや女の子の方が高い傾向を示している。

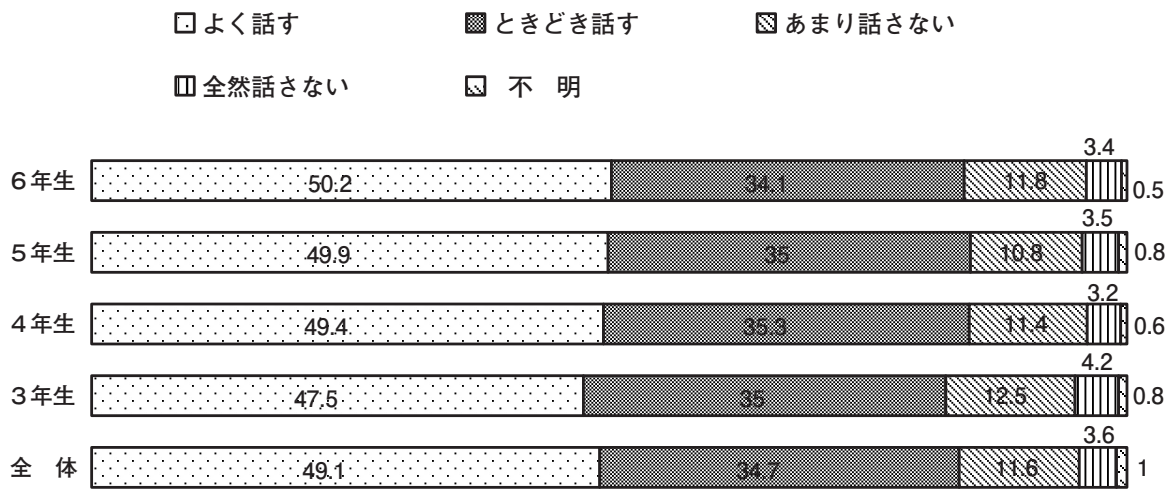
自分を「今のままでよい」と感じていますか

□ とても思う ■ 思う ▨ 思わない
 □ 全然思わない ▩ 不明



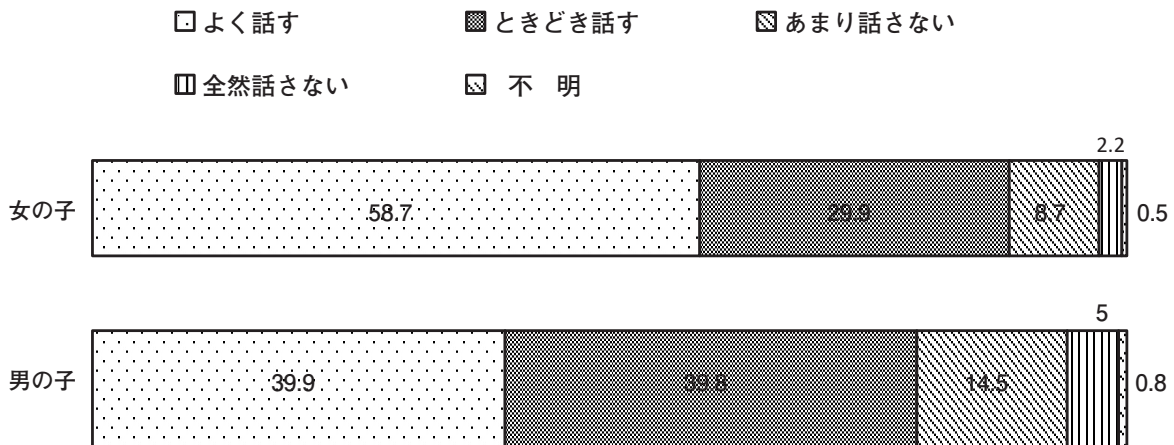
(54) あなたは家族と学校でのできごとなどを話しますか

あなたは家族と学校でのできごとなどを話しますか



(54) 「あなたは家族と学校でのできごとなどを話しますか」については全体の83.8%が「よく話す」「時々話す」と答えている。学年別では、学年間の差はあまりなかった。男女別では男の子79.7%、女の子88.6%と女の子の方が高い傾向を示している。

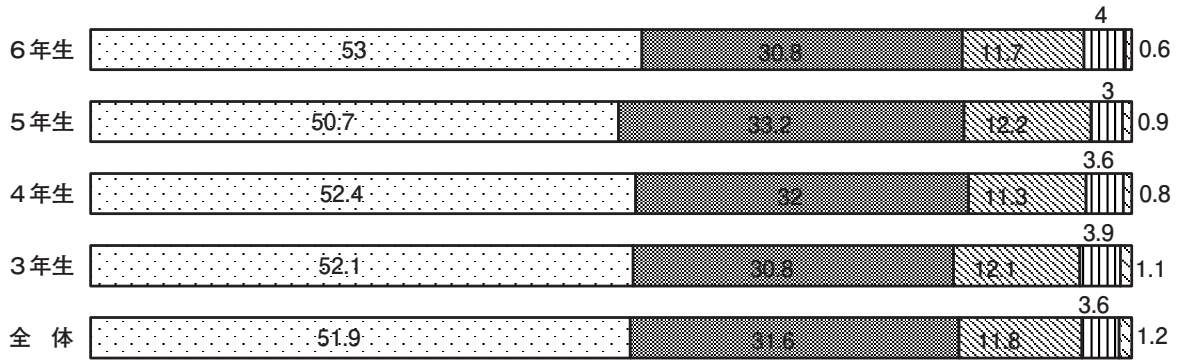
あなたは家族と学校でのできごとなどを話しますか



(55) 家族はあなたの話をしんけんに聞いてくれていると感じますか

家族はあなたの話をしんけんに聞いてくれていると感じますか

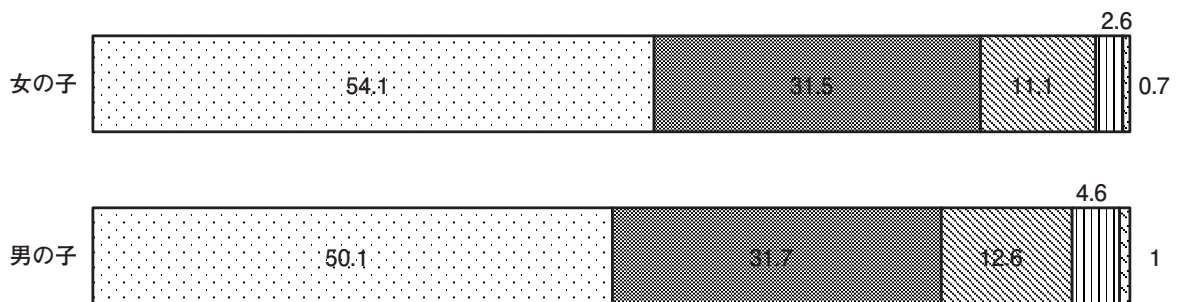
よく感じる ときどき感じる あまり感じない
 全然感じない 不明



(55) 「家族はあなたの話をしんけんに聞いてくれていると感じますか」については全体の83.5%が「よく感じる」「ときどき感じる」と答えている。学年別では、学年間の差はあまりなかった。男女別では男の子81.8%、女の子85.6%と女の子の方が高い傾向を示している。

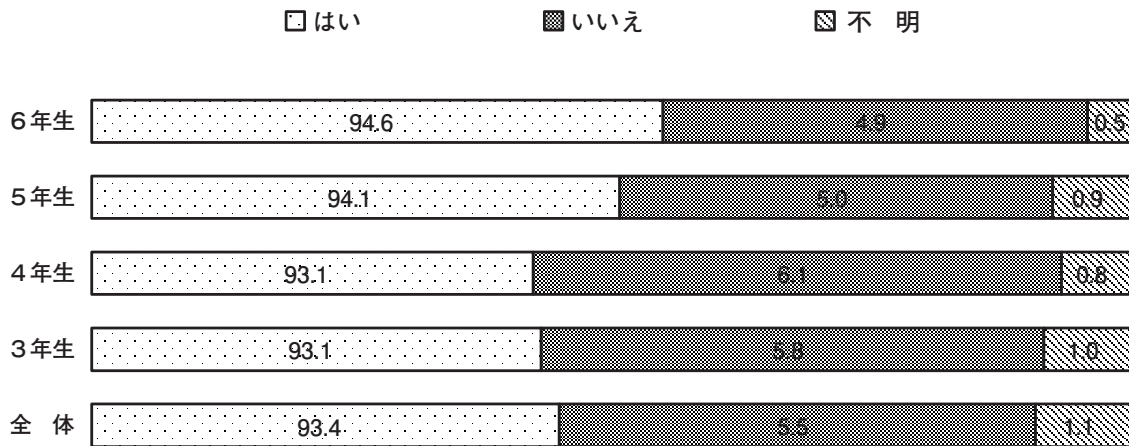
家族はあなたの話をしんけんに聞いてくれていると感じますか

よく感じる ときどき感じる あまり感じない
 全然感じない 不明



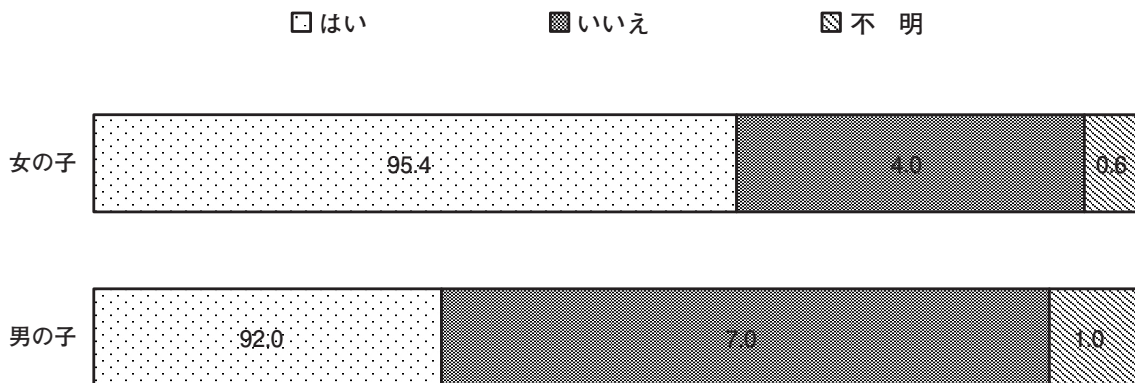
(56) あなたには、何か困った時、相談できる人がいますか

あなたは何か困った時相談できる人がいますか



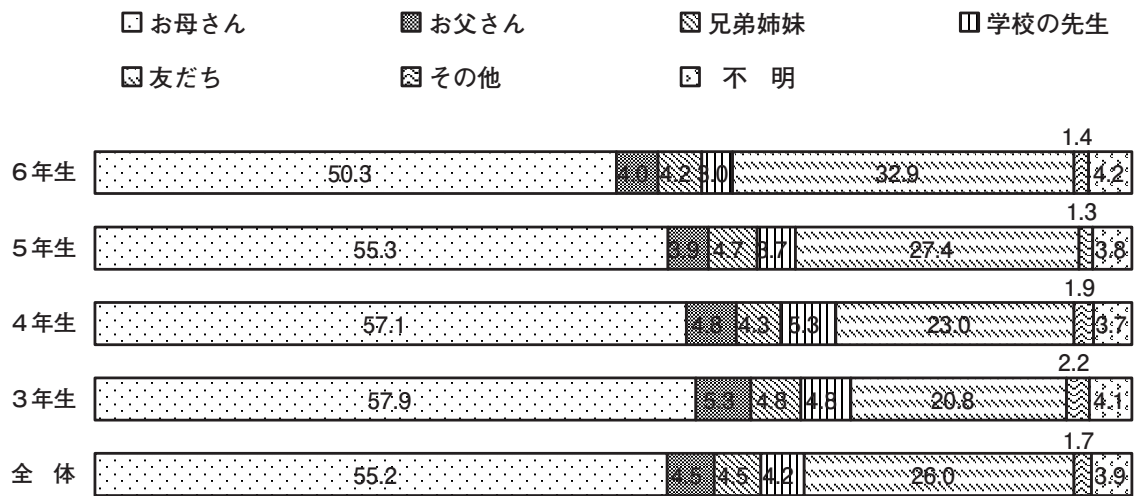
(56) 「あなたには、何か困った時、相談できる人がいますか」については全体の93.4%が「はい」と答えている。学年別では、6年生が最も高く94.6%であった。男女別では、男の子92.0%、女の子88.6と女の子の方が高い傾向を示している。

あなたは何か困った時相談できる人がいますか



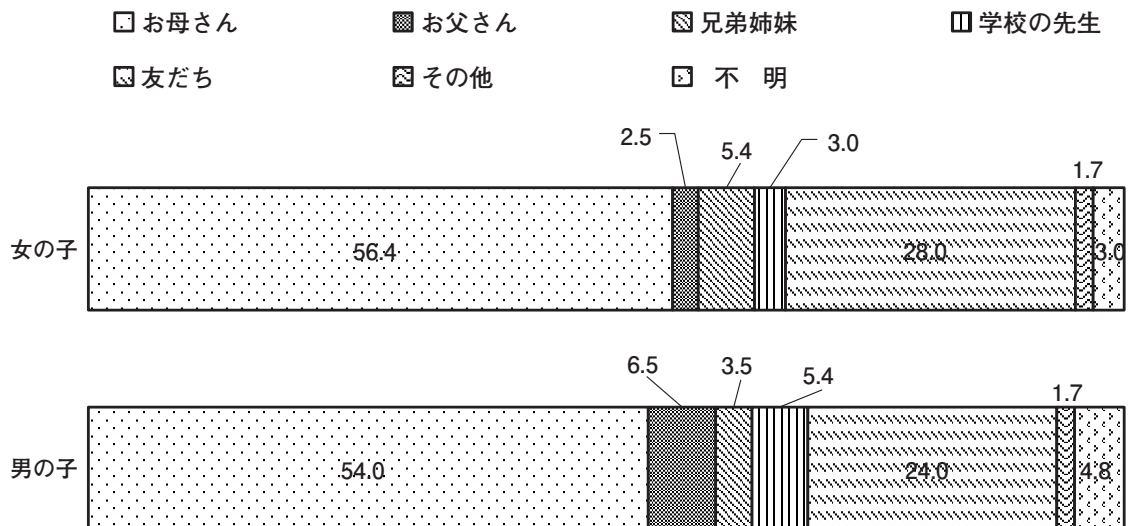
(57) 一番相談する人

一番相談する人



(57) 「一番相談する人」については全体の55.2%が「お母さん」、26.0%が「友だち」と答えている。学年別では、学年が上がるほど「お母さん」の割合は低下し、「友だち」の割合が増加する傾向が見られた。男女別では男の子（それぞれ、54.0%・24.0%）、女の子（それぞれ、56.4%・28.0%）、女の子の方が高い傾向を示している。一方、男の子は「お父さん」の割合が高かった

一番相談する人



*** 自尊感情測定**

(1) 学年

	全 体	全 体	平均 点 (点)
全 体	9274 100.0	8814 100.0	25.7
3 年生	2364 100.0	2213 25.1	26.6
4 年生	2324 100.0	2206 25.0	26.1
5 年生	2281 100.0	2191 24.9	25.3
6 年生	2265 100.0	2194 24.9	24.9
不 明	40 100.0	10 0.1	23.6

(2) 性別

	全 体	全 体	平均 点 (点)
全 体	9274 100.0	8814 100.0	25.7
男の子	4617 100.0	4378 49.7	25.9
女の子	4584 100.0	4393 49.8	25.6
不 明	73 100.0	43 0.5	24.3

自尊感情について、学年進行で低下する傾向があった。一方、男女差は見られなかった。

よくする 時々する あまりしない 全然しない

- (10) 夕ごはんをひとりで食べる。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (11) 夕ごはんを家族全員そろってから食べる。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (12) テレビやビデオを見ながらごはんを食べる。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (13) 食事を楽しいと感じる。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (14) 食事の時の挨拶「いただきます」「ごちそうさま」を言う。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (15) シュースなど甘い飲み物をのむ。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (16) ポテトチップスなどのスナック菓子を食べる。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (17) インスタントのラーメンやカップめんを食べる。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (18) 野菜を食べる。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

○ 平日（学校がある日）の放課後の過ごし方について教えてください。

よくする 時々する あまりしない 全然しない

- (19) 児童クラブも含めて、運動場や公園などで外で遊ぶ。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (20) 児童クラブも含めて、家や部屋の中で遊ぶ。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (21) 家の手伝いをする。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

○ あなたは平日、学校から帰ってきて次の事をどれくらいしますか。だいたいの時間を教えてください。

- (22) 平日の一日に家で勉強する時間（塾などで勉強する時間をのぞく）はどれくらいですか。

ほとんど
しない 15分 30分 45分 1時間 1時間30分 2時間 2時間より多い
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5 ——— 6 ——— 7 ——— 8

- (23) 一日にテレビやビデオ（DVD）を何時間くらい見ますか（テレビゲームをする時間をのぞく）。

ほとんど
みない 30分まで 1時間 1時間30分 2時間 2時間30分 3時間 3時間30分 4時間より多い
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5 ——— 6 ——— 7 ——— 8 ——— 9

- (24) 一日に携帯ゲーム（スマートフォンのゲームをふくむ）・テレビゲーム（パソコンのゲームを含む）などを、どのくらいしますか。

ほとんど
しない 30分まで 30分～1時間まで 1時間～ 1時間30分～ 2時間～
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5 ——— 6 ——— 7

- (25) 一日に携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを、どのくらいしますか。

（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間を除く）

ほとんど
もってない 15分 30分 45分 1時間 1時間30分 2時間 2時間30分 3時間より多い メールもインターネットも少ない
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5 ——— 6 ——— 7 ——— 8 ——— 9 ——— 10

(26) 携帯電話やスマートフォンを使って、SNS（フェイスブック、ツイッター、ラインなど）を、どのくらい使いますか。

SNSを
しない 15分 30分 45分 1時間 1時間30分 2時間 2時間30分 3時間より多い
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

(27) 一日にパソコン(タブレットを含む)をどのくらい使いますか(パソコンを使ってゲームをする時間を除く)。

しない ほとんど 30分 30分~1時間 1時間~ 1時間30分 2時間~ 3時間より多い
しない まで まで 1時間30分まで ~2時間まで 3時間まで 3時間より多い
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8

(28) パソコン(タブレットを含む)を使って、SNS（フェイスブック、ツイッター、ラインなど）を、どのくらい使いますか。

SNSを
しない 15分 30分 45分 1時間 1時間30分 2時間 2時間30分 3時間より多い
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

(29) 一週間の間に「学習塾」へは何日通いますか。

通っていない 1日 2日 3日 4日 5日 6日 毎日
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8

(30) 一週間の間に、「習い事」や学校以外のクラブ(例：ピアノ教室、お習字、英会話教室、地域のサッカー教室など)へは何日通いますか。

通っていない 1日~2日 3日~4日 5日~6日 毎日 その他
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6

○ あなたの気持ちについて教えてください(あてはまる番号に○をつけてください)。

(31) 学校がすきですか。

①とてもすき ②すき ③あまりすきではない ④すきではない

(32) 学校での勉強(授業)がわかりますか。

①よくわかる ②わかる ③ときどきわからない ④わからないことがおおい

(33) 学校に行きたくないと思うことがありますか。

①よくある ②ときどきある ③あまりない ④全然ない

(34) 毎日が楽しいですか。

①とても楽しい ②楽しい ③あまり楽しくない ④全然楽しくない

(35) 将来の夢がありますか。 ① 夢がある ② 夢はない

よくある 時々ある あまりない 全然ない

(36) 疲れていると感じることがありますか。

1 — 2 — 3 — 4

(37) イライラすることがありますか。

1 — 2 — 3 — 4

(38) 何をしてもおもしろくないと感じることがありますか。

1 — 2 — 3 — 4

(39) ちょっとしたこと、腹がたちますか。

1 — 2 — 3 — 4

うらへつづく

よくある 時々ある あまりない 全然ない

- (40) あきっぽく、途中でやめたいことがあることがありますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (41) 人をたたいたり、乱暴なことをしてしまうことがありますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (42) お腹や頭がいたくなったり、気分が悪くなったりすることがありますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (43) 今一番ほしい時間はどれですか、1つだけえらんで○をつけてください。
- ①ねる ②勉強をする ③食べる ④遊ぶ ⑤家族とすごす ⑥運動をする
⑦なにもしないで「ぼんやり」する ⑧テレビ・ビデオをみる ⑨携帯ゲームなどで遊ぶ
⑩その他()

○ あなたは自分のことをどのように感じていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

とても思う 思う 思わない 全然思わない

- (44) 今の自分を気に入っていますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (45) 自分は得意なところを持った人間だと思いますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (46) 自分には良いところがたくさんあると思いますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (47) 他の人と同じように何でもうまくできるほうだと思いますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (48) 自分には自慢できるところがたくさんあると思いますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (49) 自分は役にたつ人間だと思いますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (50) 他の人と同じように、自分も大切な人であると思いますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (51) 自分をもっと大事にできるようになりたいと思いますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (52) いつも失敗するのではないかと不安に思いますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
- (53) 自分を「今のままでよい」と感じていますか。 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

○ そのほかの質問にこたえてください。

- (54) あなたは家族と学校のできごとなどを話しますか。
- ①よく話す ②ときどき話す ③あまり話さない ④全然話さない
- (55) 家族はあなたの話をしんけんに聞いてくれていると感じますか。
- ①よく感じる ②ときどき感じる ③あまり感じない ④全然感じない
- (56) あなたには、何か困った時、相談できる人がいますか。 ①はい ②いいえ
- (57) 「はい」と答えたひとへ。一番相談する人の番号に1つ○をつけてください。
- ①お母さん ②お父さん ③兄弟姉妹 ④学校の先生 ⑤反たち ⑥その他()

これで終わりです。ご協力ありがとうございました。

平成28年度 科学研究費補助金 基盤研究(C) (課題番号22530890)

「子どもの危機克服に備えた生活臨床に関する臨床教育学的研究」研究組織

【研究代表者】

小谷 正登 関西学院大学・教職教育研究センター・教授

【研究分担者・研究協力者（50音順）】

岩崎 久志 流通科学大学・人間社会学部・教授

加島ゆう子 奈良女子大学附属中等教育学校・養護教諭

(報告書編集責任者)

河西 利枝 芦屋市教育委員会

木田 重果 西宮市教育委員会

来栖 清美 森ノ宮医療大学・保健医療学部・教授

下村 明子 一宮研伸大学・看護学部・教授

白石 大介 武庫川女子大学・名誉教授

三宅 靖子 梅花女子大学・看護保健学部・教授

※ 各所属は、調査実施時（平成28年度）のものである。

発行日 令和4（2022）年3月31日

発行責任者 小谷 正登
関西学院大学 教職教育研究センター
〒662-8501
兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

印刷 有限会社 仁川印刷所
〒662-0863
兵庫県西宮市室川町1番25号